
男女共同参画についての市民意識調査 報 告 書

令和 2（2020）年 3 月

八 尾 市

目 次

I. 調査概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査概要.....	1
3. 報告書の見方.....	1
II. 調査結果.....	2
A あなた自身について.....	2
問1 あなたの年齢は（〇は1つ）.....	2
問2 あなたの性別は（〇は1つ）.....	2
問3 あなたは結婚していますか。（事実婚を含む）（〇は1つ）.....	3
問3-1 配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む。 複数おられた場合は、一番最近に親密な関係にあった人について）の性別は。（〇は1つ）.....	4
問4 あなたと一緒に住んでいる人は。（あてはまるものすべてに〇）.....	5
問5 平成31年4月1日時点のあなたが同居している、一番下のお子さんの年齢は。（〇は1つ）.....	5
問6 あなた、配偶者（パートナー）の働き方は。（それぞれについて〇は1つ）.....	6
B 男女平等に関する意識について.....	14
問7 次の①～⑧の各場面において、今の社会は男女の地位が平等になっていると思いますか。 （①～⑧のそれぞれについて〇は1つ）.....	14
問8 「男は仕事、女は家庭」というような性別で役割を固定した考え方についてどう思いますか。 （〇は1つ）.....	22
問8-1 問8で「1 同感しない」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。（〇は1つ）.....	23
問8-2 問8で「3 同感する」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。（〇は1つ）.....	23
C 家庭生活について.....	24
問9 あなた、配偶者（パートナー）が家事・育児・介護をする時間は、平日・休日を平均して1日 どれくらいですか。（それぞれについて〇は1つ）.....	24
問10 次の①～⑩の各項目について、あなたのご家庭では、誰が主に担当していますか。 （①～⑩のそれぞれについて〇は1つ）.....	29
D 子育て・教育について.....	37
問11 一般的に子どもには、どの程度の学歴が必要だと思いますか。女の子、男の子、どちらについても お答えください。（それぞれについて〇は1つ）.....	37
問12 子どもには、どのような生き方が望ましいと思いますか。女の子、男の子、どちらについても お答えください。（それぞれについて〇は2つ）.....	39
問13 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）.....	41
E 就労について.....	43
問14 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。（〇は1つ）.....	43
問15 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性はご自身について、 男性は配偶者（パートナー）についてお答えください。（〇は1つ）.....	44

問 16	<u>働いていない方にお尋ねします。あなたが、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。</u> (○はいくつでも)	45
問 16-1	あなたは今後働きたいとお考えですか。(○は 1 つ)	46
問 17	<u>配偶者(パートナー)が働いていない方にお尋ねします。あなたの配偶者(パートナー)が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。</u> (○はいくつでも)	47
問 17-1	あなたの配偶者(パートナー)は今後働きたいとお考えですか。(○は 1 つ)	48
問 18	<u>すべての方にお尋ねします。あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。</u> (○はいくつでも)	49
問 19	男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活動したりするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)	50

F 仕事と生活の調和について.....53

問 20	あなたは、生活の中で仕事と個人の生活(家庭、地域活動など)でどちらを優先しますか。 (1) あなたの希望と(2) 現実(現状)に最も近いものをそれぞれお答えください。 (それぞれについて○は 1 つ)	53
問 21	今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)	59

G あらゆる暴力について.....66

問 22	あなたは、配偶者(パートナー)や交際相手など親密な関係にある人(事実婚や元配偶者、元交際相手を含む)から、次のようなことを「されたこと」「したこと」がありますか。以下の「されたこと」と「したこと」の両方にお答えください。(それぞれについて○はいくつでも)	66
問 23	<u>問 22 の(1) の行為を受けられた方にお尋ねします。そのような行為を受けられてどうしましたか。</u> (○はいくつでも)	70
問 24	<u>問 23 で「8 どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えられた方にお尋ねします。あなたがどこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。</u> (○はいくつでも)	71
問 25	<u>すべての方にお尋ねします。あなたは配偶者(パートナー)など親密な関係にある人(事実婚や元配偶者、元交際相手を含む)からの暴力(殴る、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力)について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。</u> (○はいくつでも)	73
問 26	配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪など、暴力をなくするためにはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)	74

H 男女共同参画社会づくりについて.....77

問 27	男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習及び相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」(生涯学習センター「かがやき」学習プラザ 4 階内)を設置しています。あなたは八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。(○は 1 つ)	77
問 27-1	<u>問 27 で「1 知っている」と答えられた方にお尋ねします。八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。</u> (○は 1 つ)	78
問 27-2	<u>問 27-1 で「2 利用したことがない」と答えられた方にお尋ねします。その主な理由はなぜですか。</u> (○は 1 つ)	79
問 28	男女共同参画を進めていく上で、行政(国・府・市)は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。(○はいくつでも)	81
問 29	男女共同参画を推進するための八尾市の次の①～⑩の取り組みについて、現在の満足度をお答えください。(①～⑩のそれぞれについて○は 1 つ)	84

Ⅲ. 自由意見のまとめ.....96

参考資料.....99

I. 調査概要

I. 調査概要

1. 調査目的

本市では、「八尾市はつらつプラン～第3次八尾市男女共同参画基本計画～」を平成28（2016）年3月に策定し、10年間を計画期間として男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを推進しているところです。このたび令和2（2020）年度末をもって計画期間の前半である5年を経過することから、法改正や制度改正、社会情勢の大きな変化などを加味して点検を行い、計画の見直しを予定しています。

これに伴い、広く市民のみなさまの男女共同参画についての現状や意識、ご意見をお伺いし、八尾市の男女共同参画施策を推進するうえでの貴重な基礎資料として活用するため、市民意識調査を実施しました。

2. 調査概要

（1）調査方法

- ①調査地域：八尾市全域
- ②調査対象：満18歳以上の男女3,000人（男1,500人、女1,500人）を住民基本台帳の中から無作為に抽出させていただきました。
- ③実施方法：郵送による調査票の配布・回収
- ④調査期間：令和元（2019）年10月15日から10月29日まで

（2）回収結果

調査時期	配布数	有効回答数	有効回答率
前回調査（平成26年10月）	3,000	1,316	43.9%
今回調査（令和元年10月）	3,000	1,209	40.3%

3. 報告書の見方

- 集計結果は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しており、構成比（％）の合計が100.0%にならないことがあります。
- 複数回答（マルチアンサー）の設問の場合、集計結果の合計が100.0%を超えます。
- グラフ及び表中の“N”は有効回答数を表しています。
- クロス集計については、無回答を含んでいません。
- 構成比（％）は、その設問の回答者数を基数として算出しています。
- 回答者数が少ない場合は、回答の比率が変動しやすく、またプライバシー上の問題が生じるおそれがあるため、非掲載としていることがあります。詳細について必要であれば発行者までお問い合わせください。
- 本報告書における「前回調査」は、「男女共同参画についての市民意識調査」（平成27（2015）年3月）を示しています。

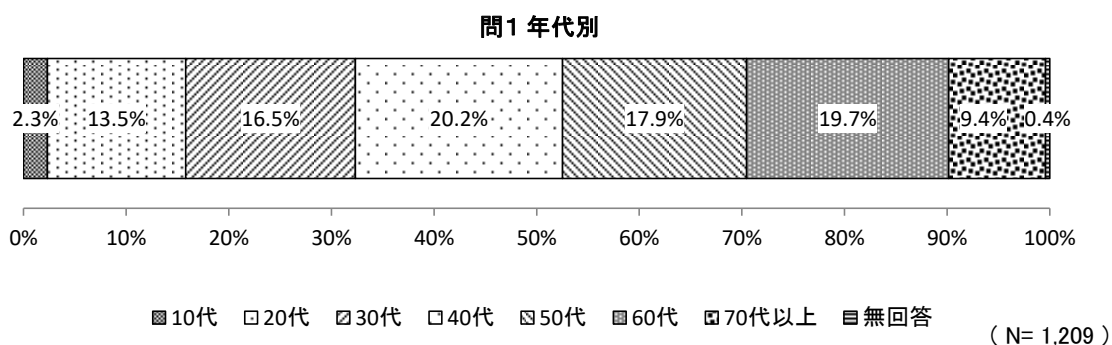
II. 調查結果

A あなた自身について

問1 あなたの年齢は（○は1つ）

「40代」が20.2%で最も高く、次いで「60代」が19.7%、「50代」が17.9%となっています。

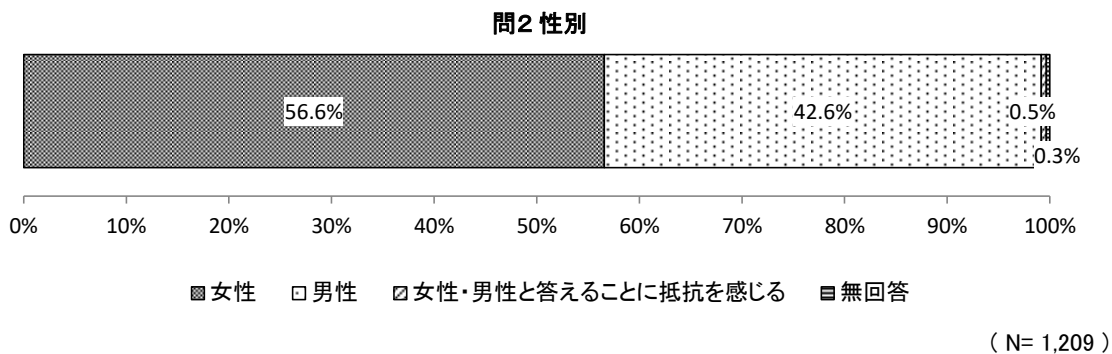
<全体>



問2 あなたの性別は（○は1つ）

「女性」が56.6%、「男性」が42.6%、「女性・男性と答えることに抵抗を感じる」が0.5%となっています。

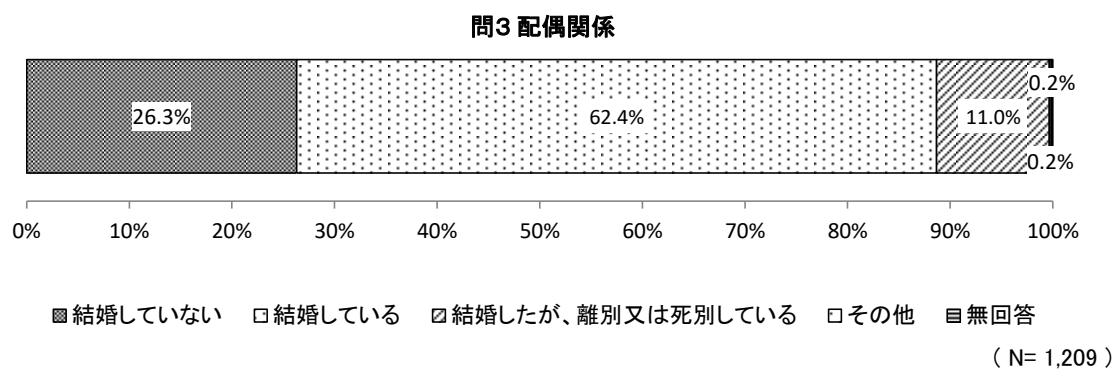
<全体>



問3 あなたは結婚していますか。(事実婚を含む)(○は1つ)

「結婚している」が62.4%で最も高く、次いで「結婚していない」が26.3%、「結婚したが、離別又は死別している」が11.0%となっています。

<全体>

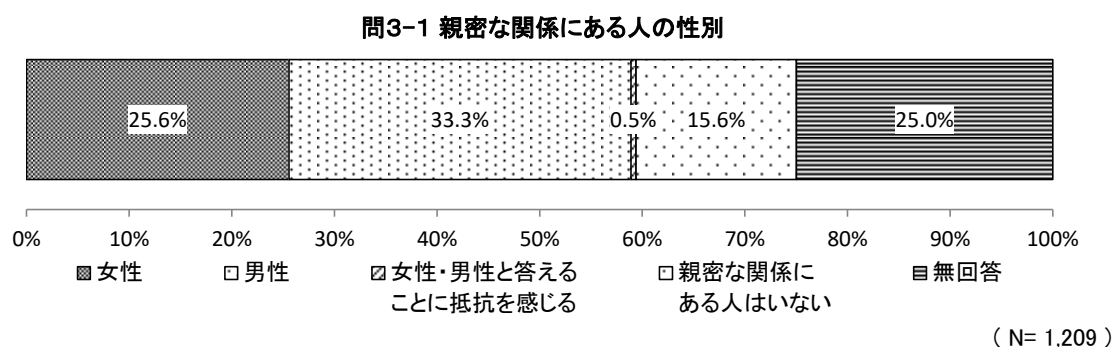


問3-1 配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む。複数おられた場合は、一番最近に親密な関係にあった人について）の性別は。（〇は1つ）

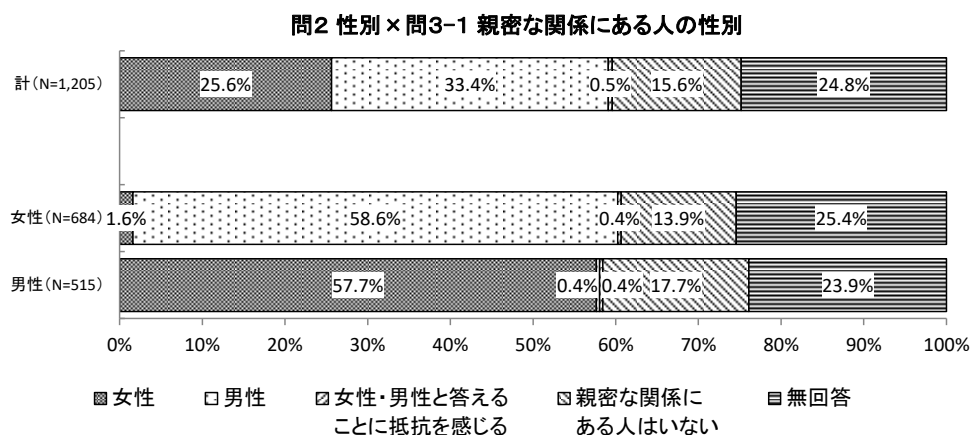
配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人の性別は「男性」が33.3%で最も高く、次いで「女性」が25.6%、「親密な関係にある人はいない」が15.6%となっています。

性別では、女性は「男性」が58.6%、男性は「女性」が57.7%となっています。

<全体>



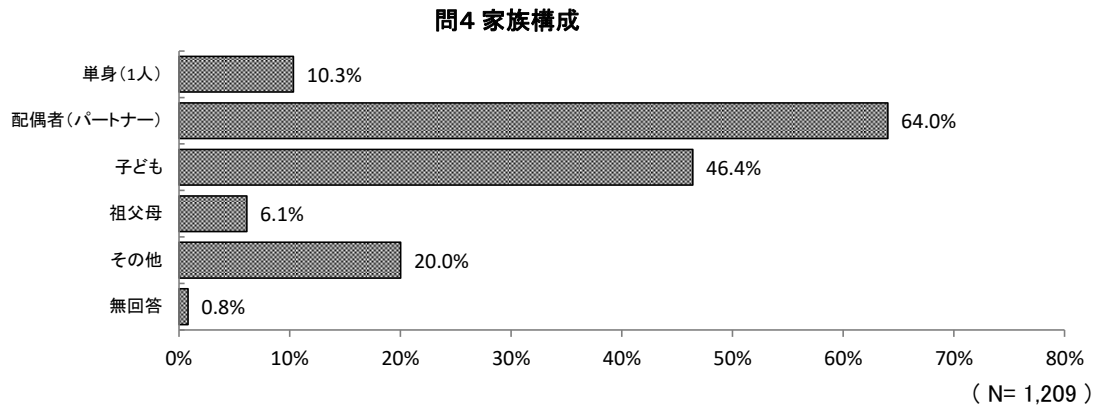
<性別>



問4 あなたと一緒に住んでいる人は。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者（パートナー）」が64.0%で最も高く、次いで「子ども」が46.4%、「単身（1人）」が10.3%となっています。

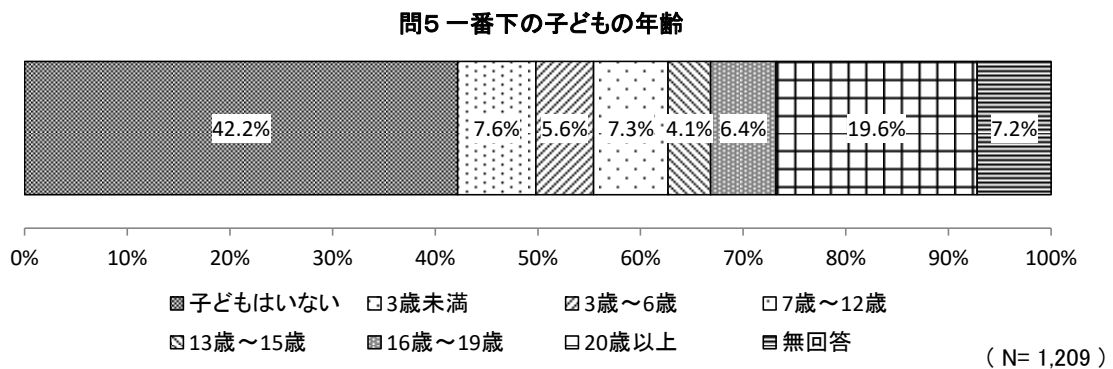
<全体>



問5 平成31年4月1日時点のあなたが同居している、一番下のお子さんの年齢は。(○は1つ)

「子どもはいない」が42.2%で最も高く、次いで「20歳以上」が19.6%となっています。

<全体>



問6 あなた、配偶者（パートナー）の働き方は。（それぞれについて○は1つ）

（1）あなたについて

＜全体＞

主な仕事は「正社員・正職員（フルタイム）」が35.8%で最も高く、次いで「パートタイマーやアルバイト」が18.6%、「無職（家事専業を除く）」が11.7%、「家事専業」が10.8%となっています。

勤務地は「八尾市内」が34.2%で最も高く、次いで「大阪市内」が20.2%となっています。

通勤時間は「0分～30分未満」が39.0%で最も高く、次いで「30分～1時間未満」が21.8%となっています。

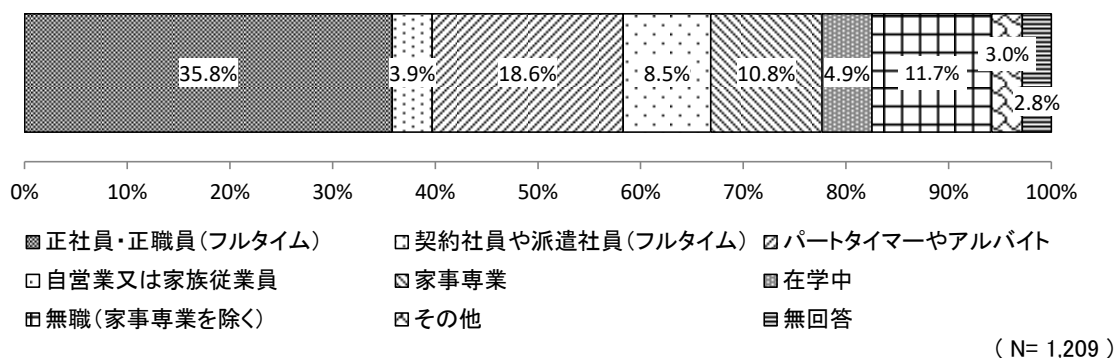
週に働く日数は「4～5日」が45.2%で最も高く、次いで「それ以上」が17.2%となっています。

一日の就労時間は、「8時間～10時間未満」が24.3%で最も高く、次いで「6時間～8時間未満」が20.9%となっています。

昨年（2018年）の年収は、「103万円未満」が16.9%で最も高く、次いで「500万円～1,000万円未満」が12.4%となっています。

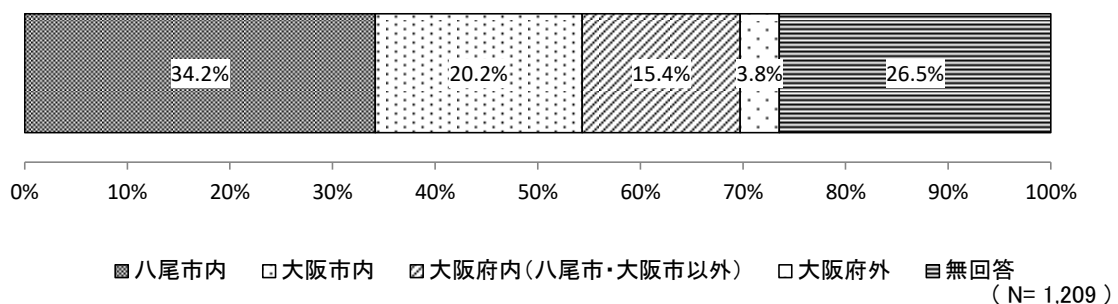
【主な仕事】

問6(1) あなたについて【主な仕事】

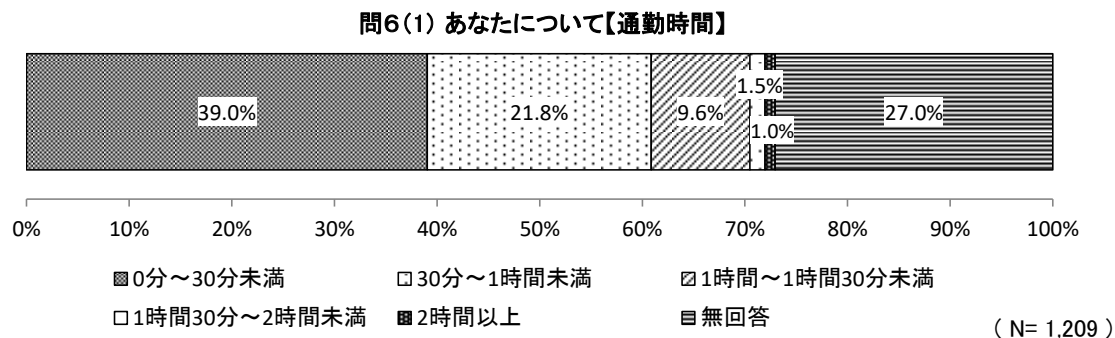


【勤務地】

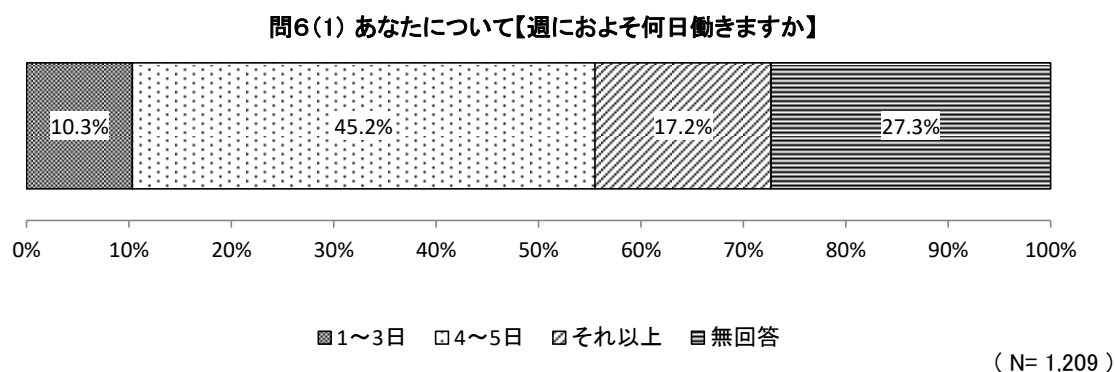
問6(1) あなたについて【勤務地】



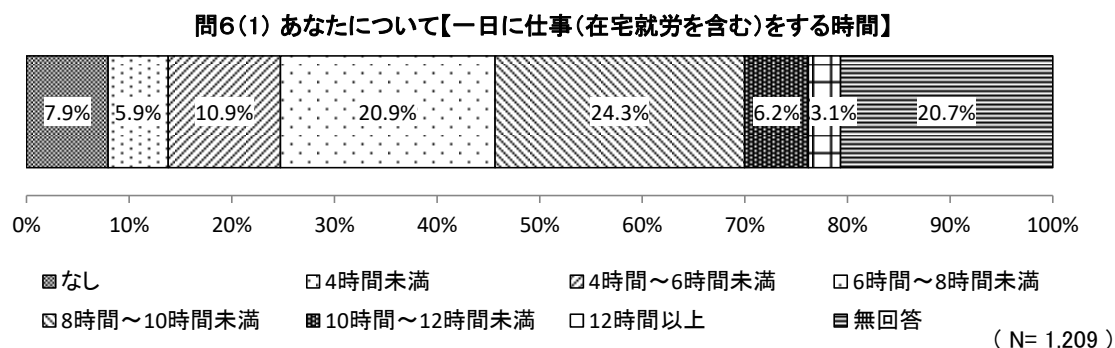
【通勤時間】



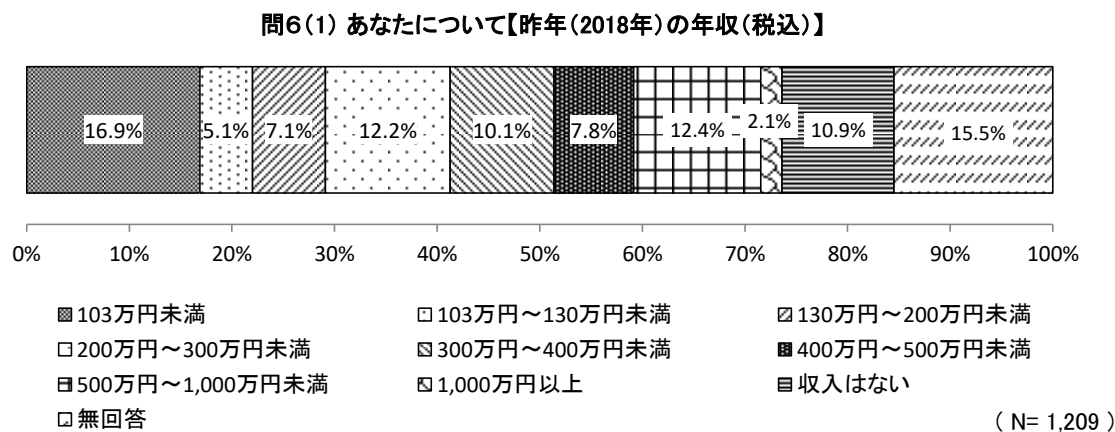
【週におよそ何日働きますか】



【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】



【昨年（2018年）の年収（税込）】



＜性別＞

主な仕事は、女性は「パートタイマーやアルバイト」が26.6%で最も高く、次いで「正社員・正職員（フルタイム）」が23.5%となっているのに対し、男性は「正社員・正職員（フルタイム）」が52.0%で最も高く、次いで「無職（家事専業を除く）」が14.0%となっています。

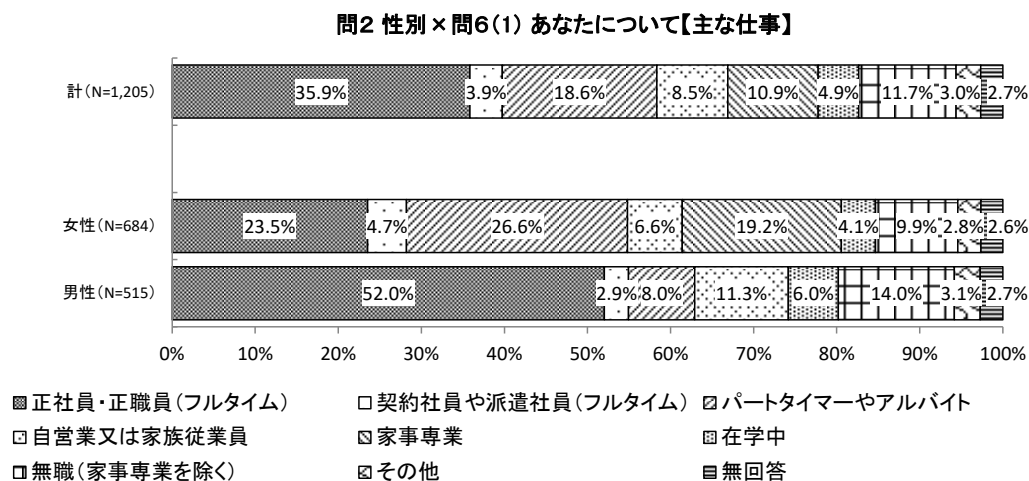
勤務地は、女性は「八尾市内」が39.8%で最も高いのに対し、男性は「八尾市内」「大阪市内」「大阪府内（八尾市・大阪市以外）」でそれぞれ2割超となっています。

通勤時間は、女性は「0分～30分未満」が42.8%で最も高く、男性は「0分～30分未満」が34.6%、「30分～1時間未満」が28.3%となっています。

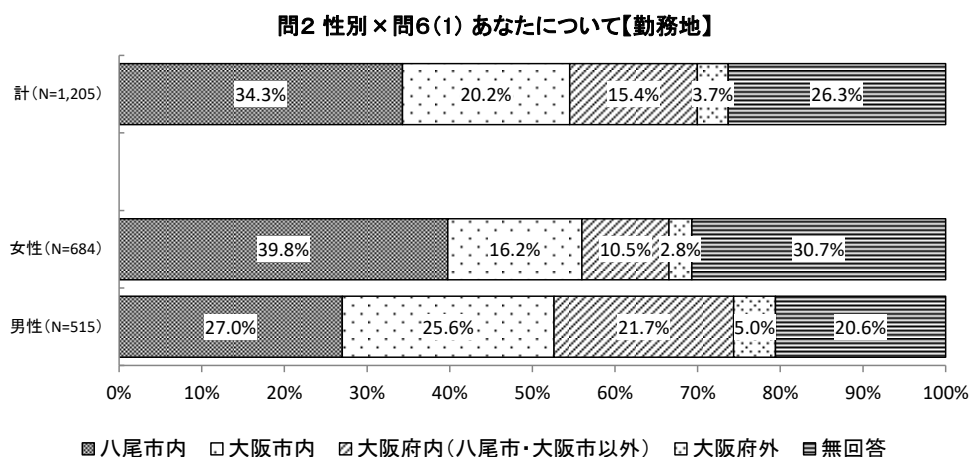
週に働く日数は、女性男性ともに「4～5日」が最も高く、女性は45.0%、男性は46.0%と、ほぼ同率となっていますが、「それ以上」は男性が24.7%で、女性の11.4%を上回っています。

一日の就労時間は、女性は「6時間～8時間未満」が21.8%で最も高いのに対し、男性は「8時間～10時間未満」が34.0%で最も高く、次いで「6時間～8時間未満」が20.0%となっています。

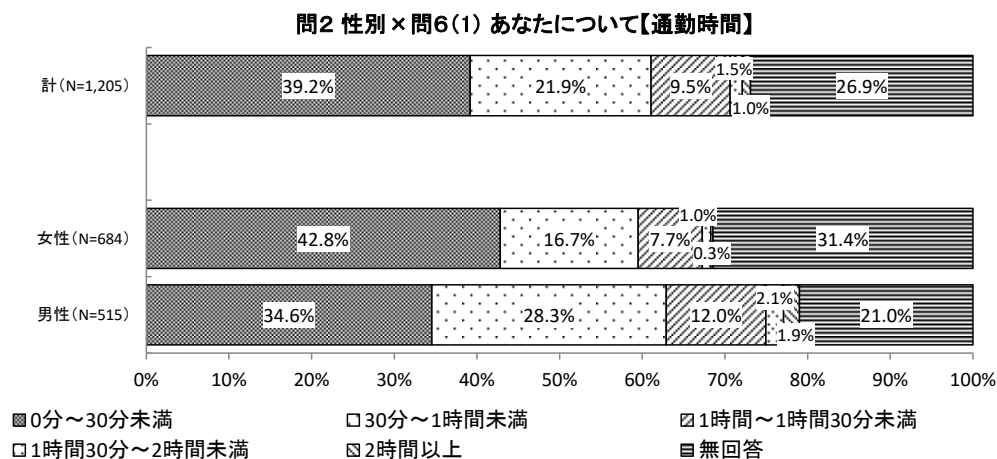
【主な仕事】



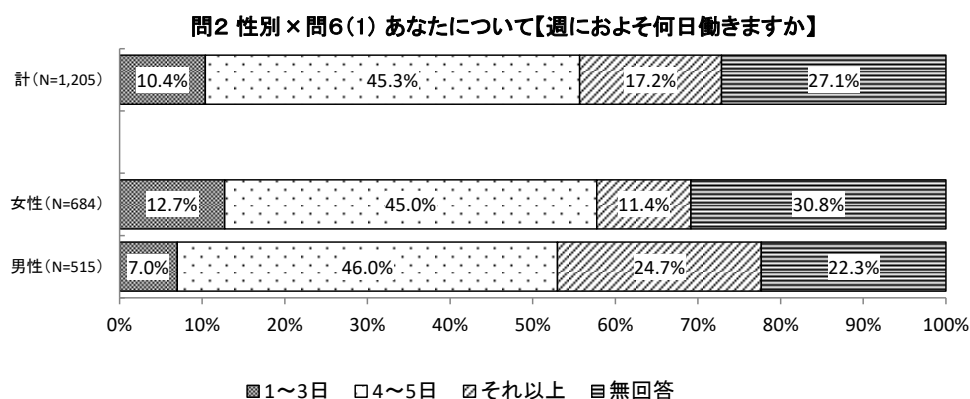
【勤務地】



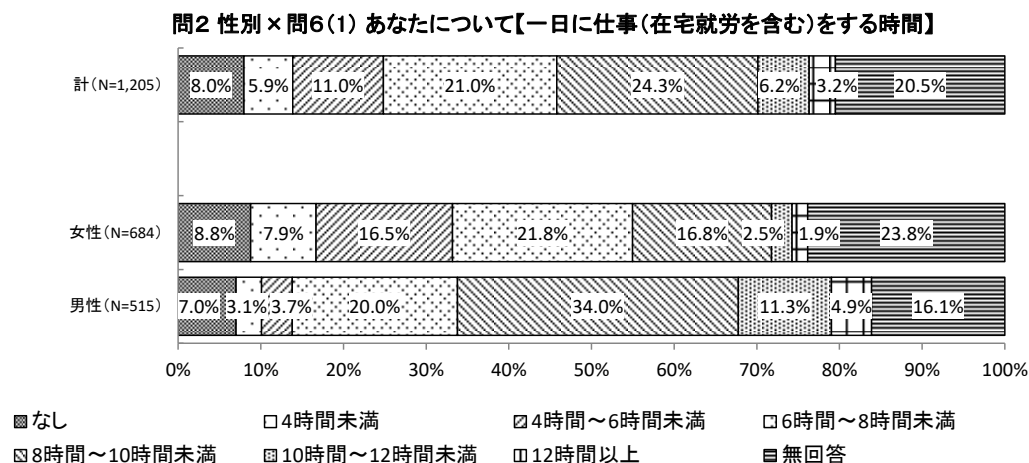
【通勤時間】



【週におよそ何日働きますか】



【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】



＜配偶関係＞

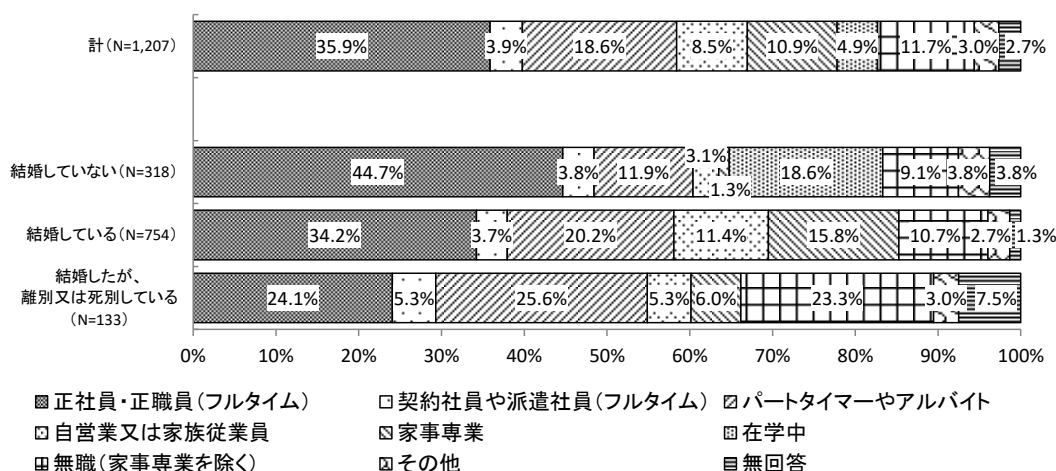
主な仕事は、未婚の方、既婚の方は「正社員・正職員（フルタイム）」が最も高く、未婚の方は44.7%、既婚の方は34.2%となっているのに対し、離別又は死別している方は「パートタイマーやアルバイト」が最も高く25.6%となっています。

次いで、未婚の方は「在学中」が18.6%、既婚の方は「パートタイマーやアルバイト」が20.2%、離別又は死別している方は「正社員・正職員（フルタイム）」が24.1%となっています。

未婚、既婚、離別又は死別にかかわらず、勤務地は「八尾市内」、通勤時間は「0分～30分未満」、週に働く日数は「4～5日」、一日の就労時間は「8時間～10時間未満」が最も高くなっています。

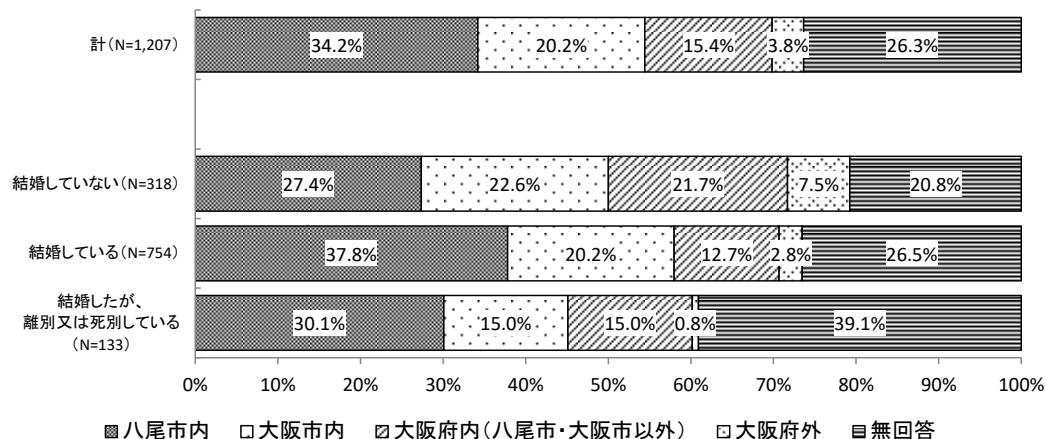
【主な仕事】

問3 配偶関係×問6(1) あなたについて【主な仕事】

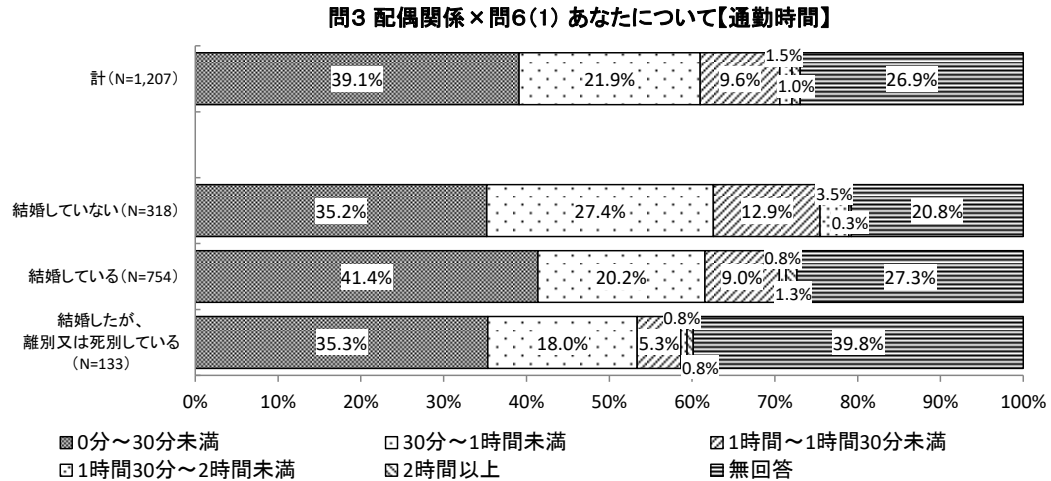


【勤務地】

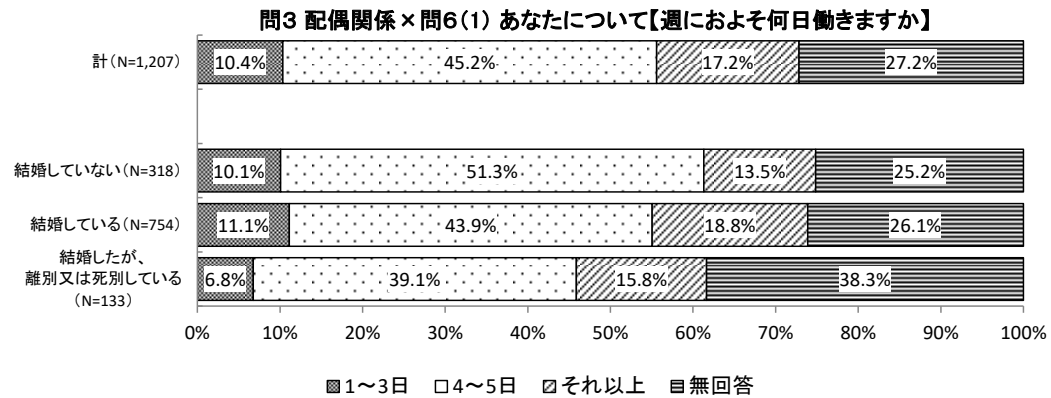
問3 配偶関係×問6(1) あなたについて【勤務地】



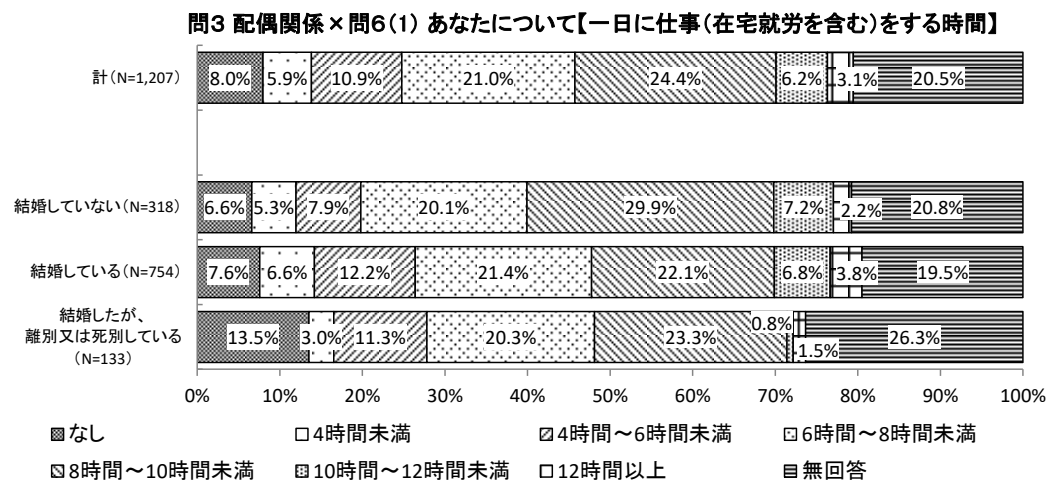
【通勤時間】



【週におよそ何日働きますか】



【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】



(2) 配偶者（パートナー）について

主な仕事は、「正社員・正職員（フルタイム）」が28.2%で最も高く、次いで「パートタイマーやアルバイト」が12.2%となっています。

勤務地は、「八尾市内」が27.2%で最も高く、次いで「大阪市内」が15.7%となっています。

通勤時間は、「0分～30分未満」が30.4%で最も高く、次いで「30分～1時間未満」が19.1%となっています。

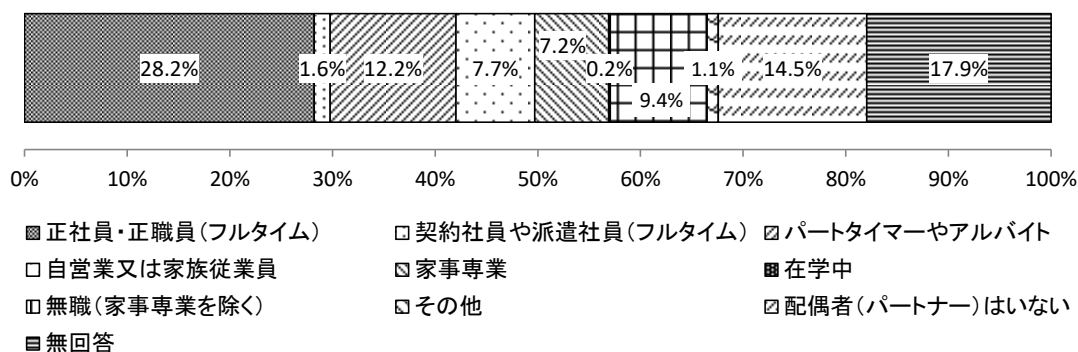
週に働く日数は、「4～5日」が36.0%で最も高く、次いで「それ以上」が17.7%となっています。

一日の就労時間は、「8時間～10時間未満」が22.1%で最も高く、次いで「6時間～8時間未満」が16.2%となっています。

昨年（2018年）の年収は、「103万円未満」が12.2%で最も高く、次いで「500万円～1,000万円未満」が10.9%となっています。

【主な仕事】

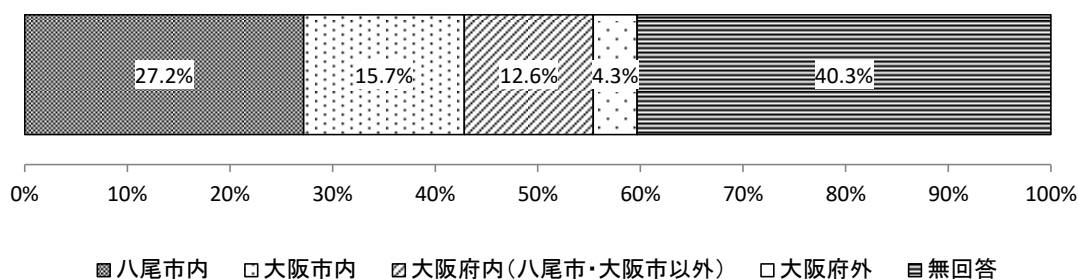
問6(2) 配偶者（パートナー）について【主な仕事】



(N = 1,209)

【勤務地】

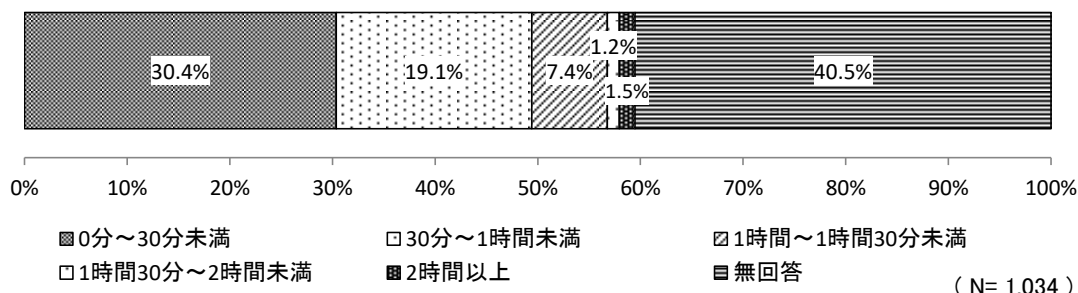
問6(2) 配偶者（パートナー）について【勤務地】



(N = 1,034)

【通勤時間】

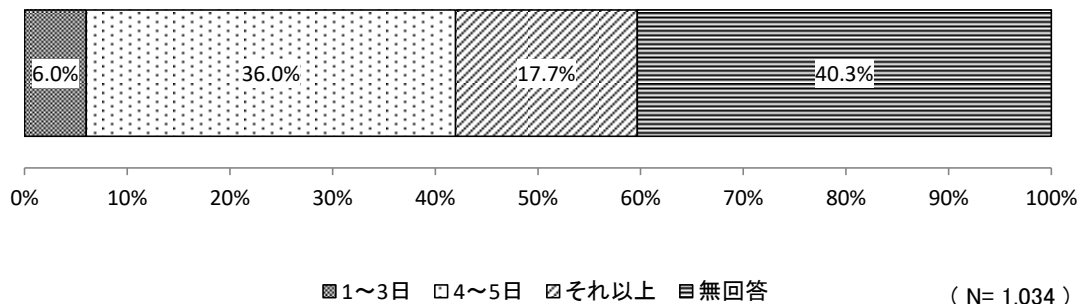
問6(2) 配偶者（パートナー）について【通勤時間】



(N = 1,034)

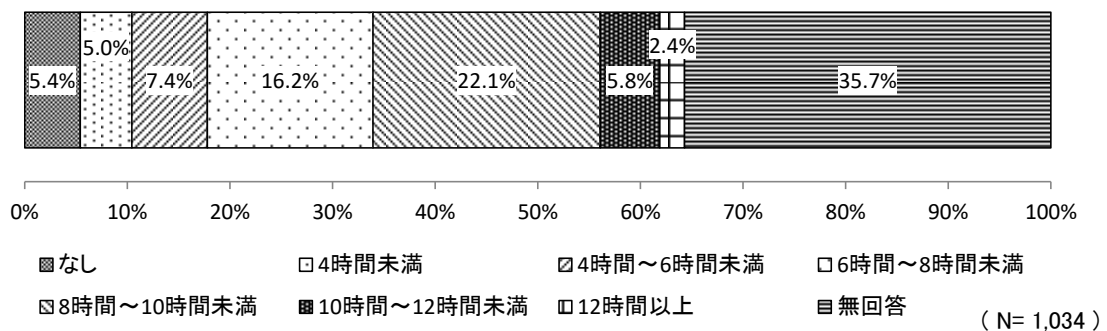
【週におよそ何日働きますか】

問6(2) 配偶者(パートナー)について【週におよそ何日働きますか】



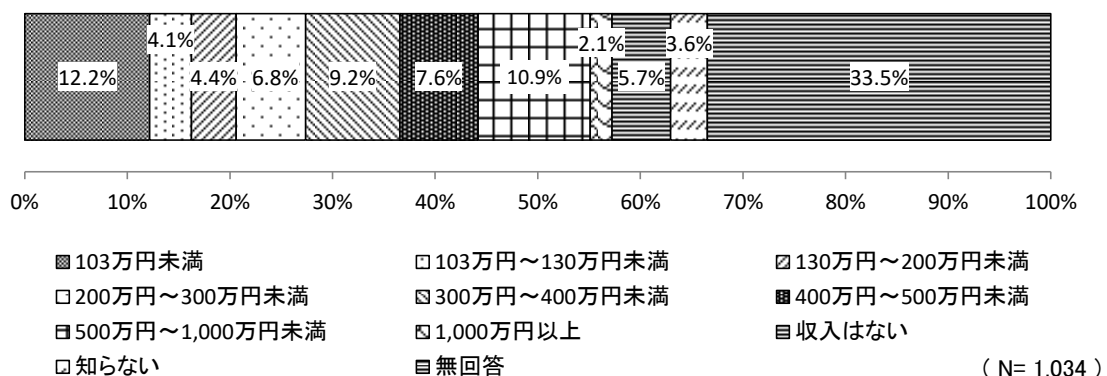
【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】

問6(2) 配偶者(パートナー)について【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】



【昨年（2018年）の年収（税込）】

問6(2) 配偶者(パートナー)について【昨年(2018年)の年収(税込)】



B 男女平等に関する意識について

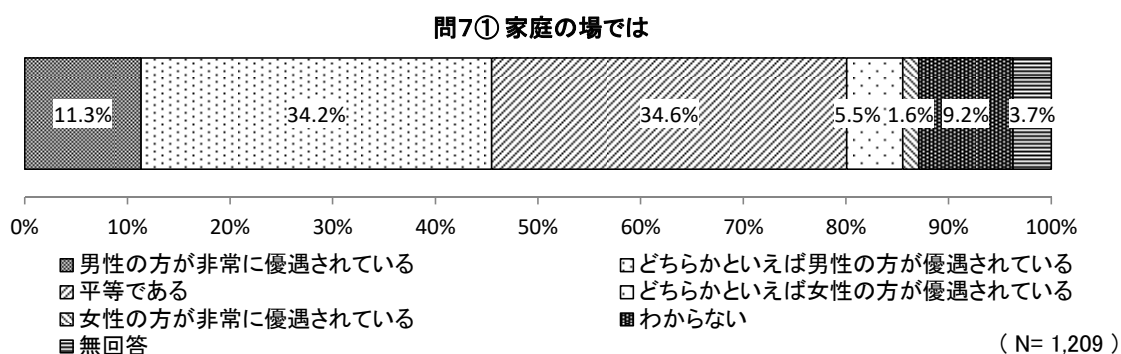
問 7 次の①～⑧の各場面において、今の社会は男女の地位が平等になっていると思いますか。
(①～⑧のそれぞれについて○は1つ)

『男性優遇』(「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた値)は、「⑥社会通念・慣習・しきたりなどでは」が68.8%で最も高く、「④政治の場では」が68.6%、「⑧社会全体では」が63.4%となっています。

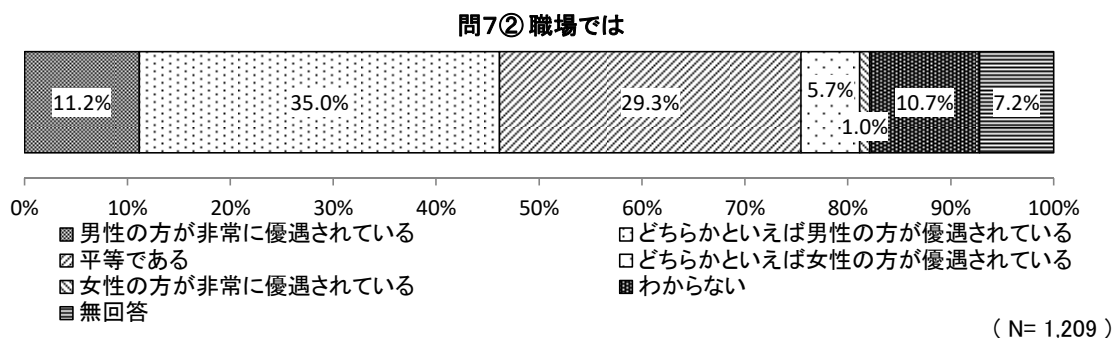
「平等である」は「③学校教育の場では」が49.1%で最も高く、次いで「①家庭の場では」が34.6%、「⑦地域活動の場では」が33.1%となっています。

<全体>

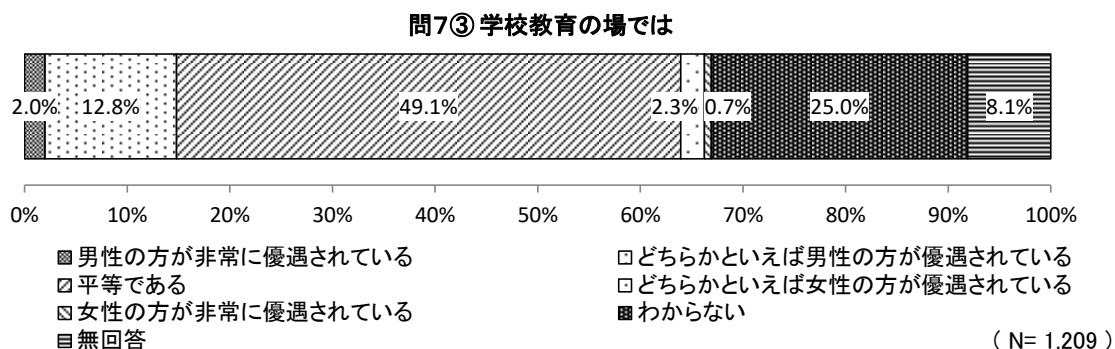
① 家庭の場では



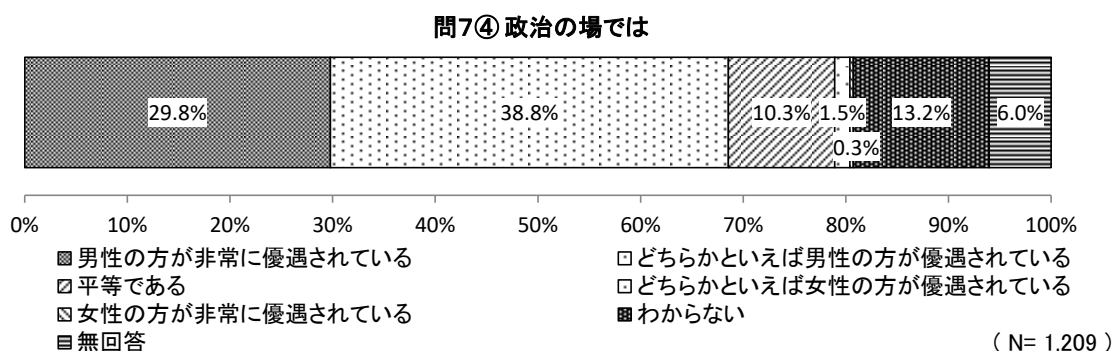
② 職場では



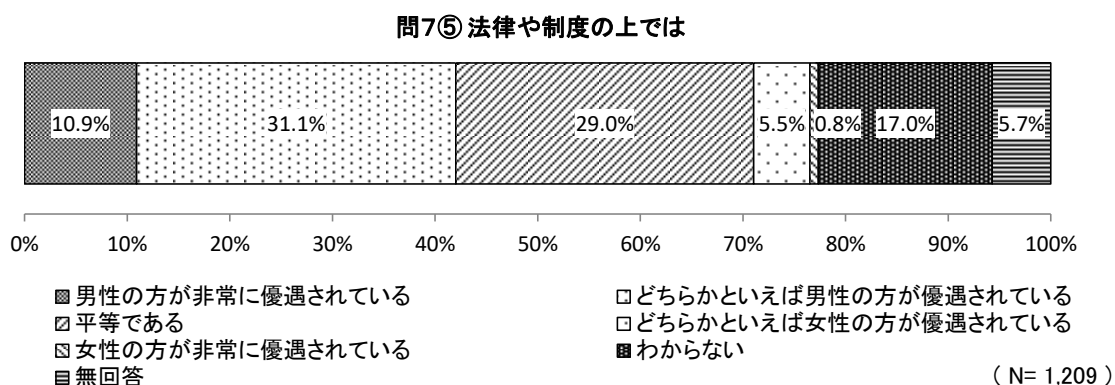
③ 学校教育の場では



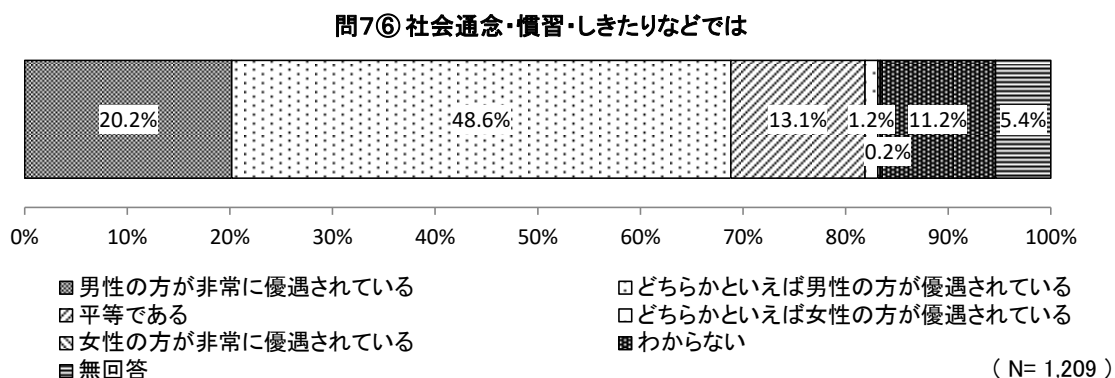
④ 政治の場では



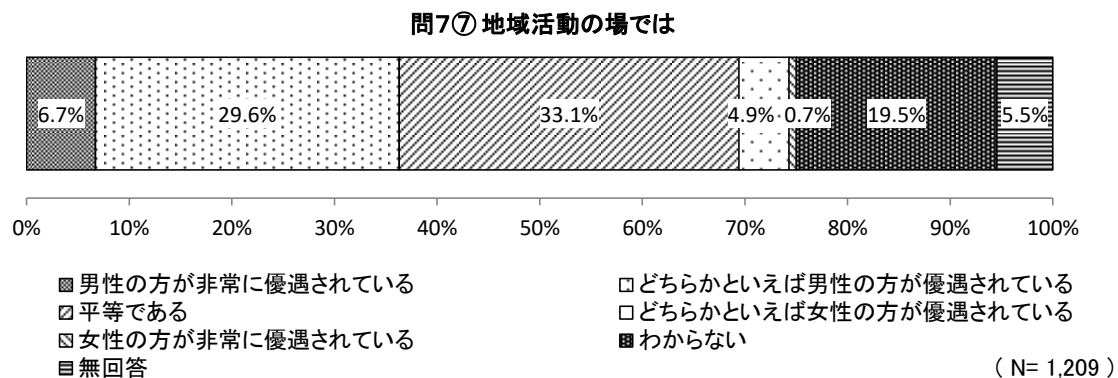
⑤ 法律や制度の上では



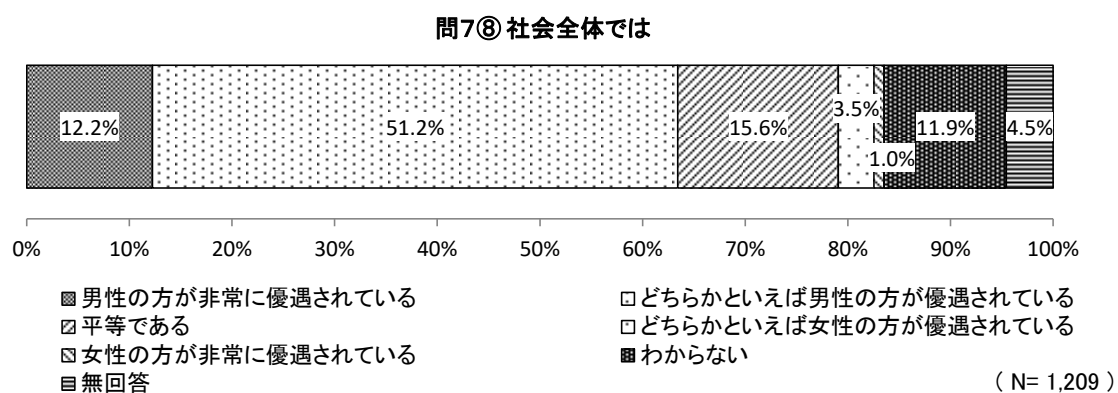
⑥ 社会通念・慣習・しきたりなどでは



⑦ 地域活動の場では



⑧ 社会全体では

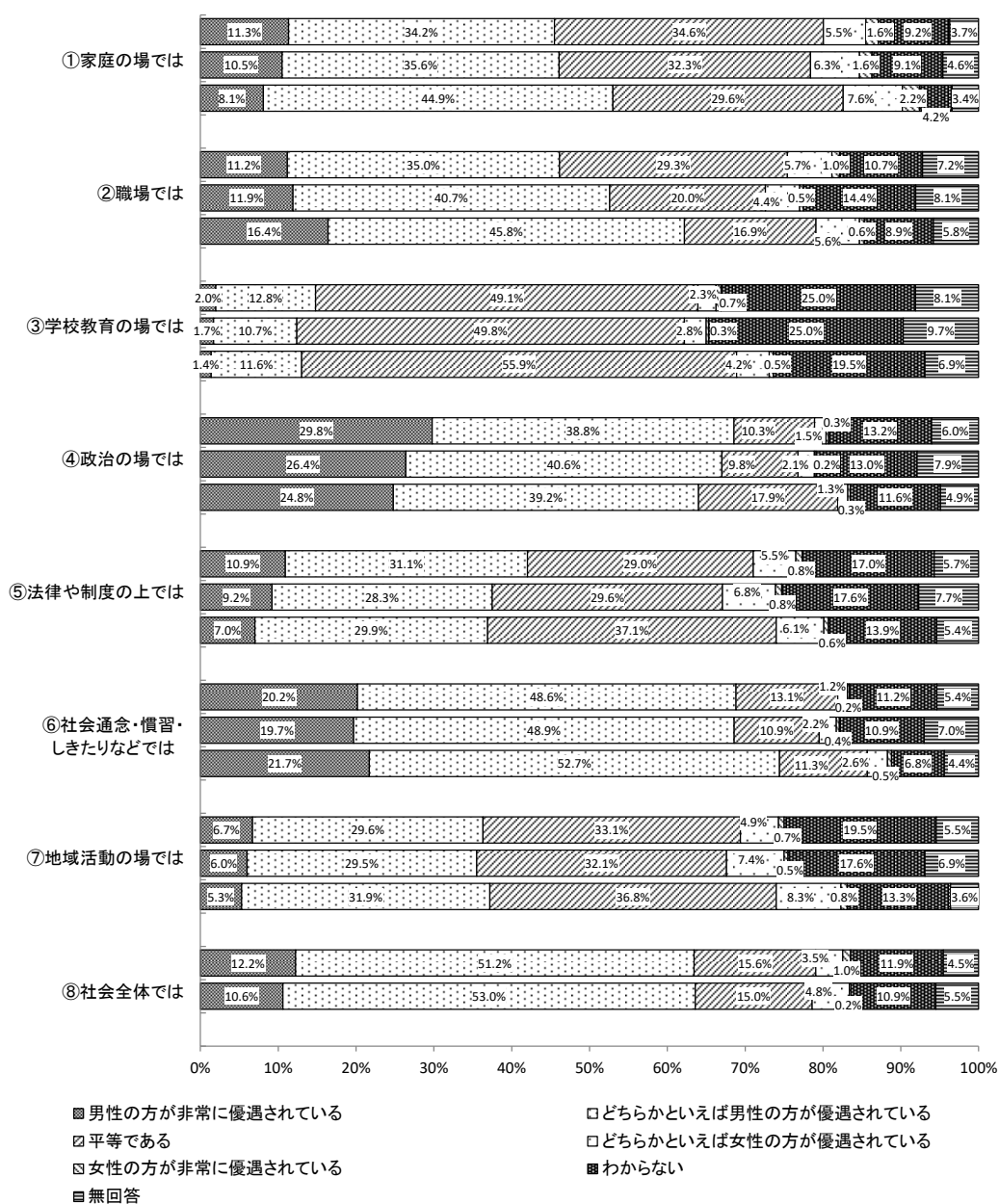


＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、『男性優遇』について「②職場では」が6.4ポイント減少（前回 52.6%→今回 46.2%）していますが、「④政治の場では」が 1.6 ポイント増加（前回 67.0%→今回 68.6%）、
「⑤法律や制度の上では」が 4.5 ポイント増加（前回 37.5%→今回 42.0%）しています。

また、「平等である」は、「③学校教育の場では」が5 割前後となっています。

①～⑧の各場面において、今の社会は男女の地位が平等になっていると思いますか

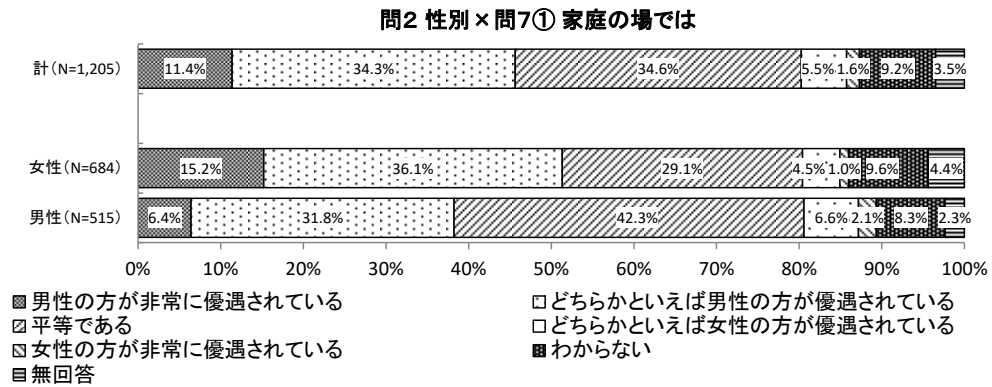


※前々回調査では、「⑧社会全体では」のデータはありません。

<性別>

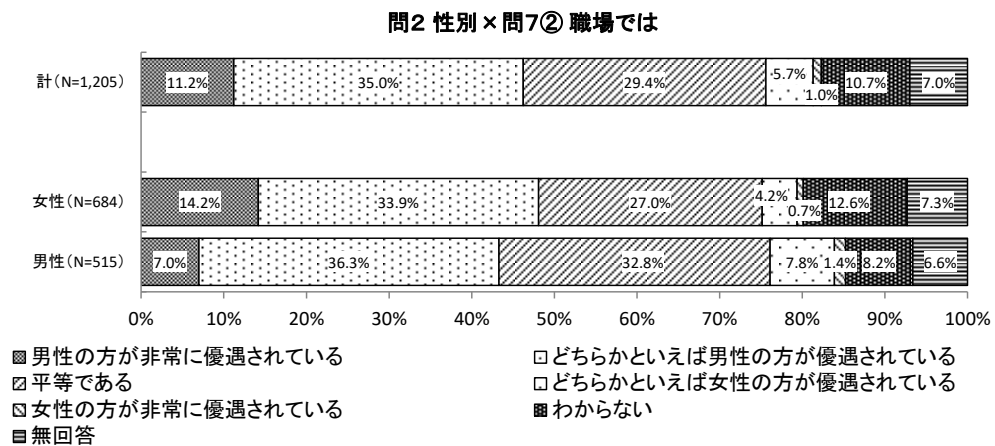
① 家庭の間では

『男性優遇』は、女性が51.3%、男性は38.2%で、女性が男性を上回っています。
「平等である」は、女性が29.1%であるのに対し、男性は42.3%で性別により差異があります。



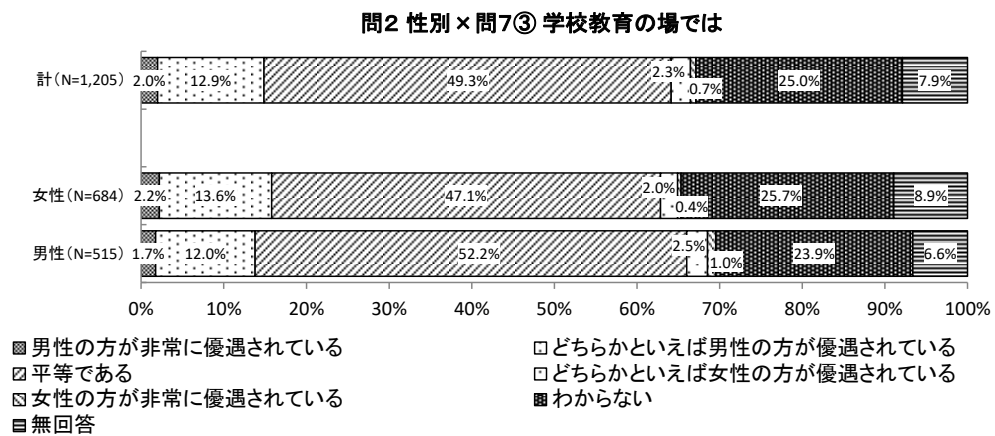
② 職場では

『男性優遇』は、女性が48.1%、男性は43.3%で、女性が男性を上回っています。



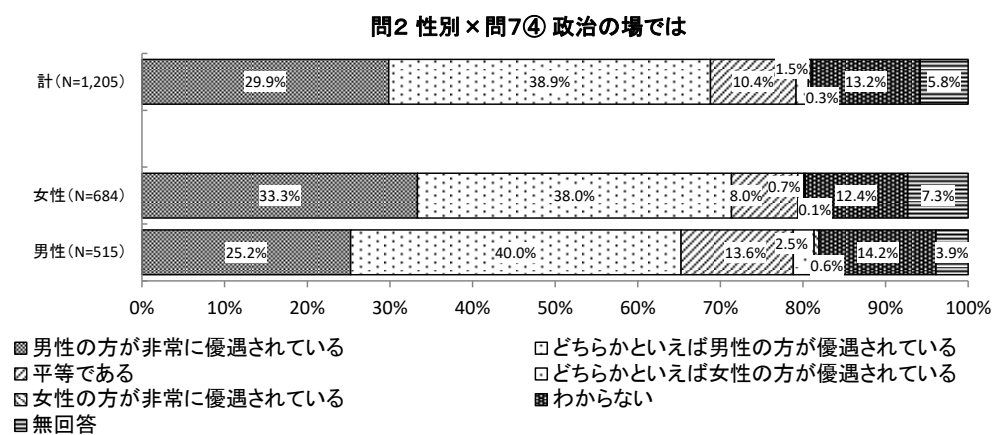
③ 学校教育の場では

女性、男性いずれも、「平等である」が50%前後となっています。一方で、『男性優遇』は女性が15.8%、男性が13.7%となっています。



④ 政治の場では

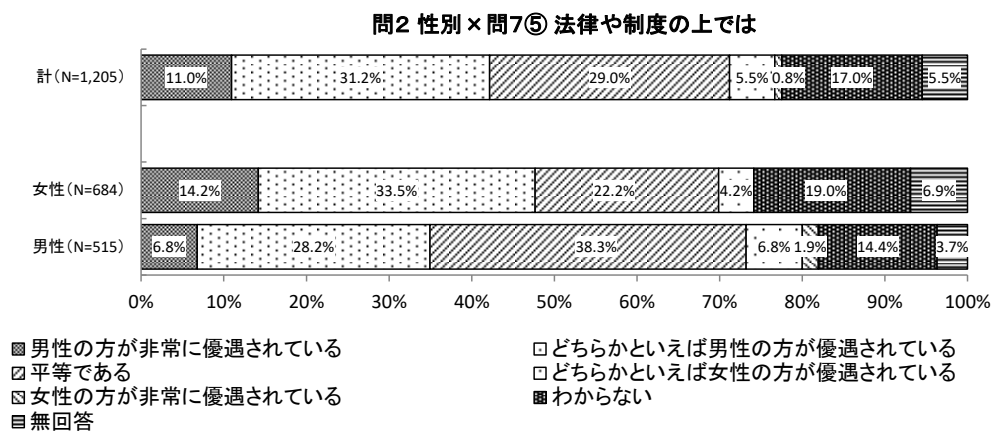
『男性優遇』は、女性が71.3%、男性は65.2%で、女性が男性を上回っています。



⑤ 法律や制度の上では

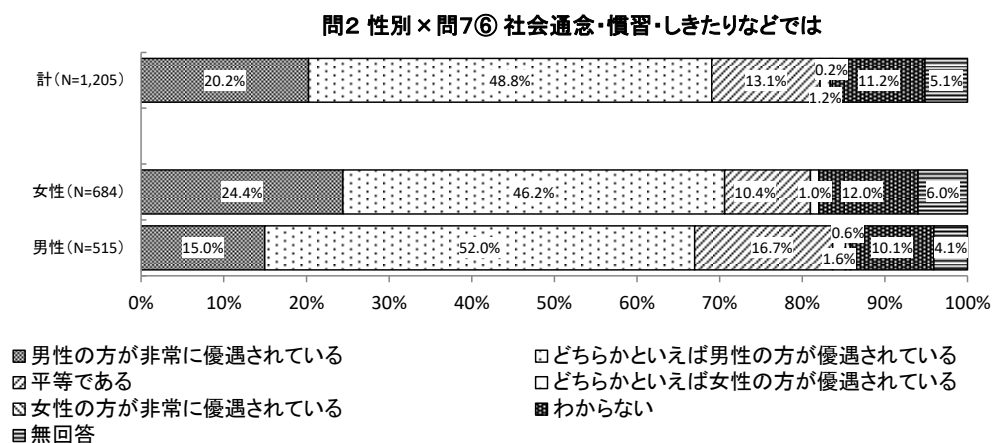
『男性優遇』は、女性が47.7%、男性は35.0%で、女性が男性を上回っています。

「平等である」は、女性が22.2%であるのに対し、男性は38.3%で性別により差異があります。



⑥ 社会通念・慣習・しきたりなどでは

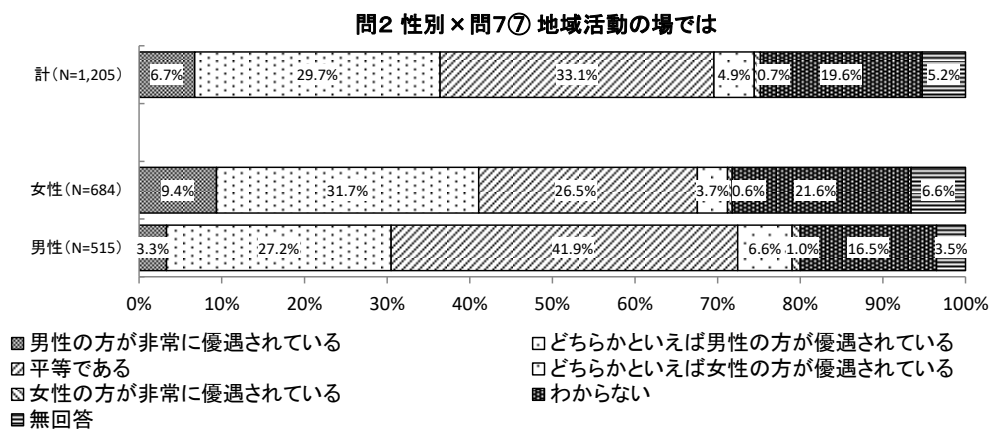
『男性優遇』は、女性が70.6%、男性は67.0%で、女性が男性を上回っています。



⑦ 地域活動の場では

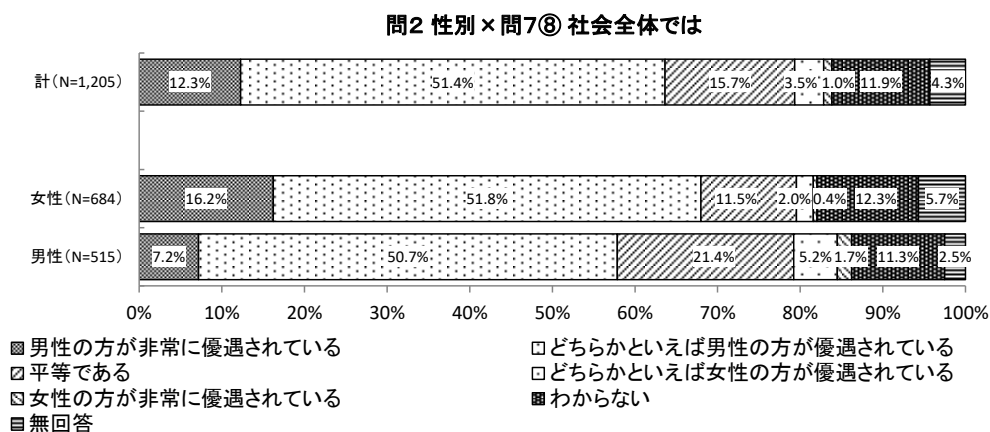
『男性優遇』は、女性が41.1%、男性は30.5%で、女性が男性を上回っています。

「平等である」は、女性が26.5%であるのに対し、男性は41.9%で性別により差異があります。



⑧ 社会全体では

『男性優遇』は、女性が68.0%、男性が57.9%で、女性が男性を上回っています。

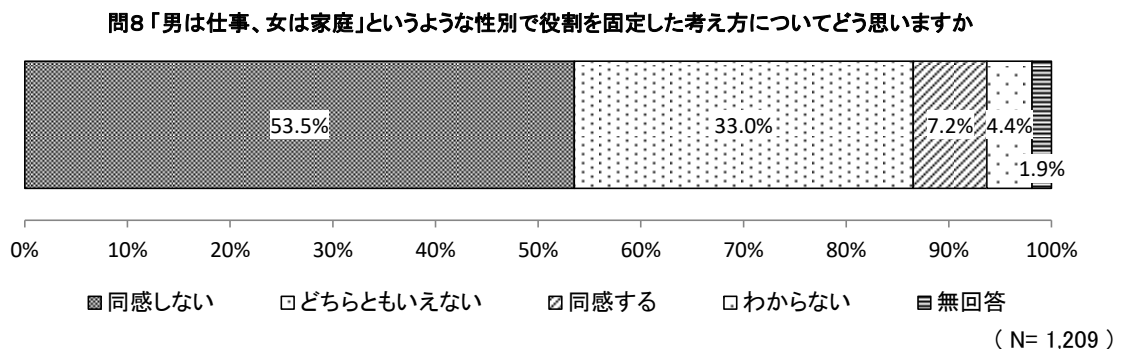


問8 「男は仕事、女は家庭」というような性別で役割を固定した考え方についてどう思いますか。
(○は1つ)

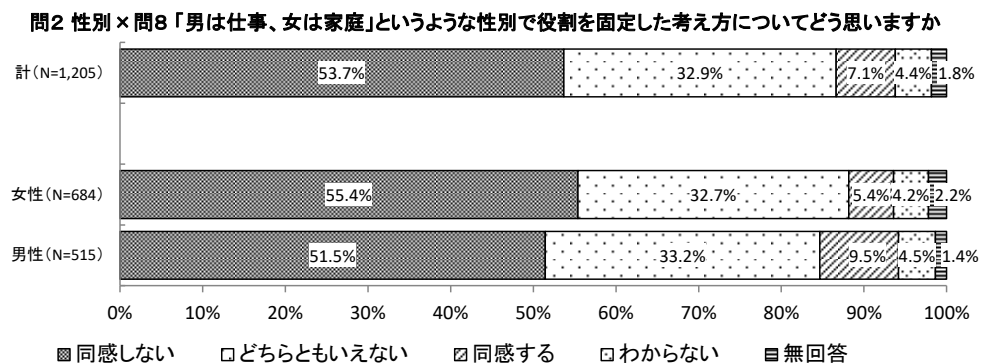
「同感しない」が 53.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 33.0%、「同感する」が 7.2%となっています。

性別では、「同感しない」は、女性 55.4%、男性 51.5%、「どちらともいえない」は、女性 32.7%、男性 33.2%で大きな差異はありません。一方で「同感する」は女性 5.4%、男性 9.5%でやや男性が高くなっています。

<全体>

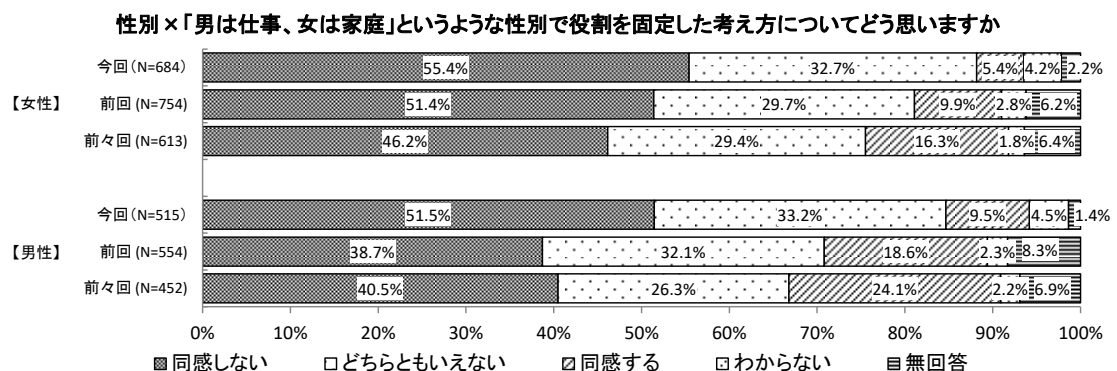


<性別>



<前回調査との比較>

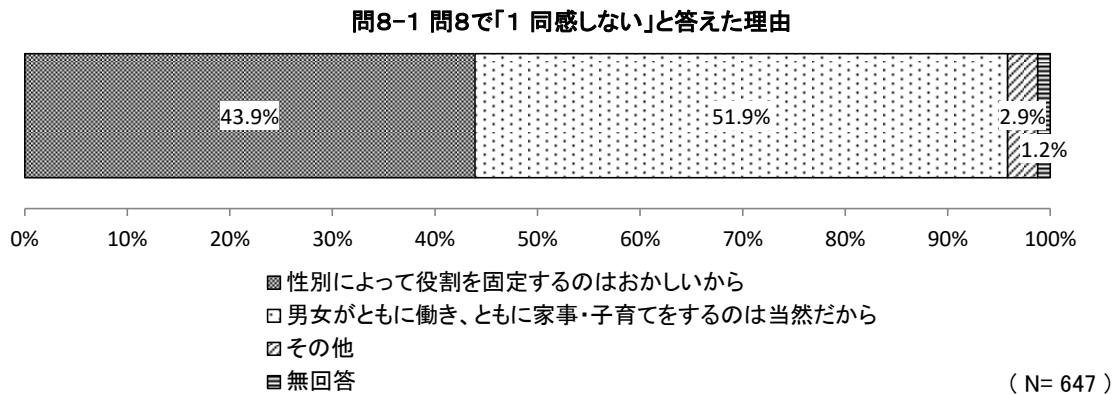
前回調査と比較すると、「同感しない」は、女性が4.0 ポイント増加（前回51.4%→今回55.4%）し、男性も12.8 ポイントと大きく増加（前回38.7%→今回51.5%）しています。



問 8-1 問 8 で「1 同感しない」と答えられた方にお尋ねします。
その理由はなぜですか。(〇は 1 つ)

「男女がともに働き、ともに家事・子育てをするのは当然だから」が 51.9%で最も高く、次いで「性別によって役割を固定するのはおかしいから」が 43.9%となっています。

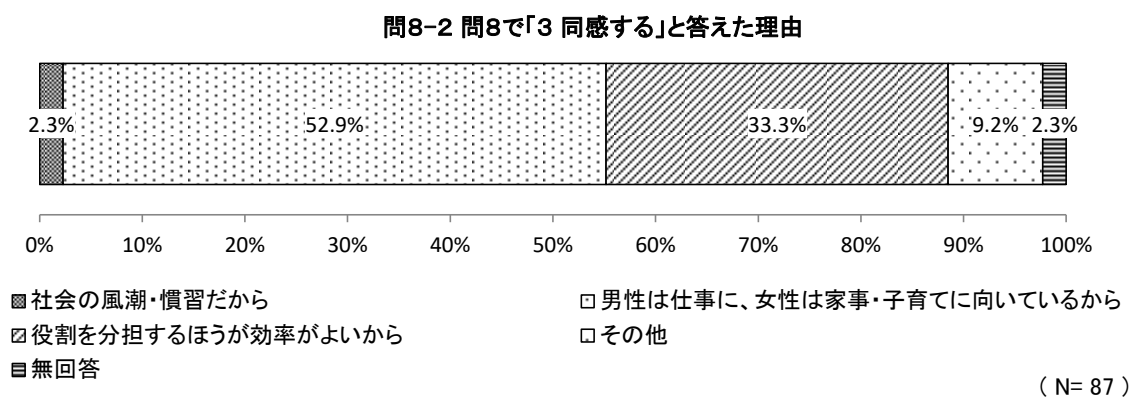
<全体>



問 8-2 問 8 で「3 同感する」と答えられた方にお尋ねします。
その理由はなぜですか。(〇は 1 つ)

「男性は仕事に、女性は家事・子育てに向いているから」が 52.9%で最も高く、次いで「役割を分担するほうが効率がよいから」が 33.3%となっています。

<全体>



C 家庭生活について

問9 あなた、配偶者（パートナー）が家事・育児・介護をする時間は、平日・休日を平均して1日どれくらいですか。（それぞれについて○は1つ）

（1）あなたについて

「3 時間以上」が 26.3%で最も高く、次いで「1 時間～2 時間未満」が 13.3%、「30 分～1 時間未満」が 13.2%となっています。

性別では、女性は「3 時間以上」が 42.0%で最も高いのに対し、男性は「15 分未満」が最も高く 22.1%となっています。

年代別では、「3 時間以上」が最も高いのは、30 代で 36.0%、次いで 40 代で 34.4%となっています。

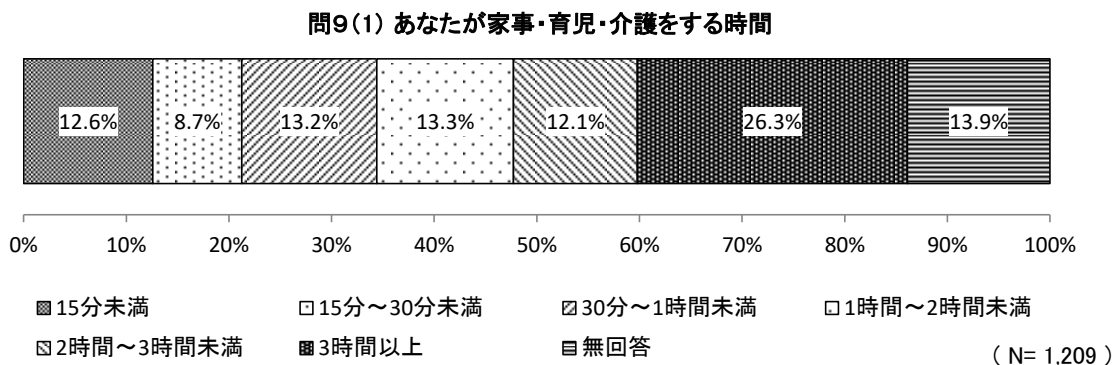
配偶関係では、既婚の方及び離別又は死別の方ともに「3 時間以上」が 3 割を越えて最も高いのに対し、未婚の方は 5.7%となっています。

勤務地別では、勤務地が八尾市内の方は「3 時間以上」が 35.6%で最も高いのに対し、大阪府外の方では、「15 分未満」が最も高く 28.3%となっています。

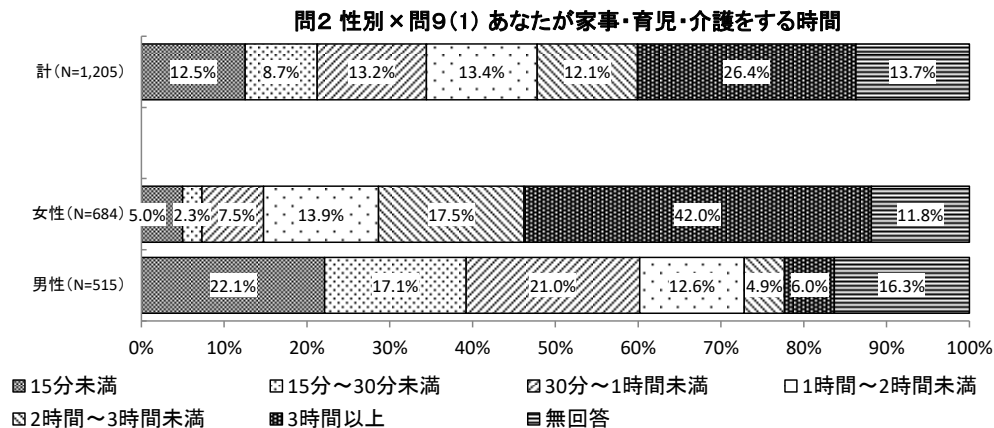
通勤時間別では、通勤時間が 0 分～30 分未満の方は「3 時間以上」が 31.4%で最も高いのに対し、通勤時間が 1 時間 30 分～2 時間未満の方は「15 分未満」が最も高く 38.9%となっています。

就労時間別では、就労時間が 4 時間～6 時間未満の方は「3 時間以上」が 44.7%で最も高いのに対し、就労時間が 10 時間～12 時間未満の方は「15 分未満」が最も高く 30.7%となっています。

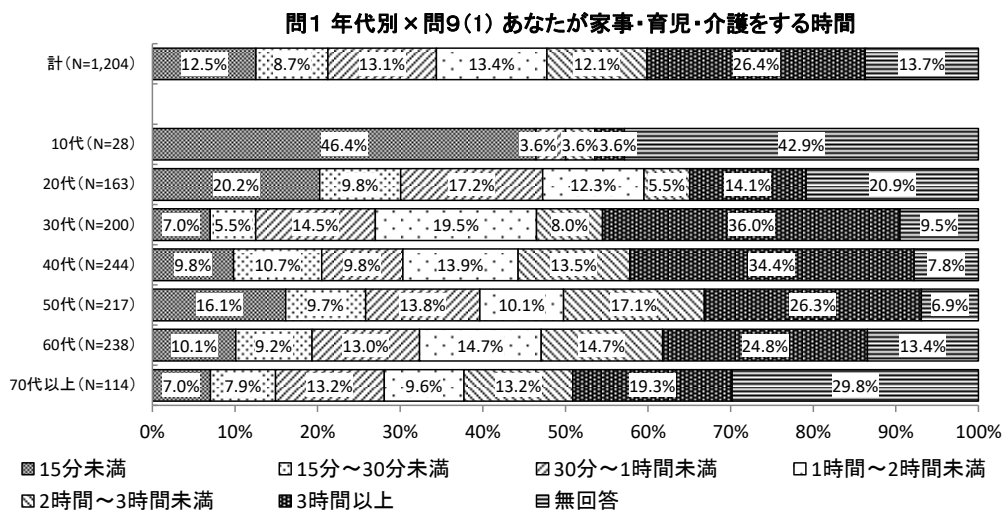
＜全体＞



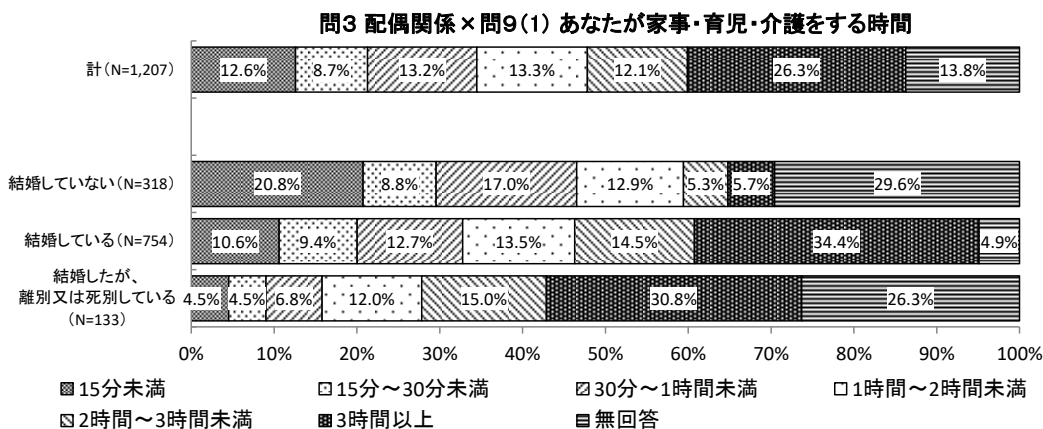
<性別>



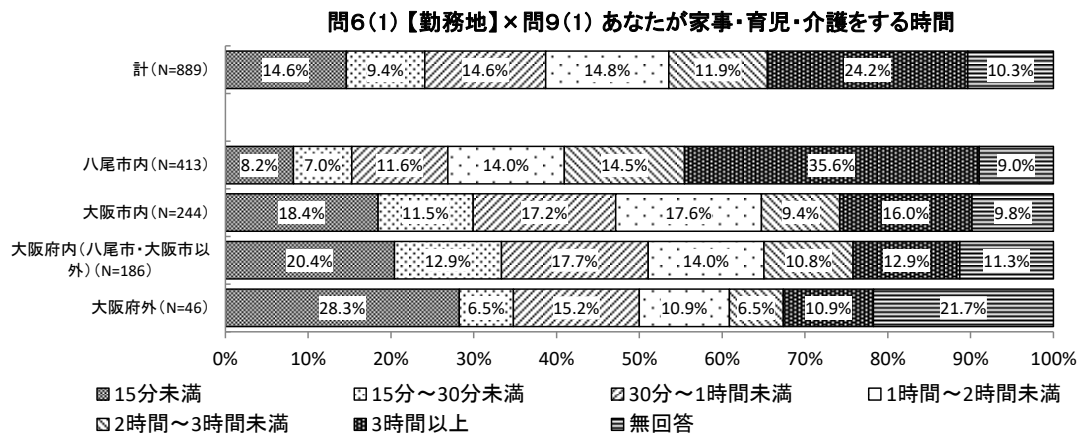
<年代別>



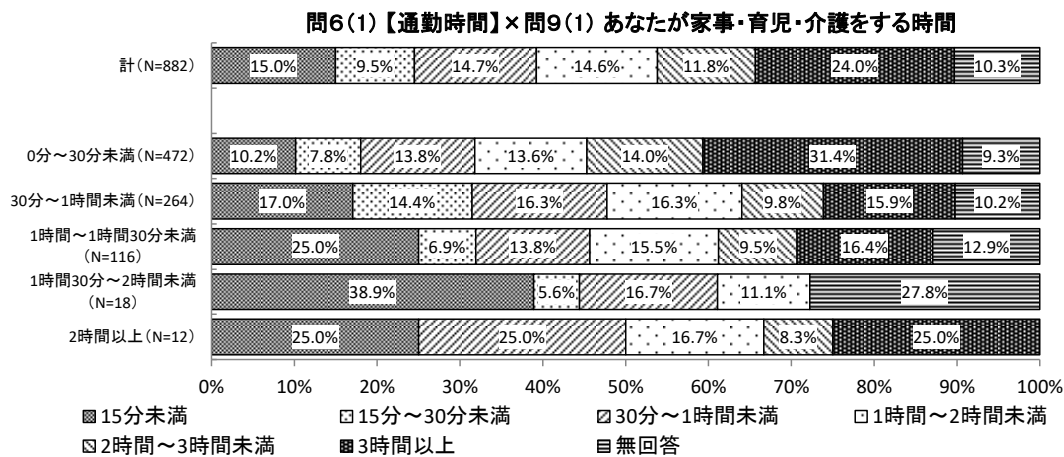
<配偶関係>



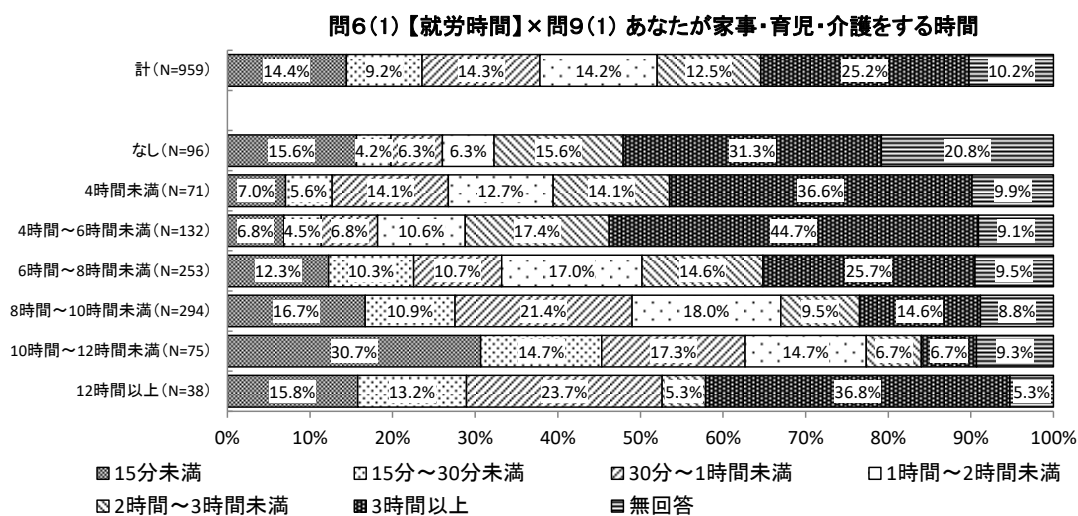
<勤務地>



<通勤時間>



<就労時間>



(2) 配偶者（パートナー）について

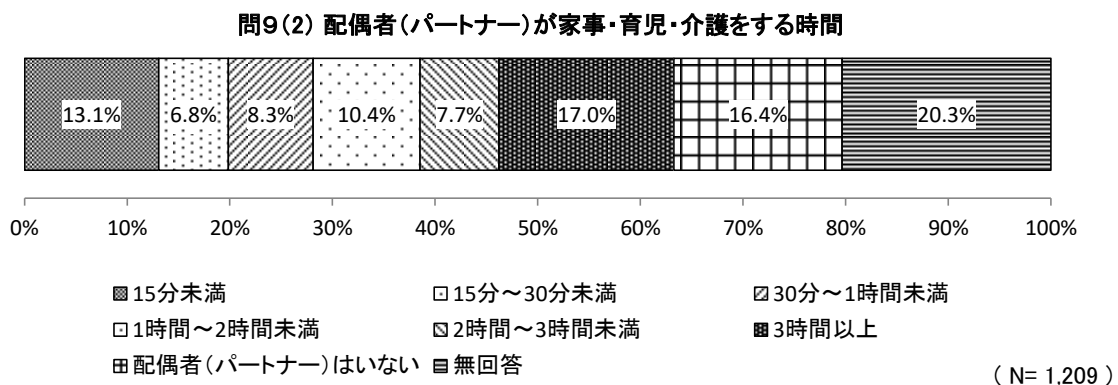
「3 時間以上」が 17.0%で最も高く、次いで「15 分未満」が 13.1%となっています。

配偶者（パートナー）の勤務地別では、勤務地が八尾市内の方は「3 時間以上」が 31.7%で最も高いのに対し、その他の勤務地ではいずれも「15 分未満」が最も高くなっています。

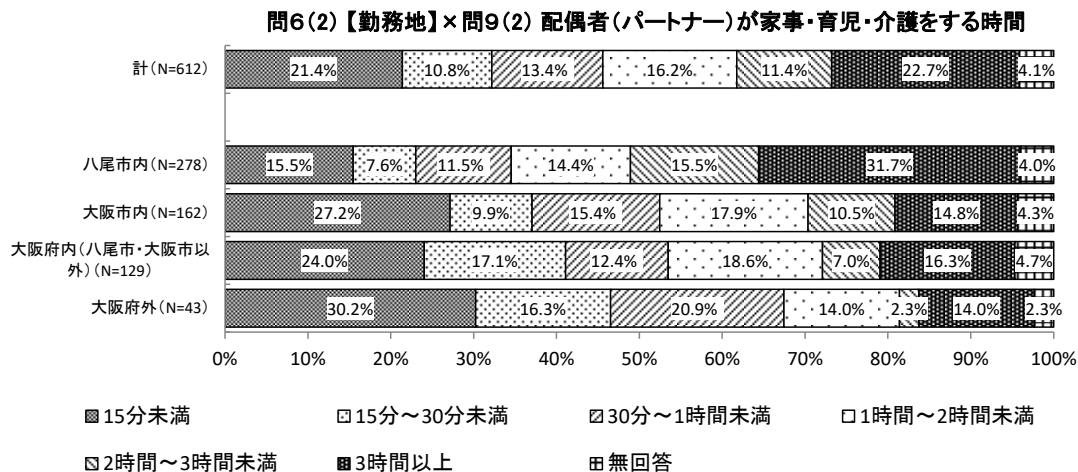
通勤時間別では、通勤時間が0分～30分未満の方は「3時間以上」が30.2%で最も高くなっています。

就労時間別では、就労時間が8 時間以上の方の 3 割以上が「15 分未満」となっています。

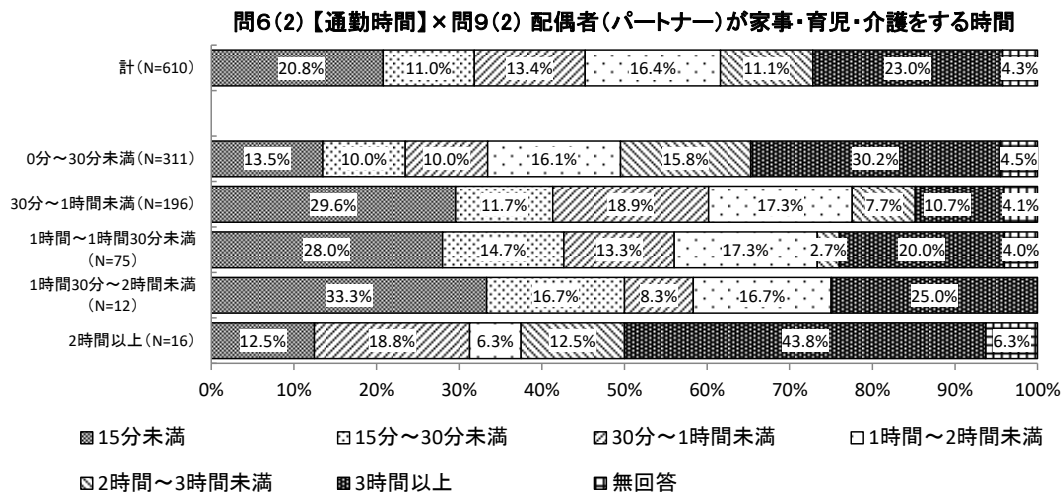
<全体>



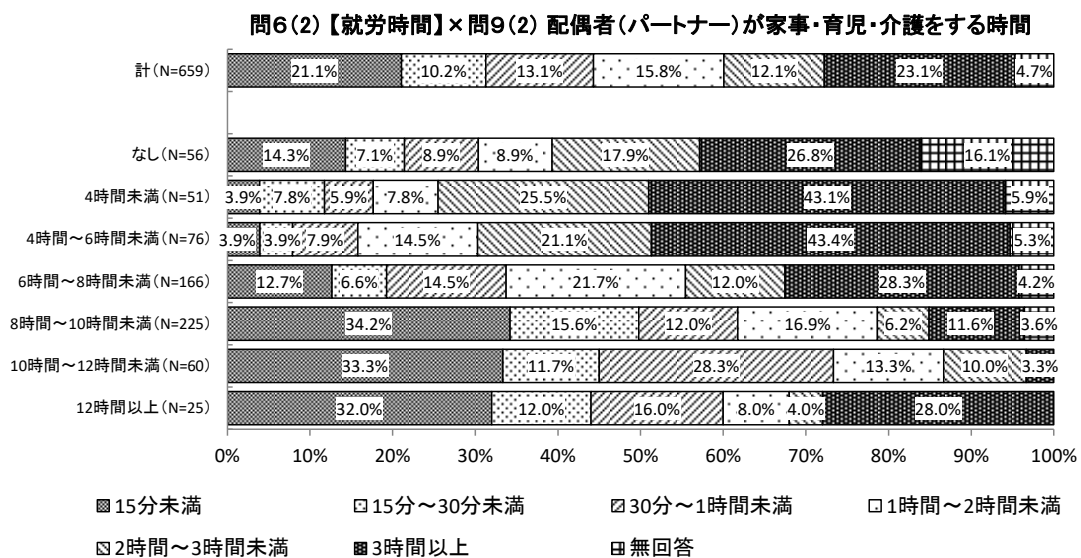
<勤務地>



<通勤時間>



<就労時間>



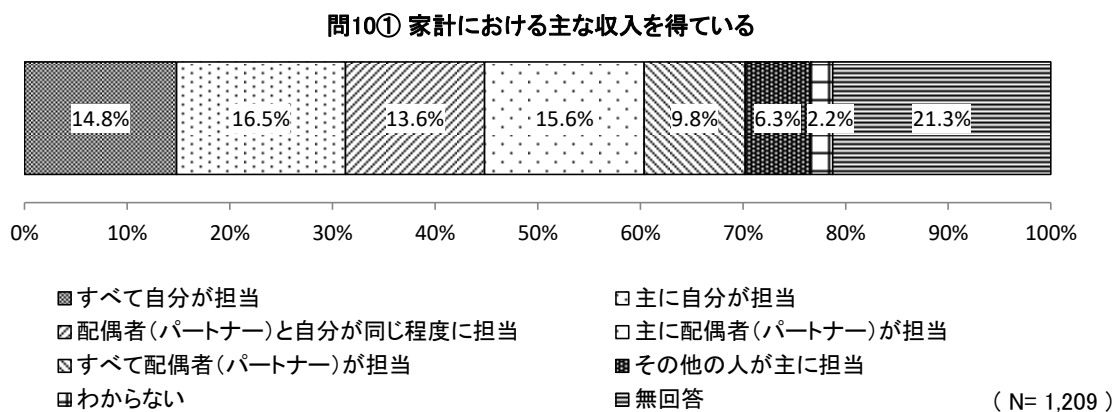
問 10 次の①～⑩の各項目について、あなたのご家庭では、誰が主に担当していますか。
(①～⑩のそれぞれについて○は 1 つ)

『自分が担当』(「すべて自分が担当」と「主に自分が担当」を合わせた値)は、「①家計における主な収入を得ている」、「②掃除・洗濯をする」、「③食事の支度をする」、「④日々の家計を管理する」の項目が比較的高く、それぞれ約 3 割から 4 割となっています。なお、これらの項目は、『配偶者(パートナー)が担当』(「すべて配偶者(パートナー)が担当」と「主に配偶者(パートナー)が担当」を合わせた値)も他に比べて高くなっています。

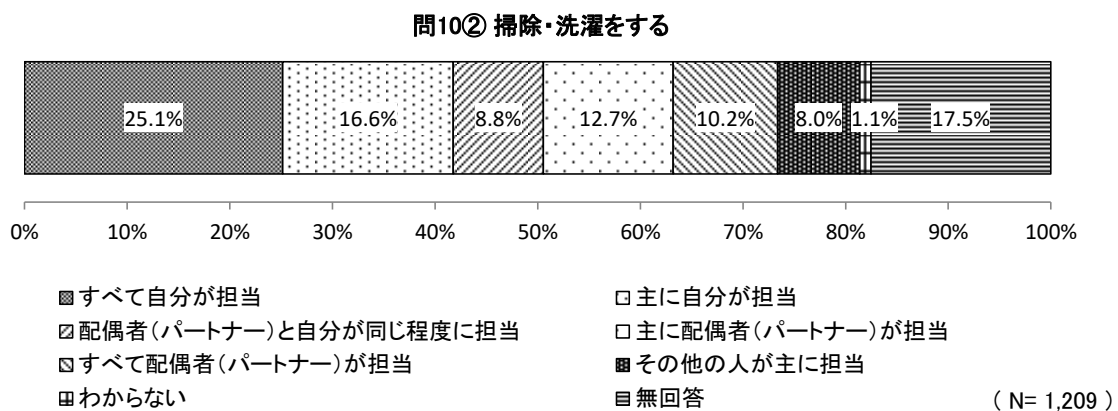
一方、「配偶者(パートナー)と自分が同じように担当」は「⑧子どもの進路を決定する」と「⑨高額な買い物の決定をする」で最も高く、それぞれ 22.5%、36.2%となっています。

<全体>

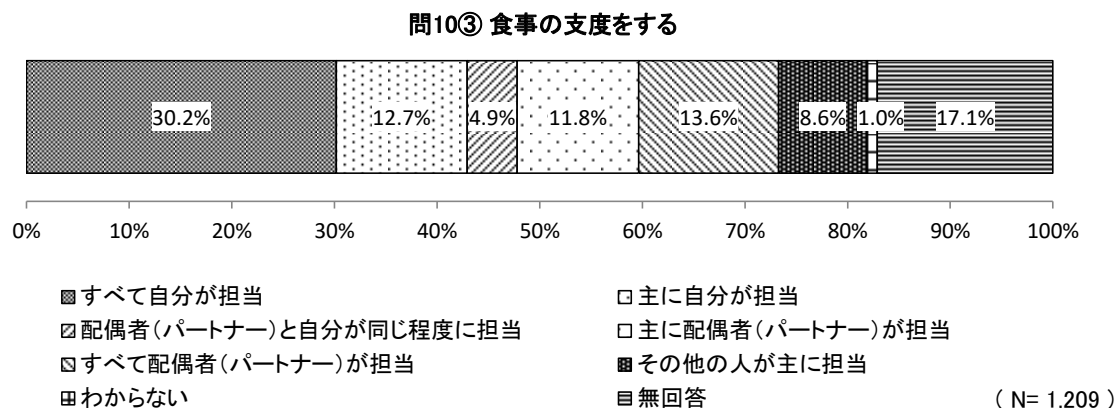
① 家計における主な収入を得ている



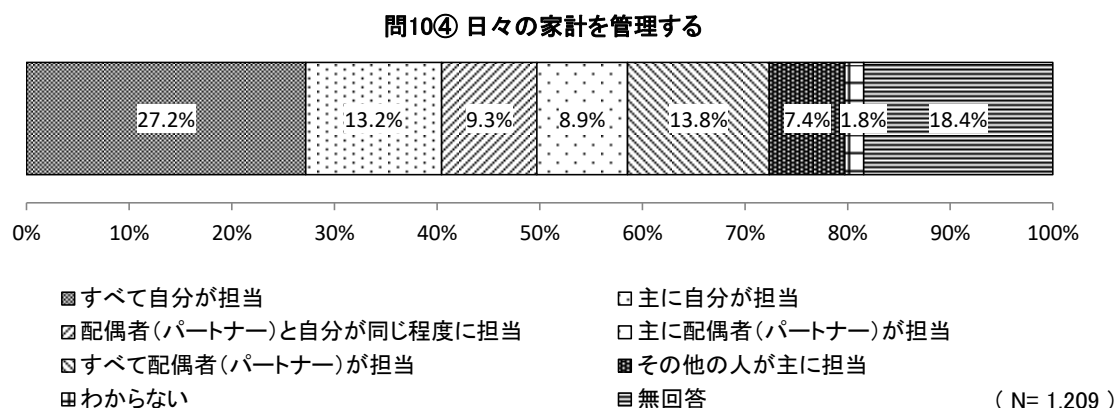
② 掃除・洗濯をする



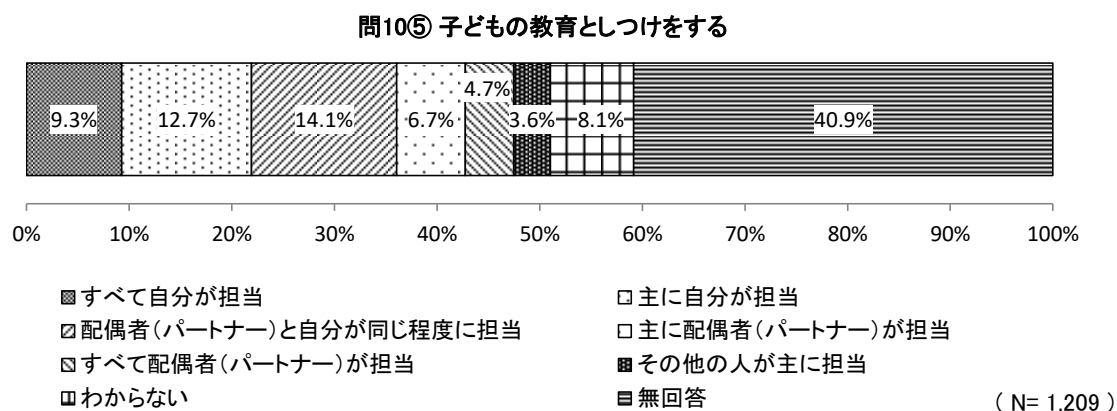
③ 食事の支度をする



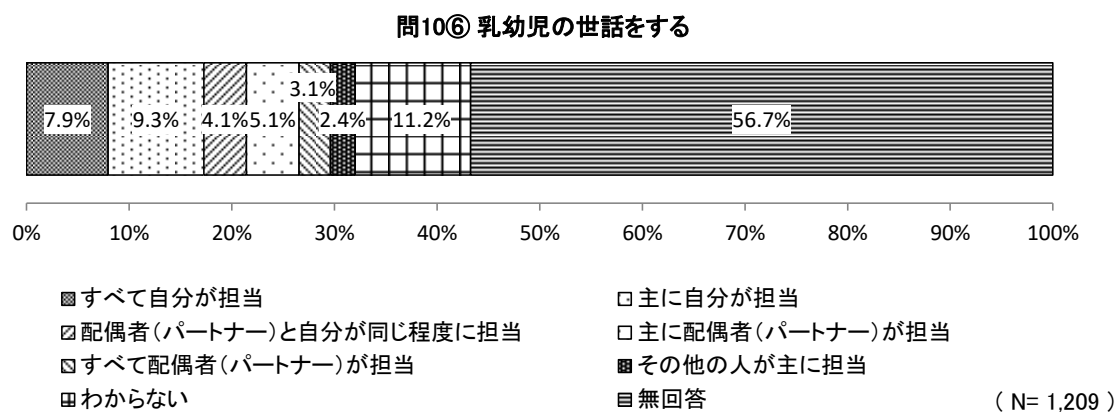
④ 日々の家計を管理する



⑤ 子どもの教育としつけをする

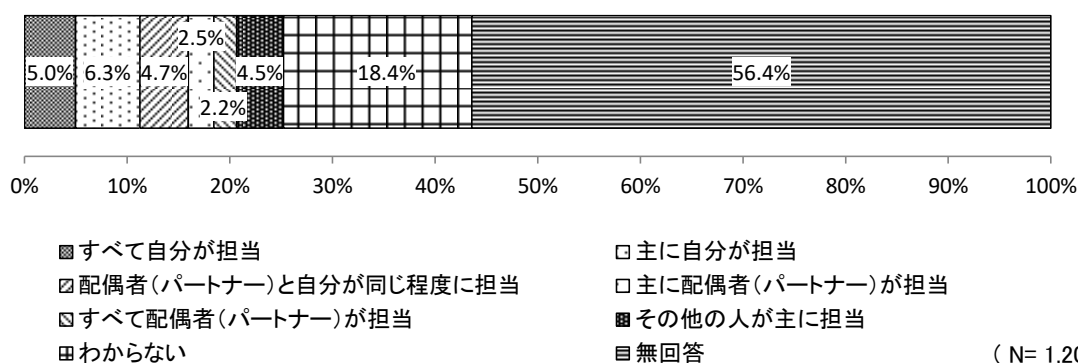


⑥ 乳幼児の世話をする



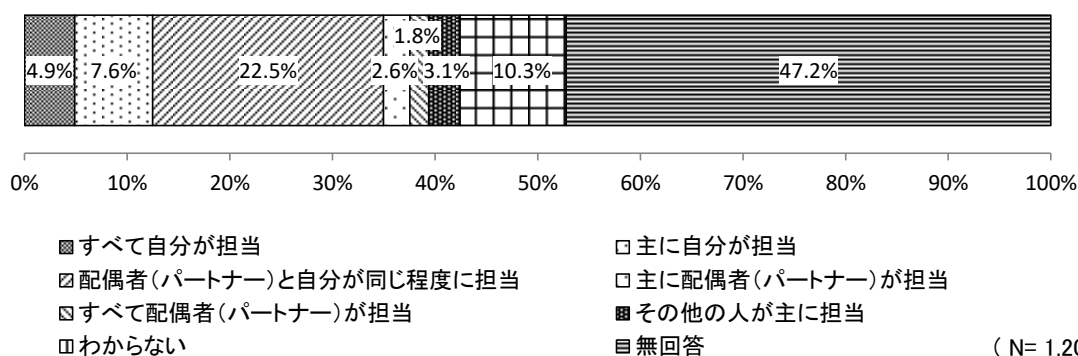
⑦ 高齢の家族の介護をする

問10⑦ 高齢の家族の介護をする



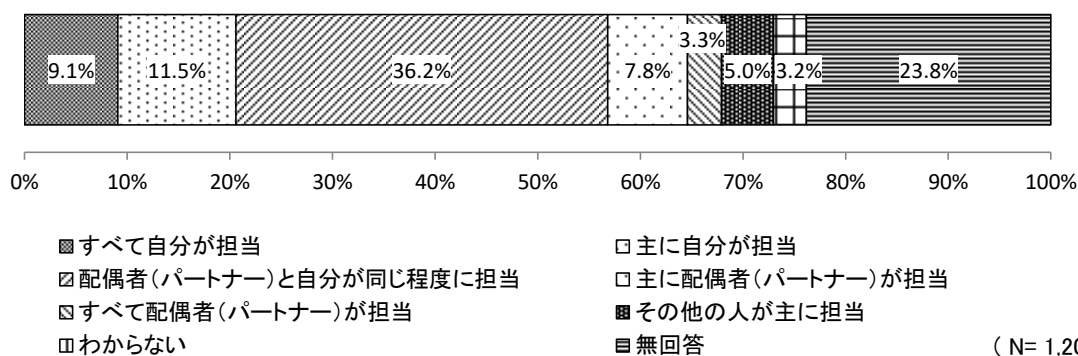
⑧ 子どもの進路を決定する

問10⑧ 子どもの進路を決定する



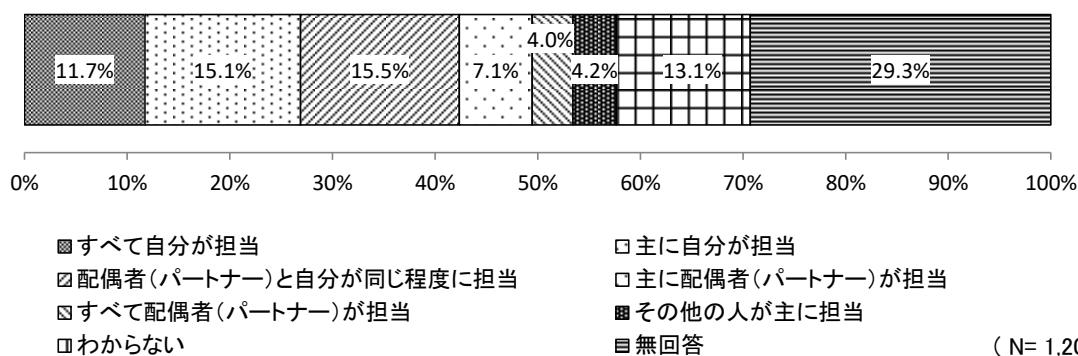
⑨ 高額な買い物の決定をする

問10⑨ 高額な買い物の決定をする



⑩ 地域活動へ参加する

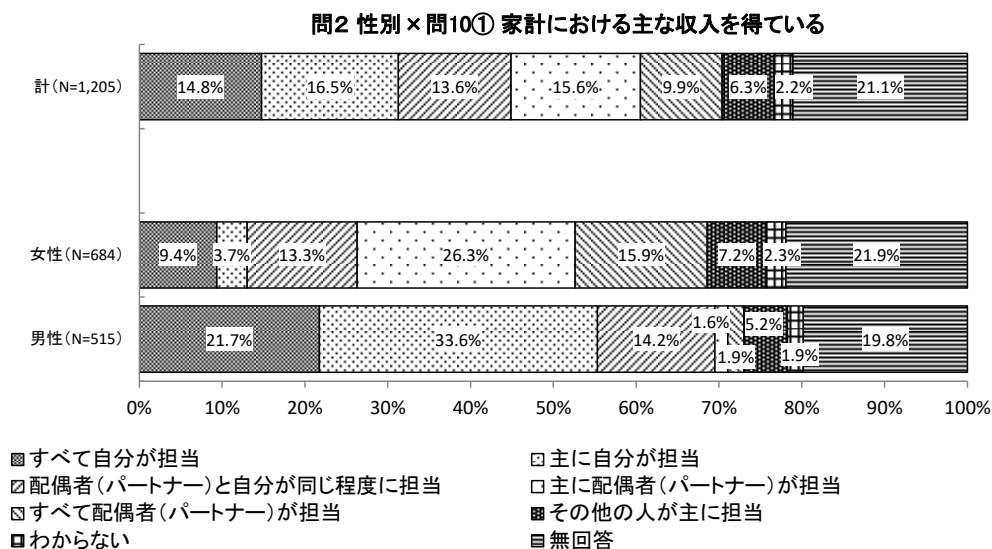
問10⑩ 地域活動へ参加する



<性別>

① 家計における主な収入を得ている

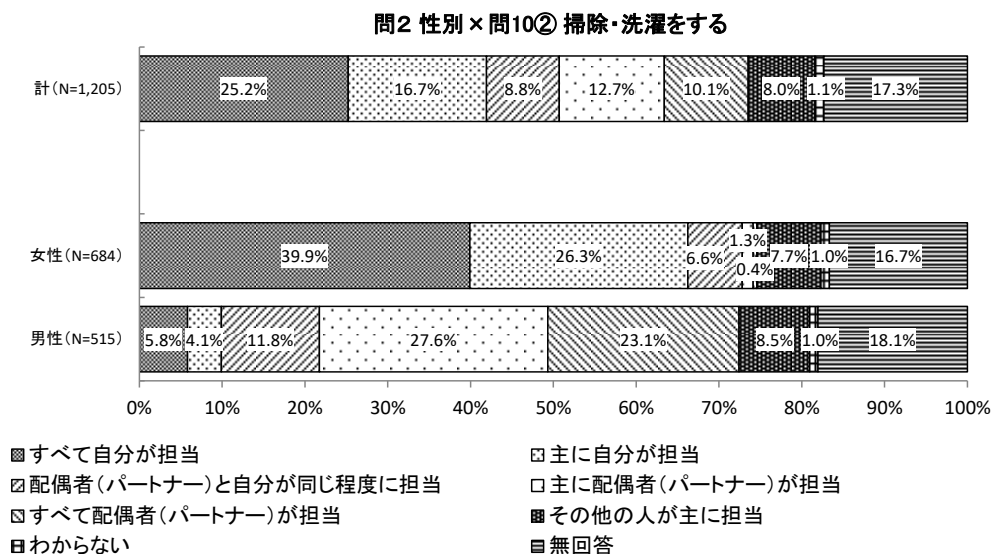
女性は『自分が担当』が13.1%、『配偶者（パートナー）が担当』が42.2%であるのに対し、男性は『自分が担当』が55.3%、『配偶者（パートナー）が担当』が3.5%となっています。



② 掃除・洗濯をする

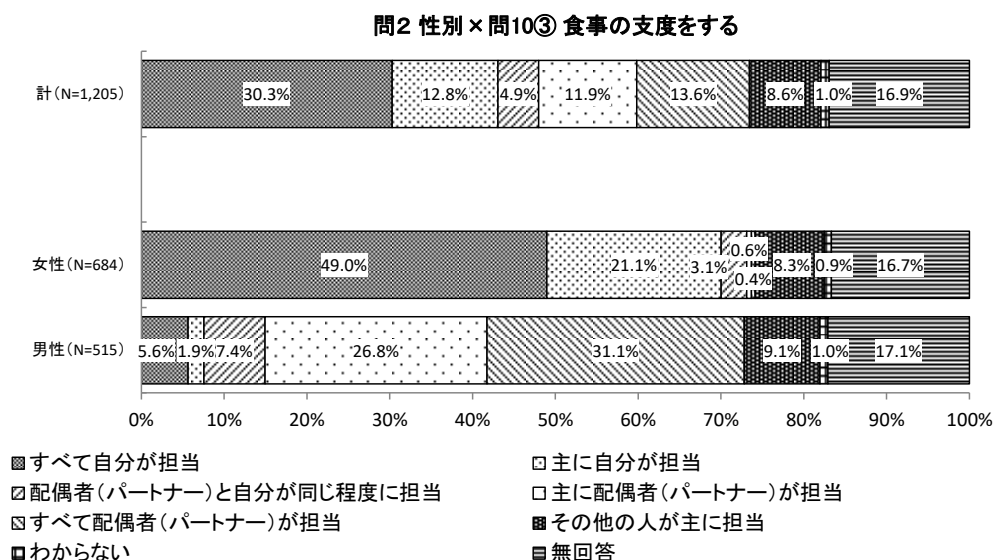
女性は『自分が担当』が66.2%、『配偶者（パートナー）が担当』が1.7%であるのに対し、男性は『自分が担当』が9.9%、『配偶者（パートナー）が担当』が50.7%となっています。

特に女性では、「すべて自分が担当」が39.9%となっています。



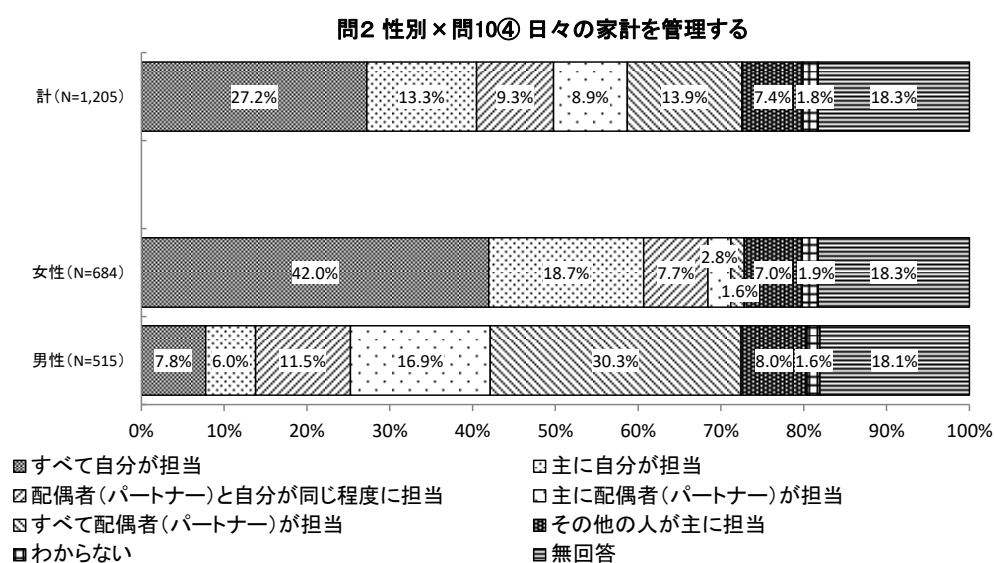
③ 食事の支度をする

女性は『自分が担当』が70.1%、『配偶者（パートナー）が担当』が1.0%であるのに対し、男性は『自分が担当』が7.5%、『配偶者（パートナー）が担当』が57.9%となっています。特に女性では、「すべて自分が担当」が49.0%となっています。



④ 日々の家計を管理する

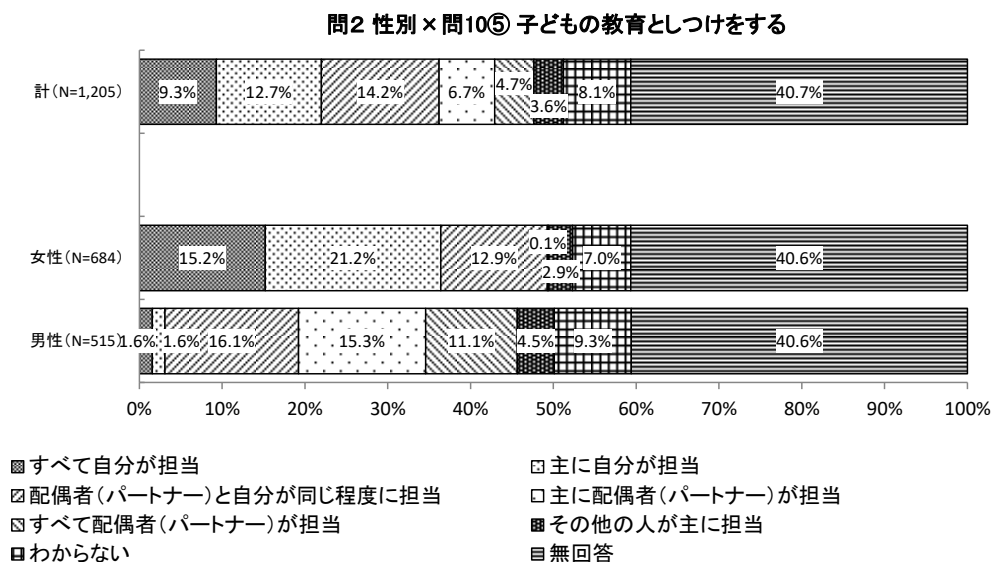
女性は『自分が担当』が60.7%、『配偶者（パートナー）が担当』が4.4%であるのに対し、男性は『自分が担当』が13.8%、『配偶者（パートナー）が担当』が47.2%となっています。特に女性では、「すべて自分が担当」が42.0%となっています。



⑤ 子どもの教育としつけをする

女性は『自分が担当』が36.4%、『配偶者（パートナー）が担当』が0.1%であるのに対し、男性は『自分が担当』が3.2%、『配偶者（パートナー）が担当』が26.4%となっています。

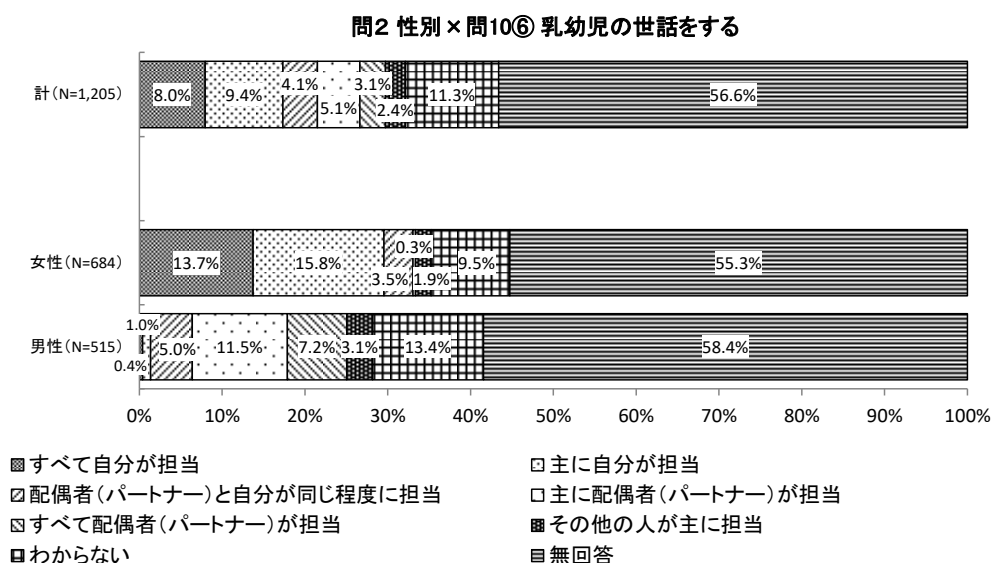
特に女性では、「すべて配偶者（パートナー）が担当」と回答した人はいませんでした。



⑥ 乳幼児の世話をする

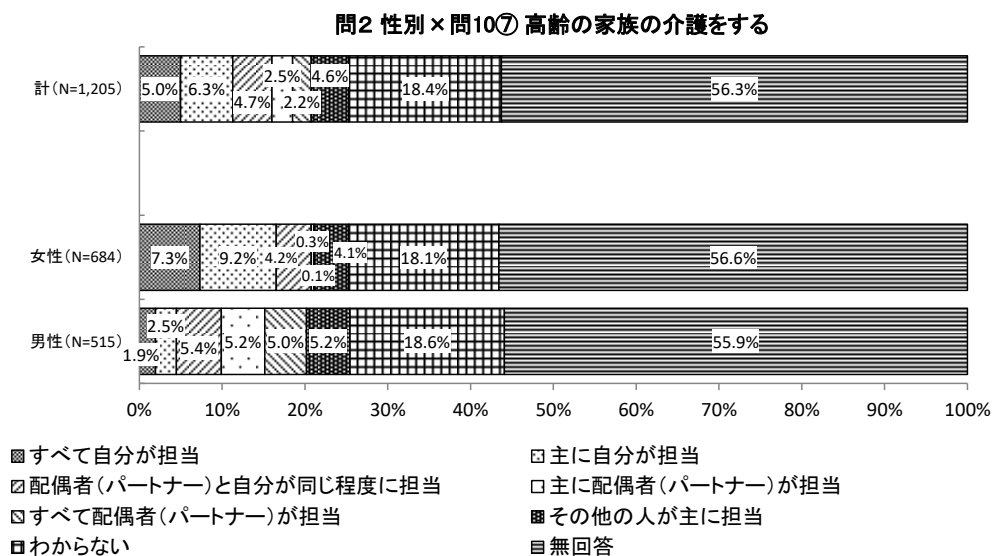
女性は『自分が担当』が29.5%、『配偶者（パートナー）が担当』が0.3%であるのに対し、男性は『自分が担当』が1.4%、『配偶者（パートナー）が担当』が18.7%となっています。

特に女性では、「すべて配偶者（パートナー）が担当」と回答した人はいませんでした。



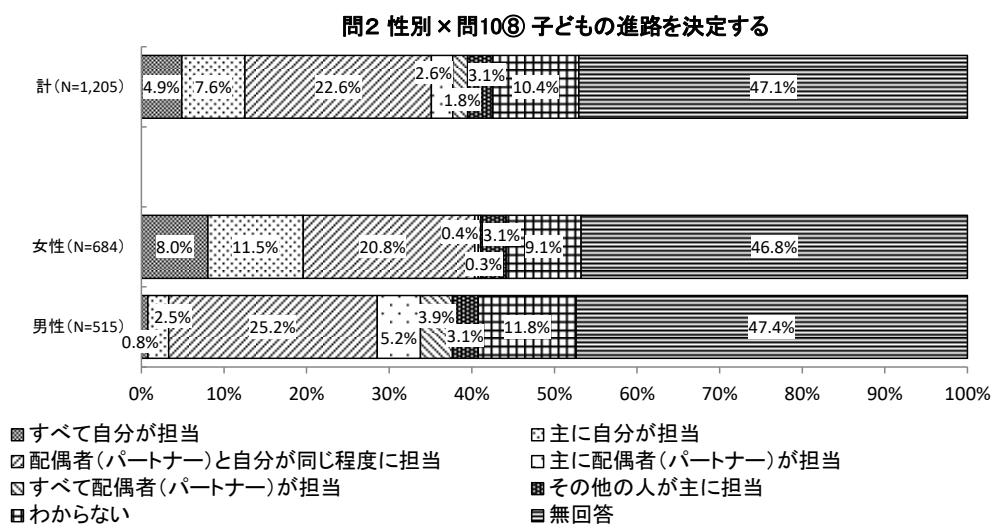
⑦ 高齢の家族の介護をする

女性は『自分が担当』が16.5%、『配偶者（パートナー）が担当』が0.4%であるのに対し、男性は『自分が担当』が4.4%、『配偶者（パートナー）が担当』が10.2%となっています。



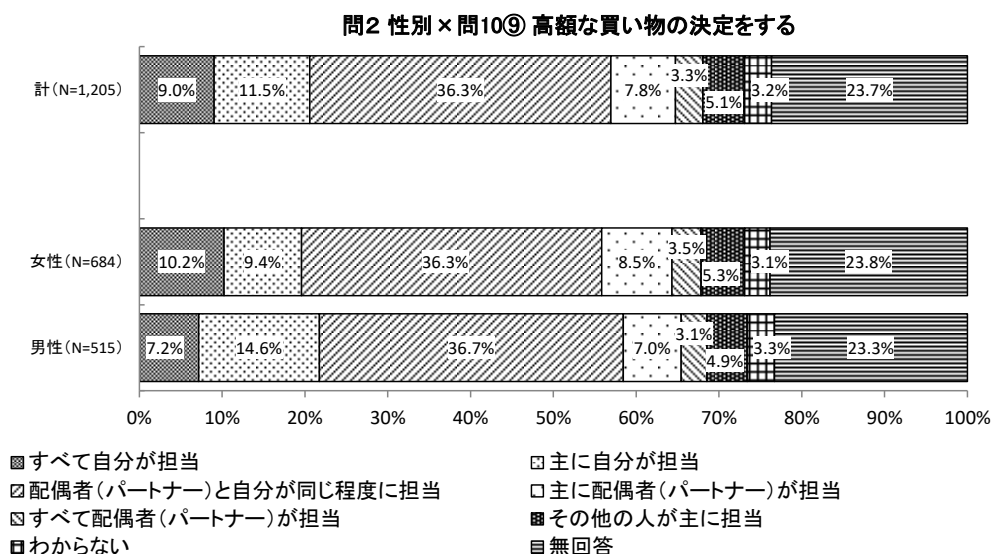
⑧ 子どもの進路を決定する

女性、男性いずれも、「配偶者（パートナー）と自分が同じ程度に担当」が最も高くそれぞれ20.8%、25.2%となっています。



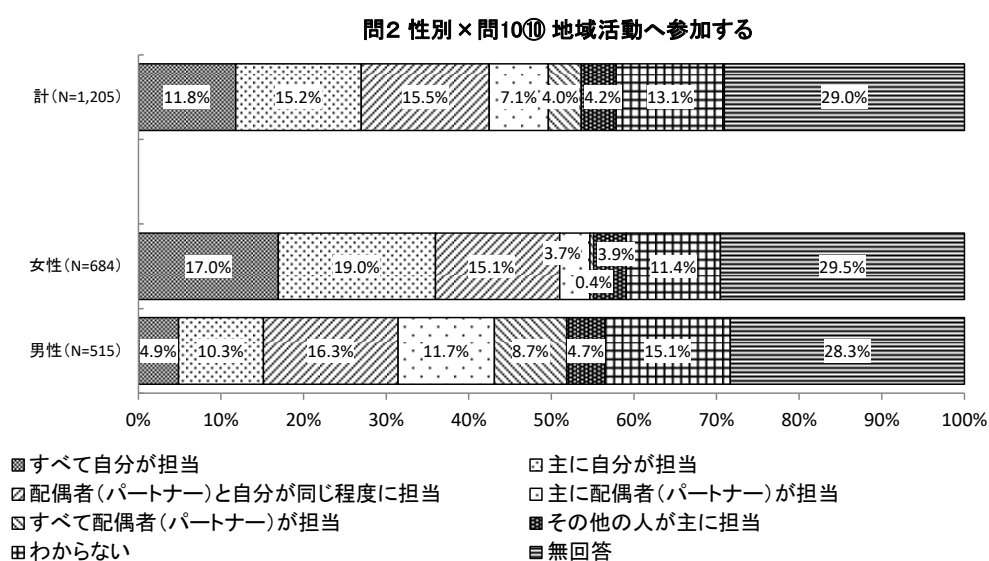
⑨ 高額な買い物の決定をする

女性、男性いずれも、「配偶者（パートナー）と自分が同じ程度に担当」が最も高くそれぞれ 36.3%、36.7%となっています。



⑩ 地域活動へ参加する

女性は『自分が担当』が 36.0%、「配偶者（パートナー）と自分が同じ程度に担当」が 15.1%であるのに対し、男性は『自分が担当』が 15.2%、「配偶者（パートナー）と自分が同じ程度に担当」が 16.3%、「配偶者（パートナー）が担当」が 20.4%となっており、性別により差異があります。



D 子育て・教育について

問 11 一般的に子どもには、どの程度の学歴が必要だと思いますか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。（それぞれについて○は1つ）

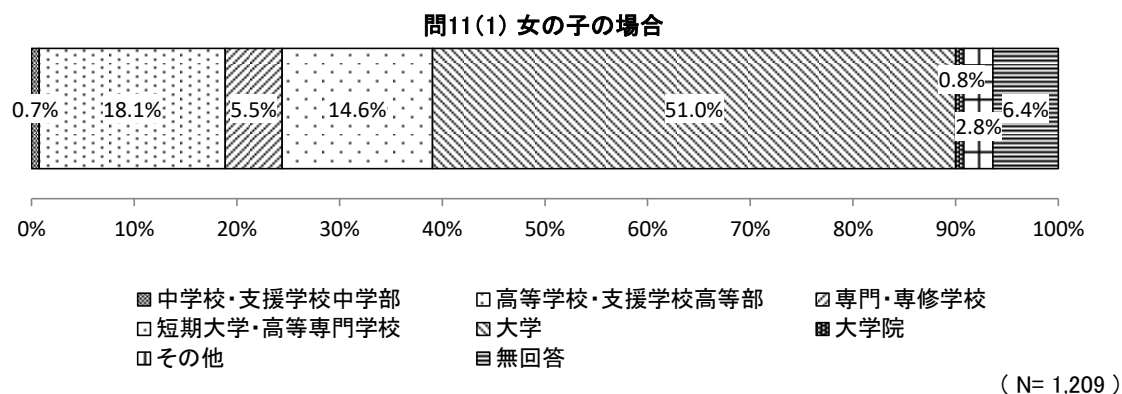
女の子の場合は、「大学」が51.0%で最も高く、次いで「高等学校・支援学校高等部」が18.1%、「短期大学・高等専門学校」が14.6%となっています。

男の子の場合は、「大学」が64.4%で最も高く、次いで「高等学校・支援学校高等部」が14.8%と、この二つの項目で約8割を占めます。

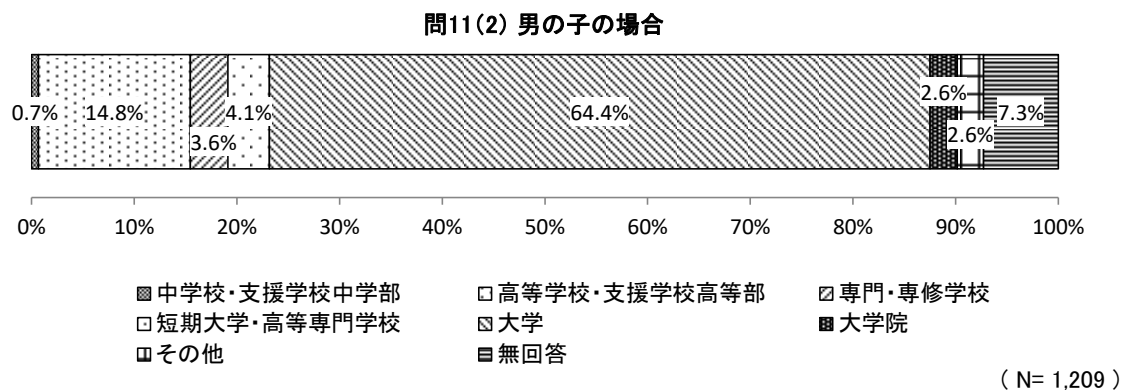
「専門・専修学校」は女の子の場合が5.5%に対し男の子の場合が3.6%と女の子の場合が上回り、「大学院」は女の子の場合が0.8%に対し男の子の場合が2.6%と男の子の場合が上回っています。

<全体>

（女の子の場合）

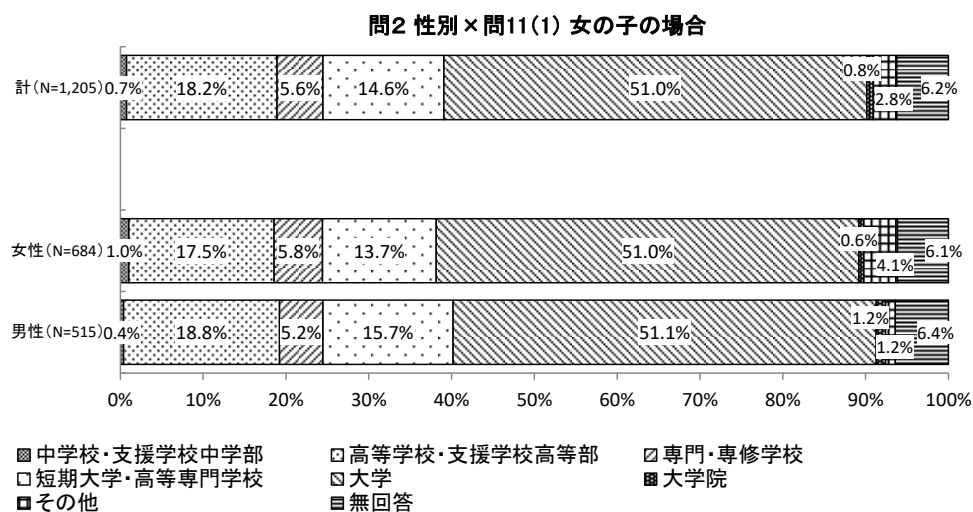


（男の子の場合）

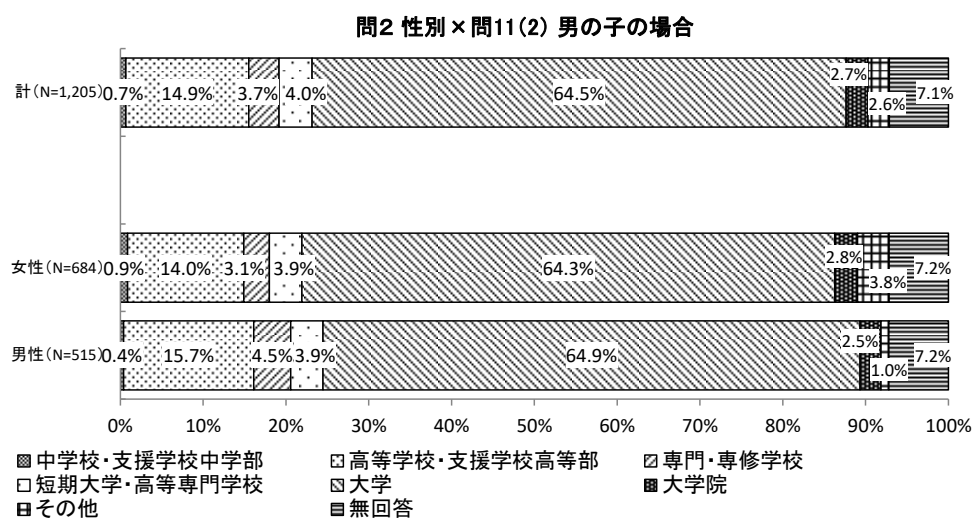


<性別>

(女の子の場合)



(男の子の場合)



問 12 子どもには、どのような生き方が望ましいと思いますか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。（それぞれについて〇は2つ）

女の子の場合は、「本人の意思に任せる」が54.8%で最も高く、次いで「経済的に自立した生活をする」が35.0%、「本人の個性や才能を生かした生活をする」が31.5%となっています。

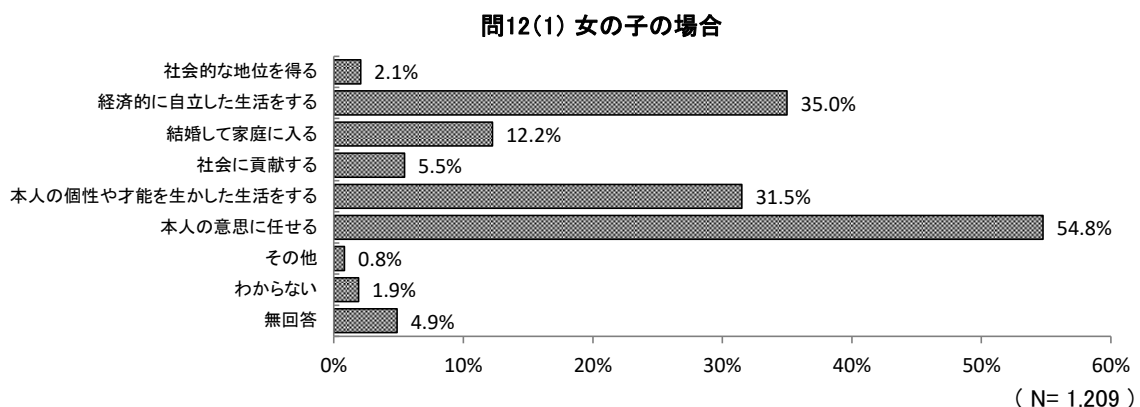
男の子の場合は、「本人の意思に任せる」が49.9%、「経済的に自立した生活をする」が49.6%とほぼ同率で並び、次いで「本人の個性や才能を生かした生活をする」が25.9%となっています。

性別では、女の子の場合、「本人の意思に任せる」が女性、男性ともに55.0%で最も高い一方で、特に「経済的に自立した生活をする」は女性が38.7%であるのに対し、男性が29.9%、「結婚して家庭に入る」は女性が9.1%であるのに対し、男性が16.5%とそれぞれ性別により差異があります。

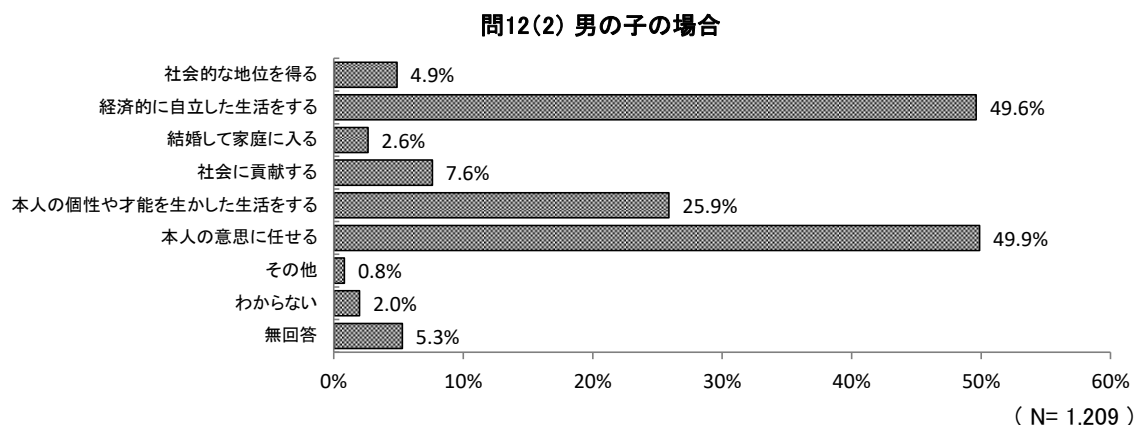
男の子の場合、女性は「経済的に自立した生活をする」が52.3%で最も高く、次いで「本人の意思に任せる」が49.0%となっています。一方、男性は「本人の意思に任せる」が51.5%で最も高く、次いで「経済的に自立した生活をする」が46.2%となっています。

<全体>

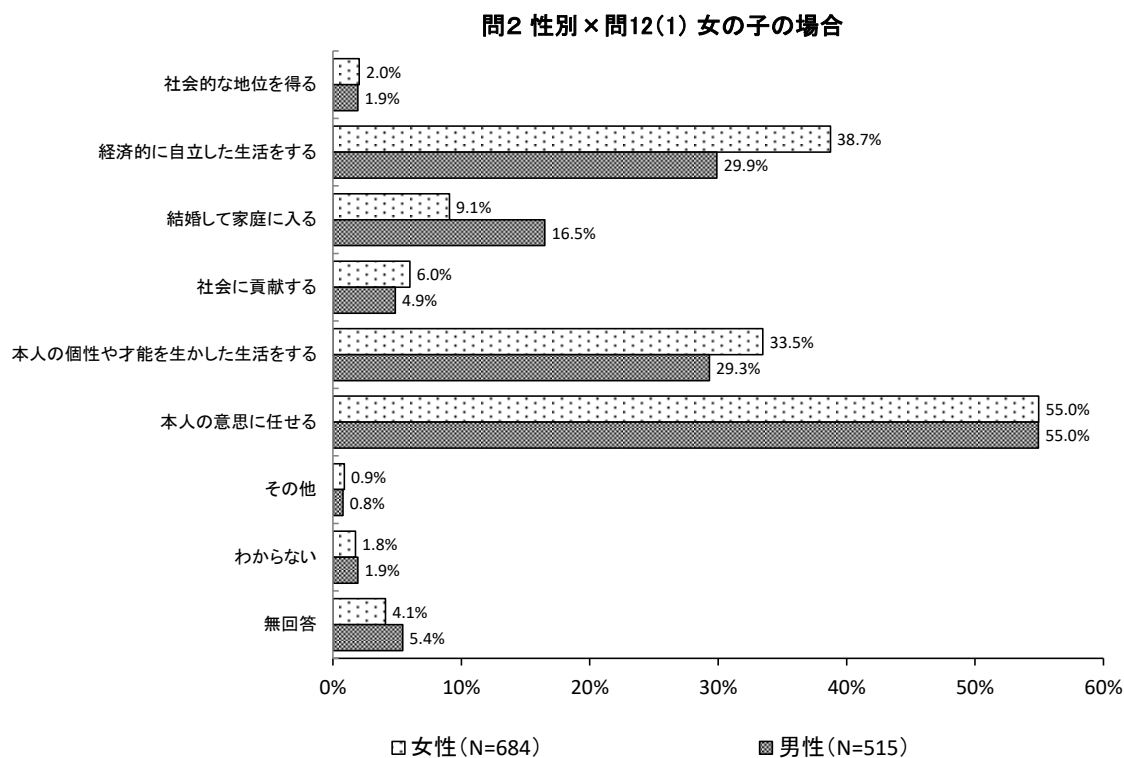
（女の子の場合）



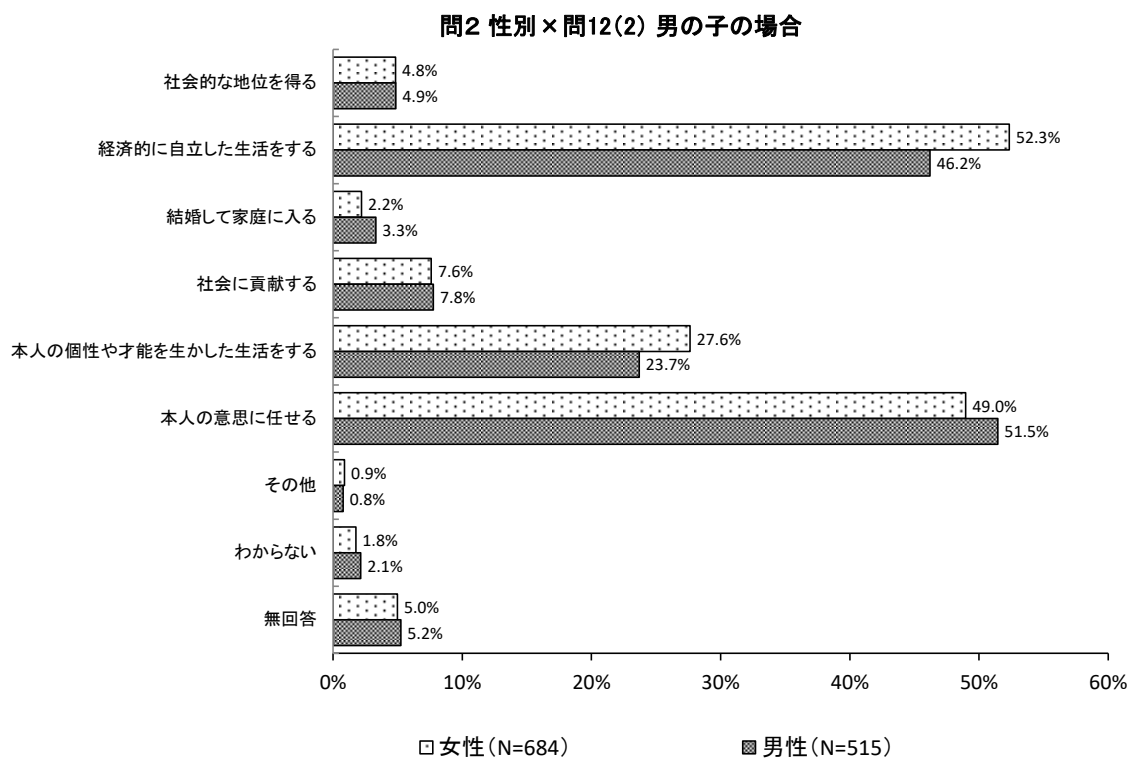
（男の子の場合）



<性別>
(女の子の場合)



(男の子の場合)

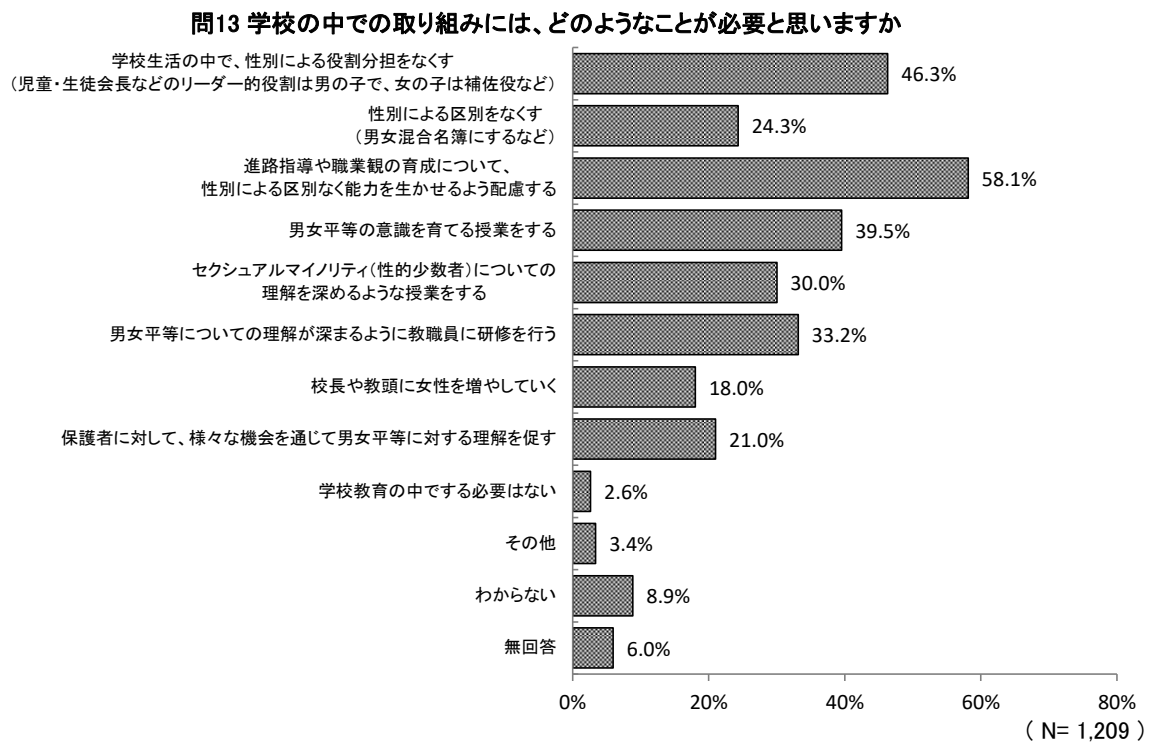


問 13 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要と思いますか。(〇はいくつでも)

「進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する」が最も高く58.1%、次いで「学校生活の中で、性別による役割分担をなくす（児童・生徒会長などのリーダー的役割は男の子で、女の子は補佐役など）」が46.3%、「男女平等の意識を育てる授業をする」が39.5%となっています。

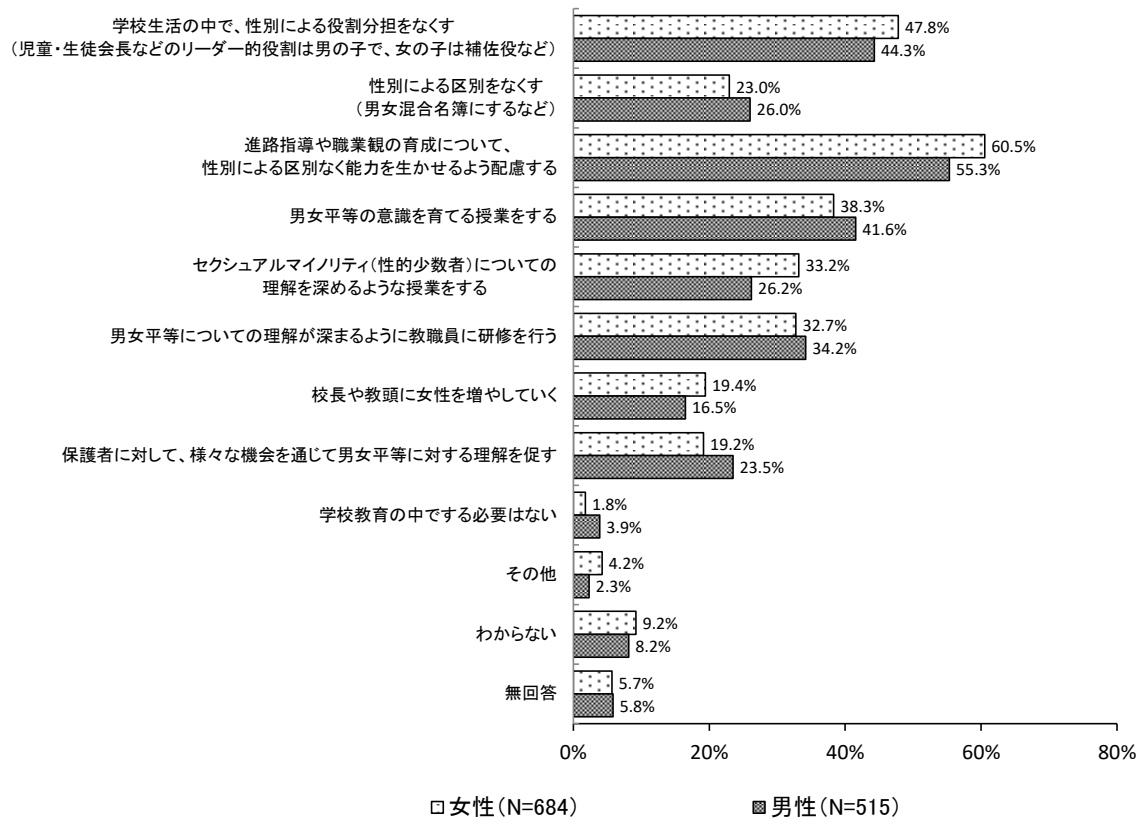
性別では、特に「進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する」は女性が60.5%であるのに対し、男性が55.3%、「セクシュアルマイノリティ（性的少数者）についての理解を深めるような授業をする」は女性が33.2%であるのに対し、男性が26.2%でそれぞれ性別により差異があります。

<全体>



<性別>

問2 性別 × 問13 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要と思いますか



E 就労について

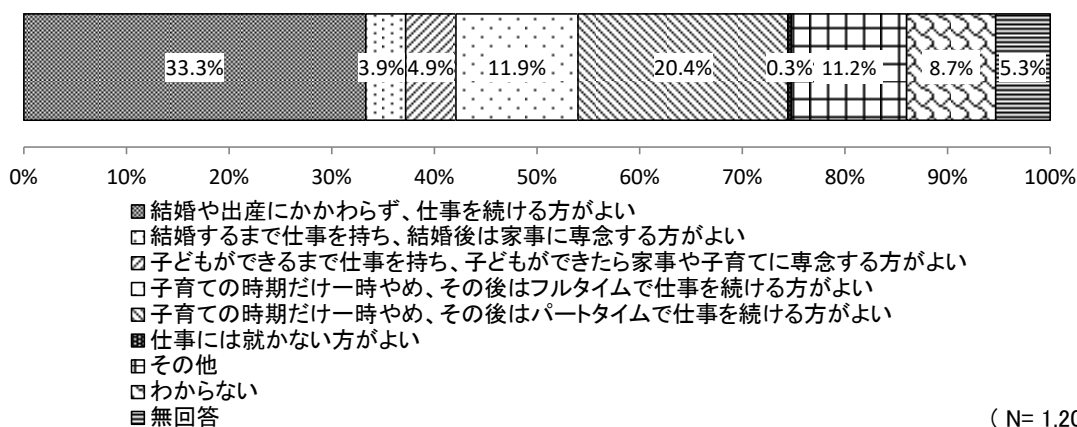
問 14 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は 1 つ)

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が 33.3%で最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」が 20.4%、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい」が 11.9%となっています。

性別では、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が女性 33.5%、男性 33.6%でほぼ同率となっているのに対し、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」は、女性 23.1%、男性 16.9%で性別により差異があります。

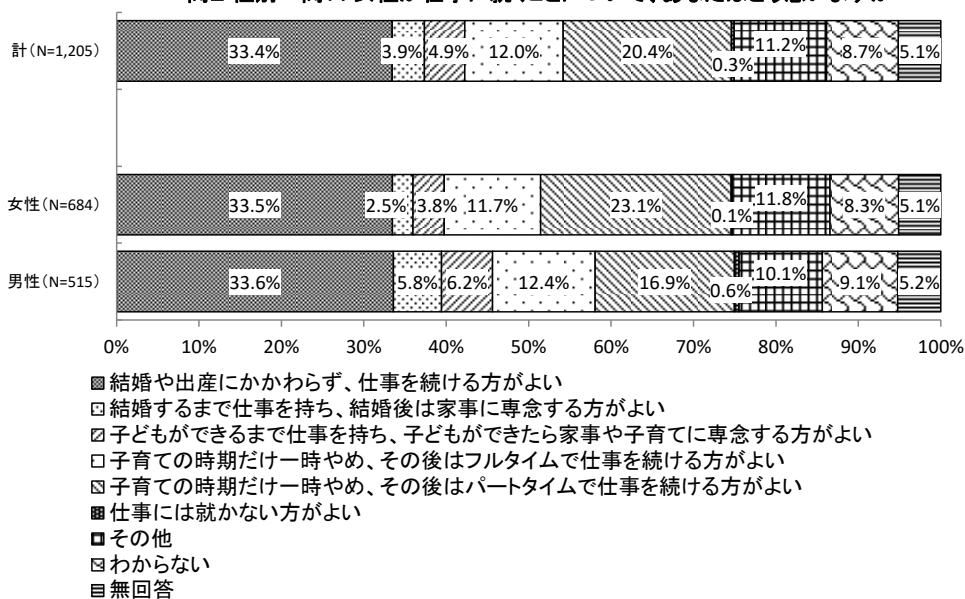
<全体>

問14 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか



<性別>

問2 性別 × 問14 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか



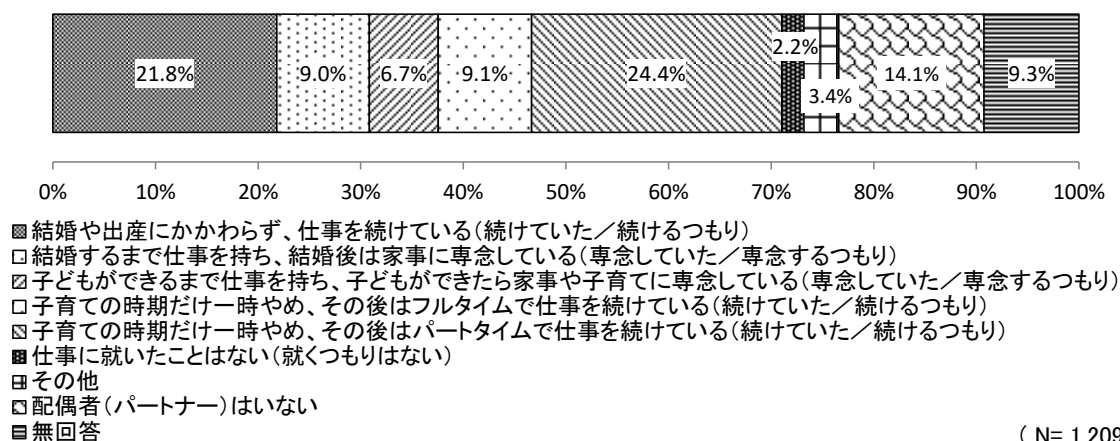
問 15 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性のご自身について、男性は配偶者（パートナー）についてお答えください。（〇は 1 つ）

「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が 24.4%で最も高く、次いで「結婚や出産にかかわらず、仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が 21.8%となっています。

性別では、女性は「結婚や出産にかかわらず、仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が 25.9%で最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が 25.3%となっています。男性は、配偶者（パートナー）が「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が 23.7%で最も高くなっています。

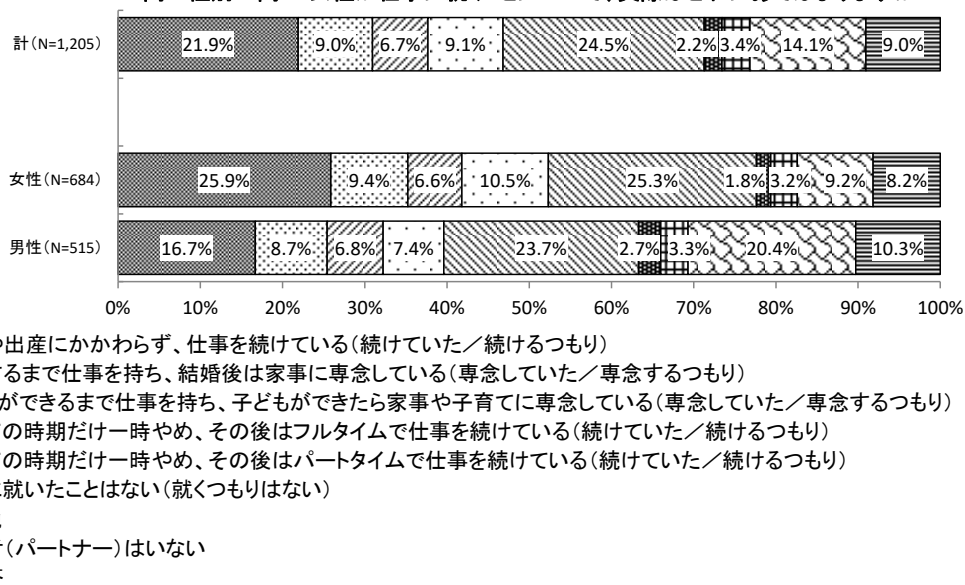
<全体>

問15 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか



<性別>

問2 性別 × 問15 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか



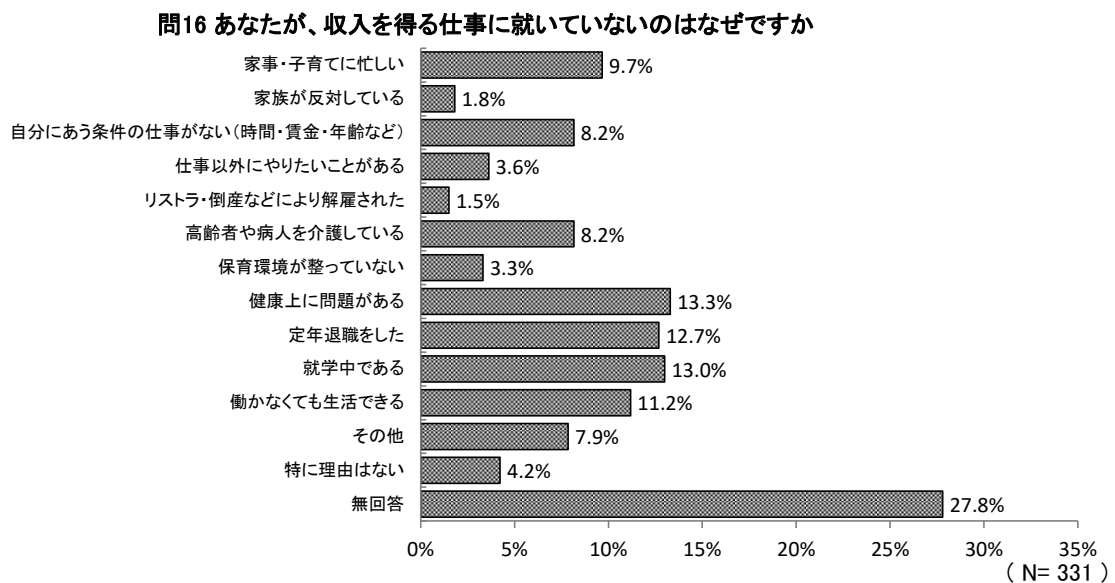
問 16 働いていない方にお尋ねします。

あなたが、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

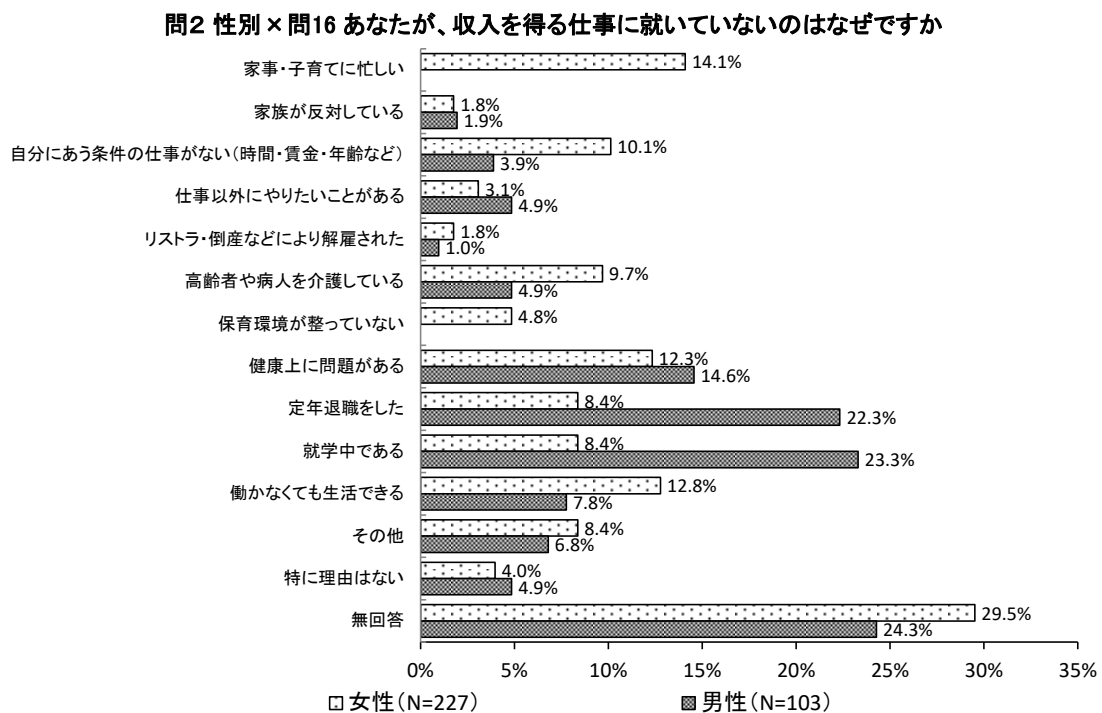
「健康上に問題がある」が 13.3%で最も高く、次いで「就学中である」13.0%、「定年退職をした」12.7%、「働かなくても生活できる」11.2%となっています。

性別では、女性は「家事・子育てに忙しい」が 14.1%で最も高いのに対し、男性は「就学中である」が 23.3%、「定年退職をした」が 22.3%でそれぞれ高い割合を占める一方、「家事・子育てに忙しい」、「保育環境が整っていない」と回答した人はいませんでした。

<全体>



<性別>

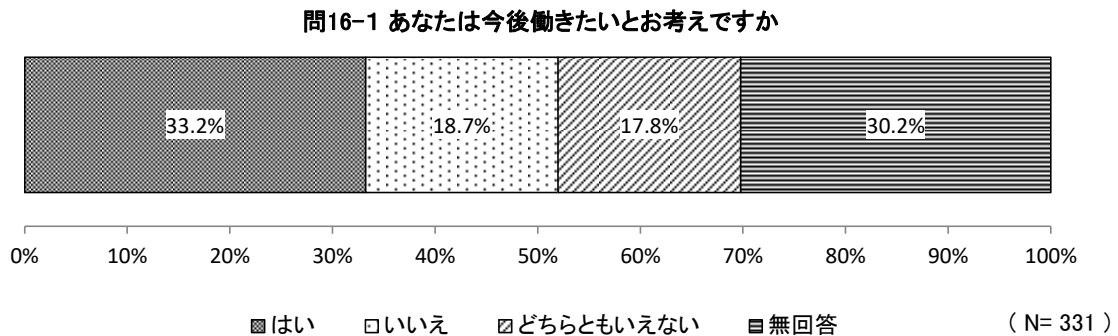


問 16-1 あなたは今後働きたいとお考えですか。(〇は 1 つ)

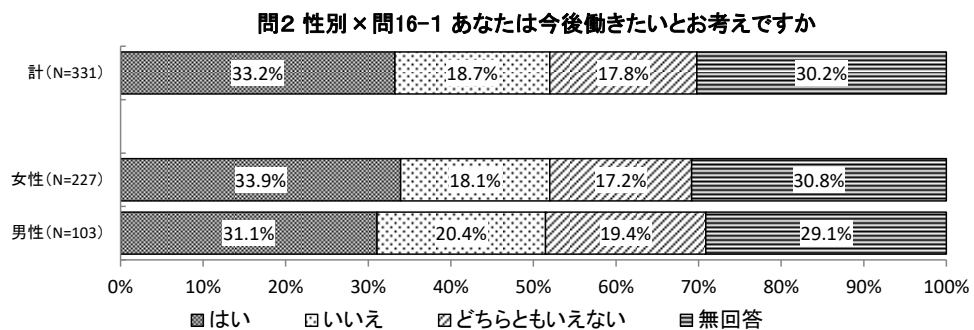
「はい」が33.2%で最も高く、次いで「いいえ」が18.7%、「どちらともいえない」が17.8%となっています。

性別では、「はい」は女性が33.9%、男性が31.1%で、女性が男性を上回っています。一方、「いいえ」は女性が18.1%であるのに対し、男性は20.4%で、男性が女性を上回っています。

<全体>



<性別>



問 17 配偶者（パートナー）が働いていない方にお尋ねします。

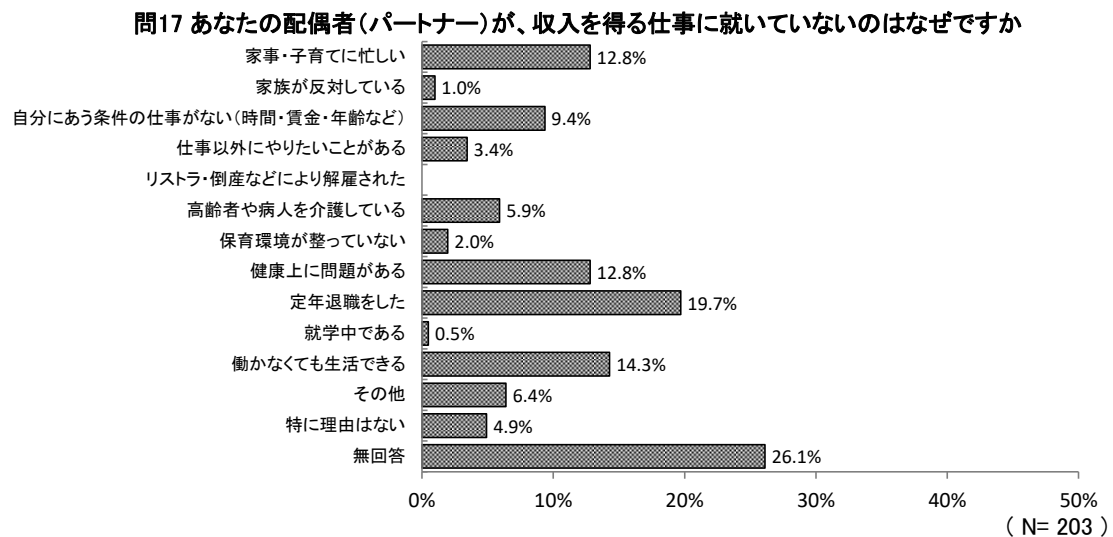
あなたの配偶者（パートナー）が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。
（〇はいくつでも）

「定年退職をした」が 19.7%で最も高く、次いで「働かなくても生活できる」が 14.3%となっています。

性別では、女性は「定年退職をした」と答えた割合が 42.1%で最も高いのに対し、男性は「家事・子育てに忙しい」が 20.5%で最も高く、次いで「働かなくても生活できる」が 18.9%、「健康上に問題がある」が 15.0%となっています。

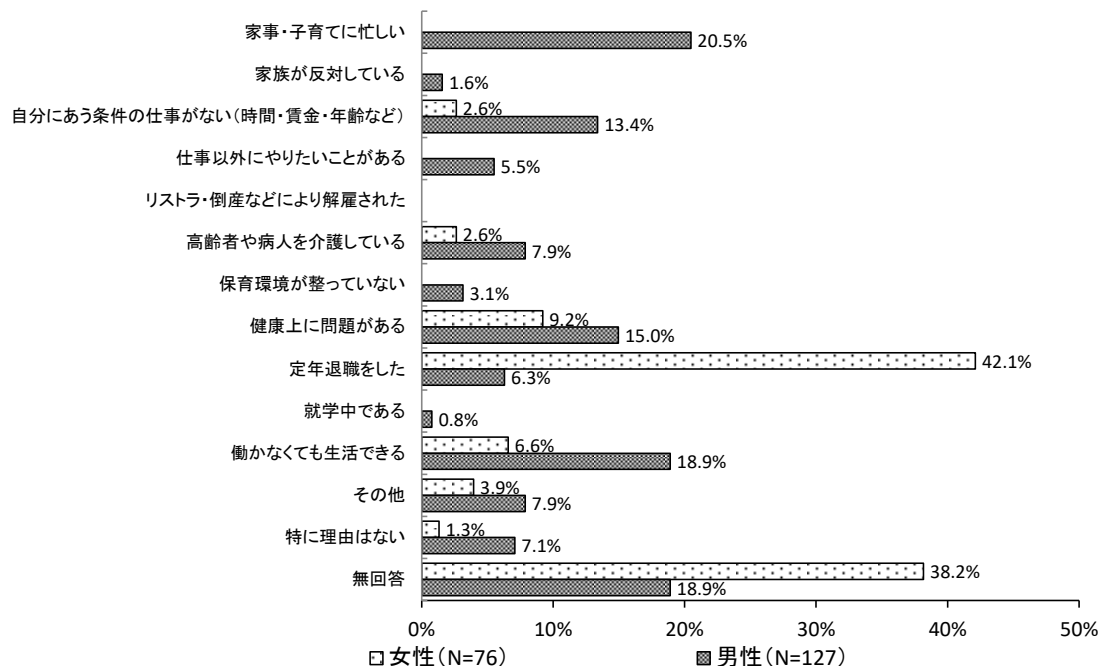
いずれの理由も性別で差異がありますが、特に、配偶者（パートナー）が「家事・子育てに忙しい」と回答した女性はいなかったのに対し、男性は 20.5%で性別により大きな差異があります。

<全体>



<性別>

問2 性別 × 問17 あなたの配偶者（パートナー）が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか

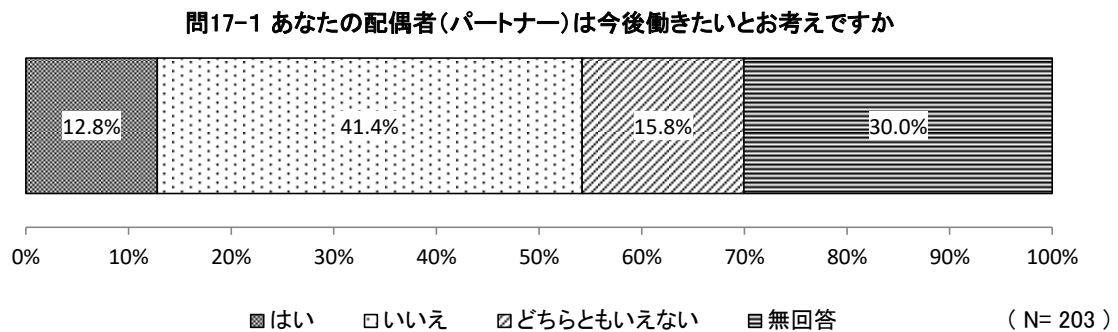


問 17-1 あなたの配偶者（パートナー）は今後働きたいとお考えですか。（〇は1つ）

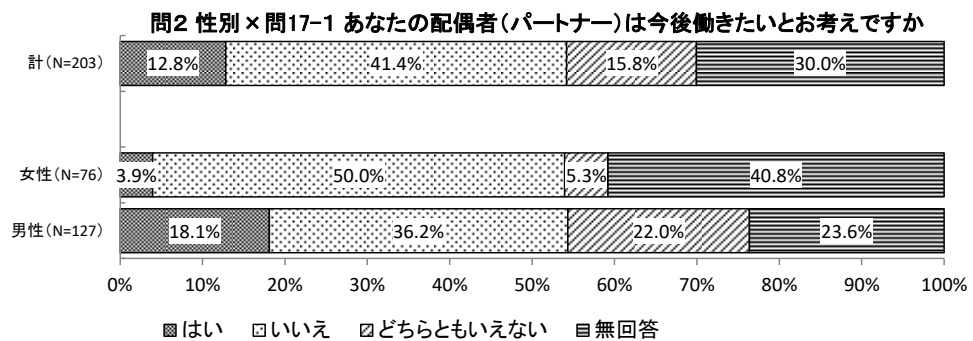
「いいえ」が41.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が15.8%、「はい」が12.8%となっています。

性別では、女性は「いいえ」が最も高く50.0%と半数を占めるのに対し、男性は「いいえ」が36.2%、次いで「どちらともいえない」が22.0%、「はい」が18.1%となっています。

<全体>



<性別>



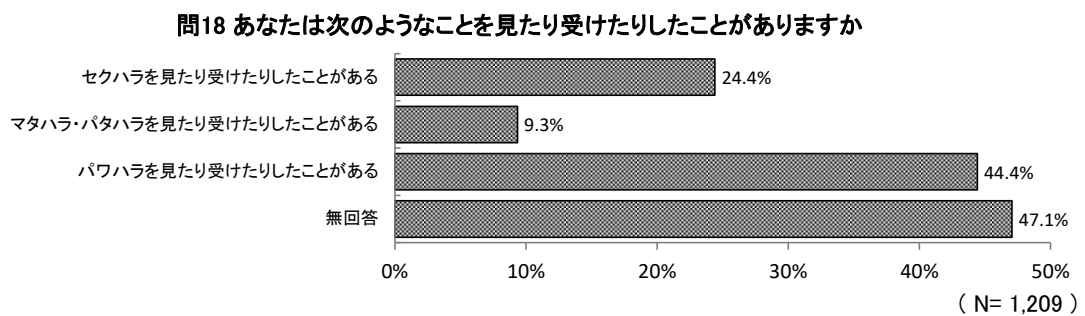
問 18 すべての方にお尋ねします。

あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

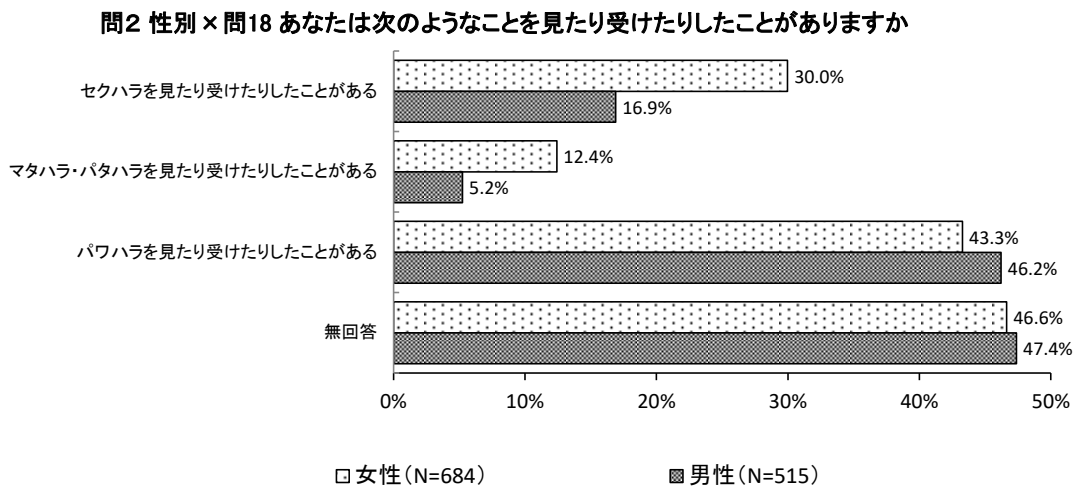
「パワハラを見たり受けたりしたことがある」が44.4%で最も高く、次いで「セクハラを見たり受けたりしたことがある」が24.4%、「マタハラ・パタハラを見たり受けたりしたことがある」が9.3%となっています。

性別では、「セクハラを見たり受けたりしたことがある」は女性が30.0%であるのに対し男性が16.9%と女性が男性を大きく上回り、「マタハラ・パタハラを見たり受けたりしたことがある」も女性が男性を上回っています。

<全体>



<性別>



問 19 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活動したりするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

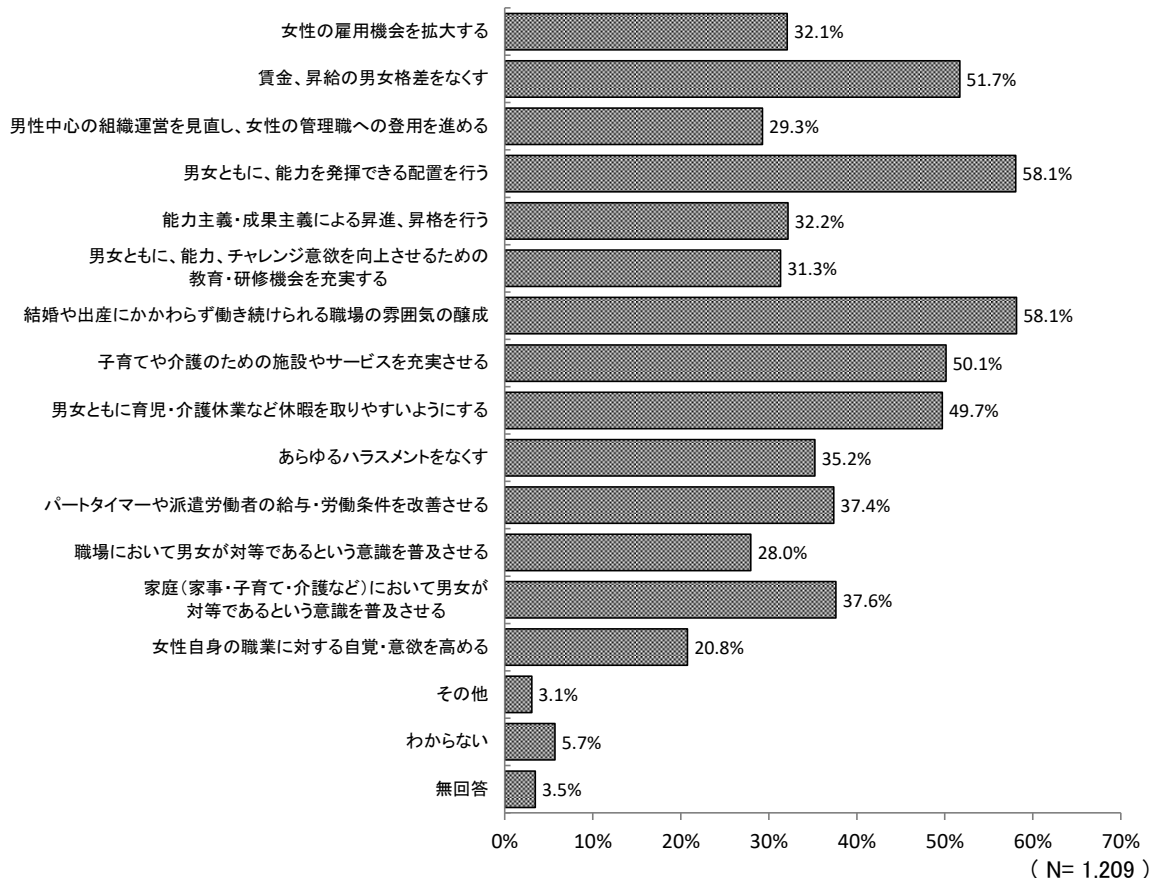
「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」と「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」がいずれも 58.1%で最も高く、次いで「賃金、昇給の男女格差をなくす」が 51.7%、「子育てや介護のための施設やサービスを充実させる」が 50.1%となっています。

性別では、「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」で女性 63.2%に対して男性 52.0%、「家庭（家事・子育て・介護など）において男女が対等であるという意識を普及させる」で女性 42.3%に対して男性 31.5%、「パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善させる」で女性 41.8%に対して男性 31.7%と、それぞれ女性が 10%以上男性を上回っています。

年代別では、10代は「男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする」が 60.7%で最も高いのに対し、20代、30代、40代は「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」がそれぞれ 65.0%、70.0%、59.8%で最も高く、60代、70代以上は「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」がそれぞれ 60.5%、47.4%で最も高くなっています。

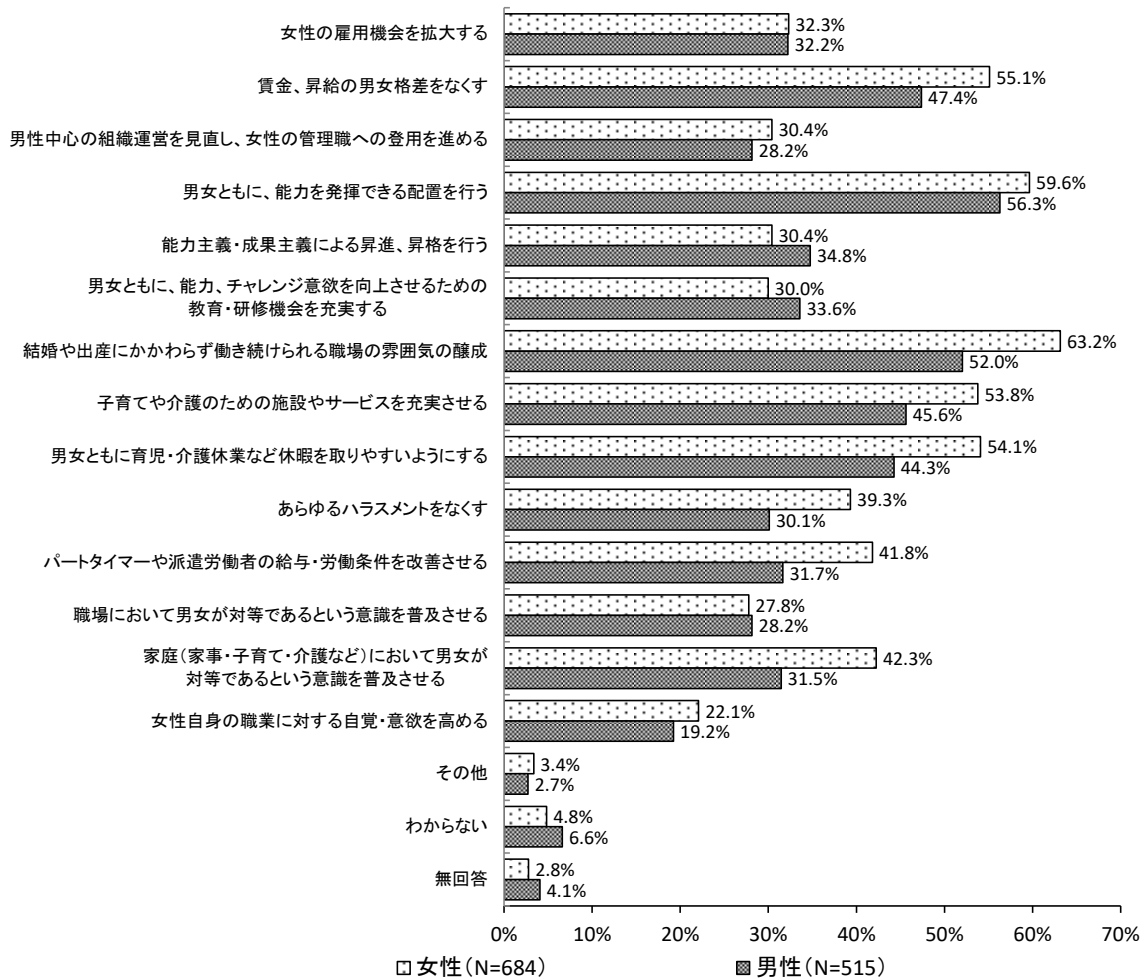
<全体>

問19 男女が対等に働き、社会で活動するためには、どのようなことが必要だと思いますか



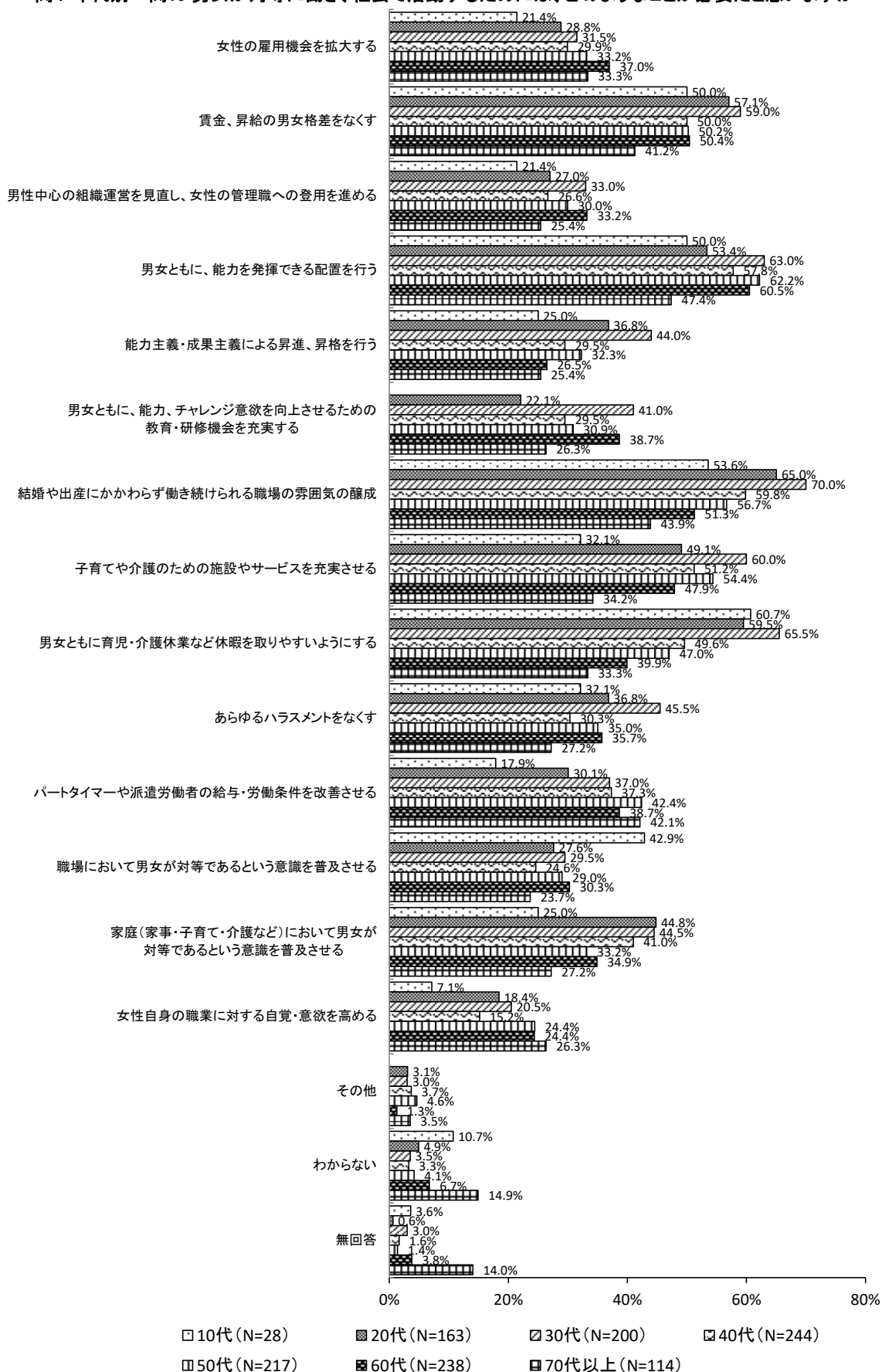
<性別>

問2 性別×問19 男女が対等に働き、社会で活動するためには、どのようなことが必要だと思いますか



<年代別>

問1 年代別×問19 男女が対等に働き、社会で活動するためには、どのようなことが必要だと思いますか



F 仕事と生活の調和について

問 20 あなたは、生活の中で仕事と個人の生活（家庭、地域活動など）でどちらを優先しますか。
 （１）あなたの希望と（２）現実（現状）に最も近いものをそれぞれお答えください。
 （それぞれについて〇は１つ）

（１）希望（〇は１つ）

「仕事と個人の生活をともに優先したい」が 48.8%で最も高く、次いで「個人の生活を優先したい」が 36.6%となっています。

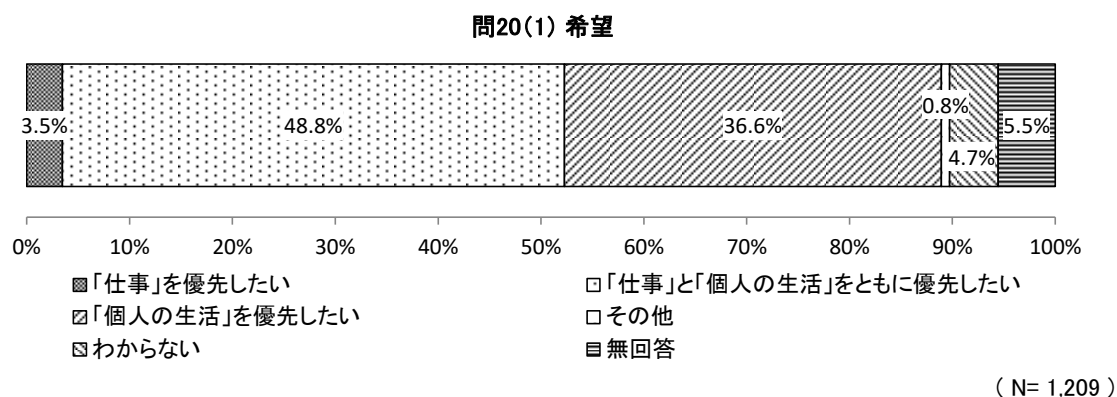
性別では、いずれも「仕事と個人の生活をともに優先したい」が最も高いものの、その割合は男性が女性を上回り、「個人の生活を優先したい」は、女性が男性を上回っています。

年代別では、「仕事を優先したい」が全ての年代で 1 割以下となっており、10 代では「仕事を優先したい」と回答した人はいませんでした。

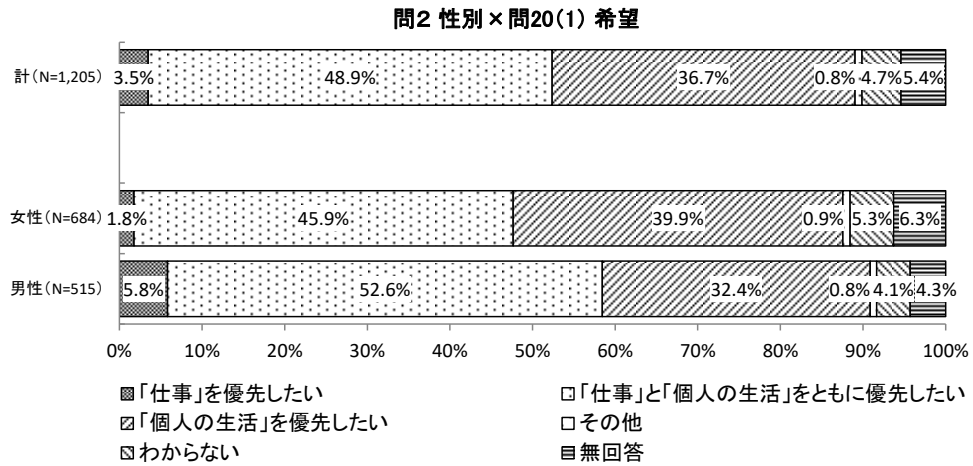
配偶関係では、「仕事と個人の生活をともに優先したい」については大きな差異はありませんが、「個人の生活を優先したい」については、未婚の方が最も高く 41.2%であるのに対し、既婚の方は 35.9%、離別又は死別している方は 29.3%となっています。

勤務地別では、大阪府外の方は「仕事を優先したい」が 8.7%で、ほかと比べてやや高くなっています。

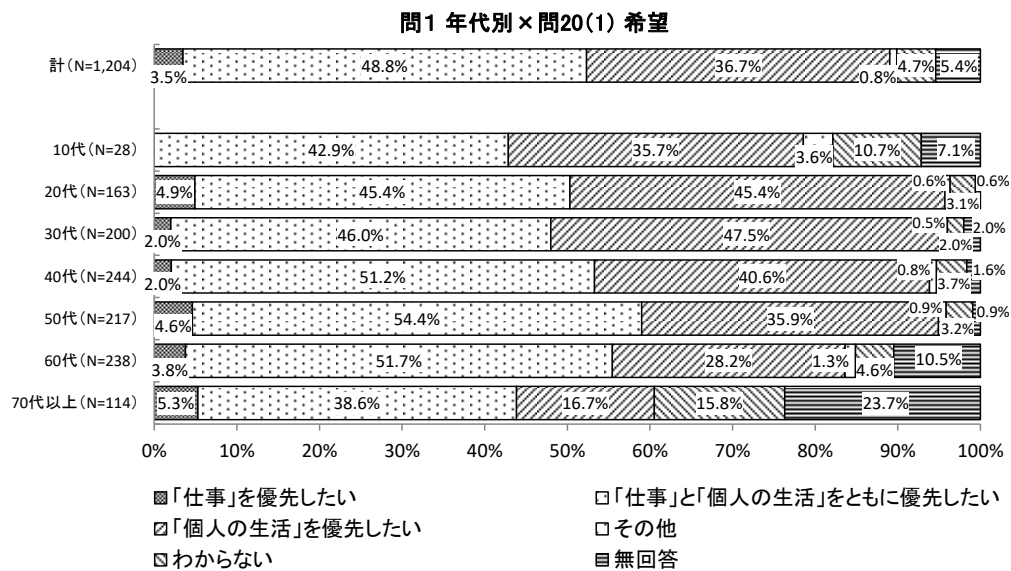
<全体>



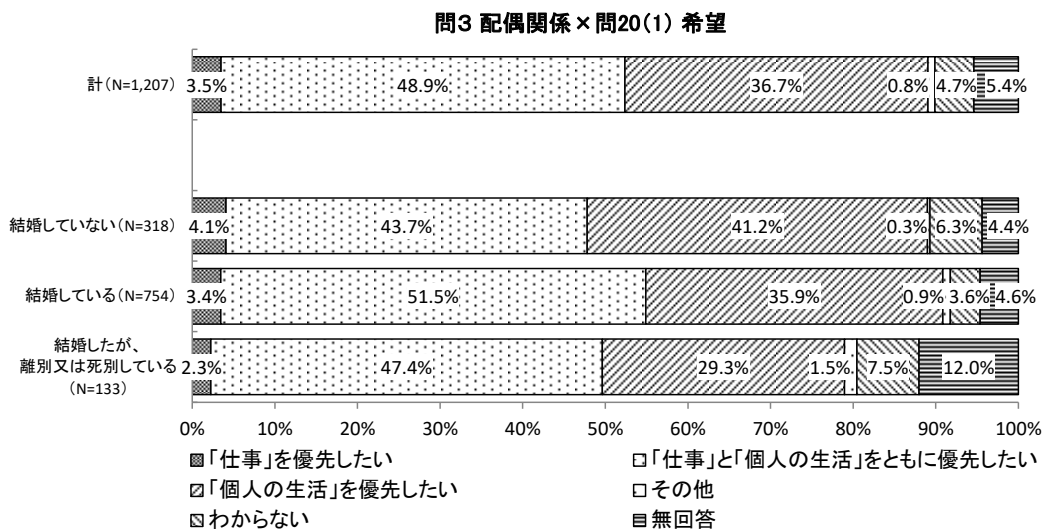
<性別>



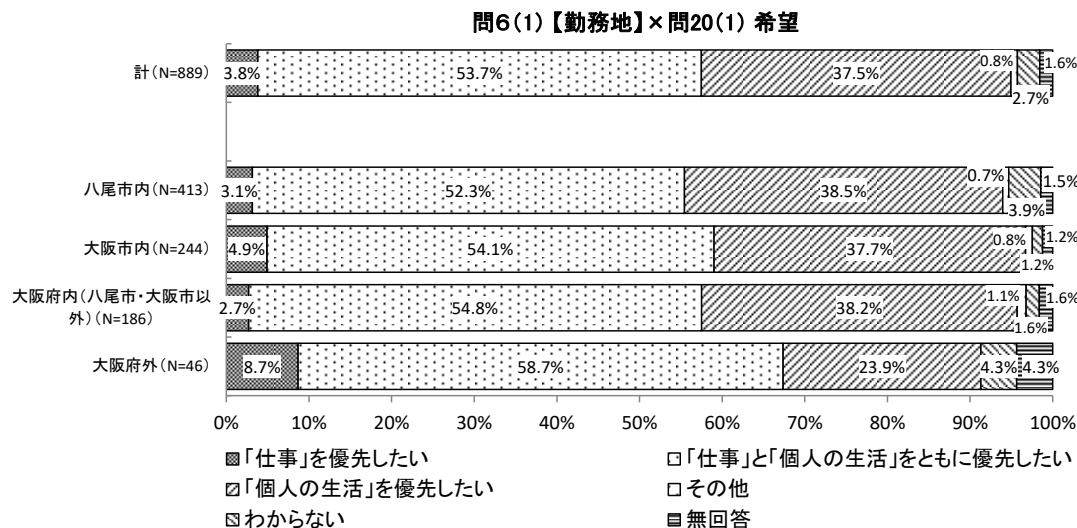
<年代別>



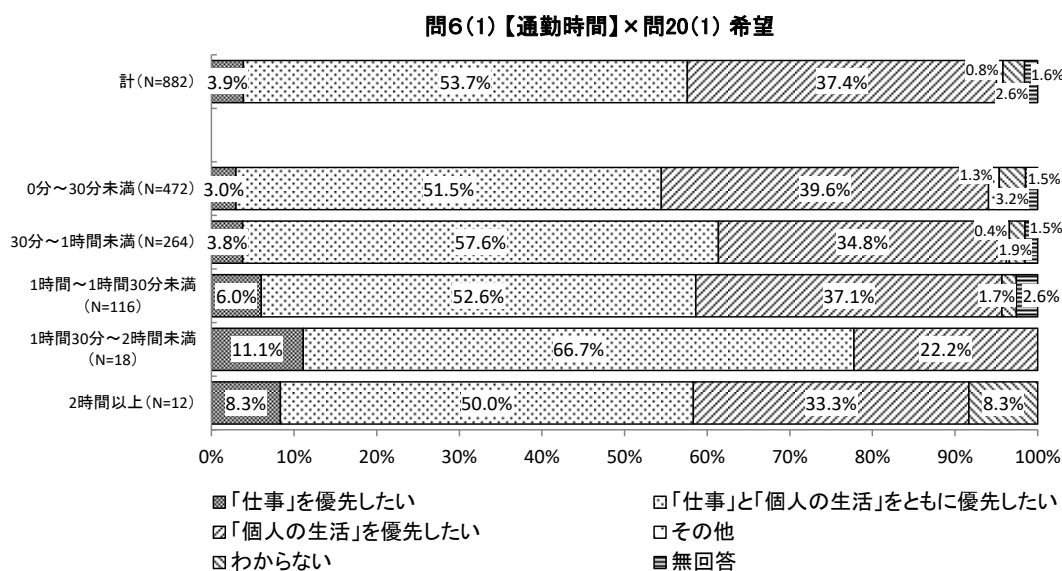
<配偶関係>



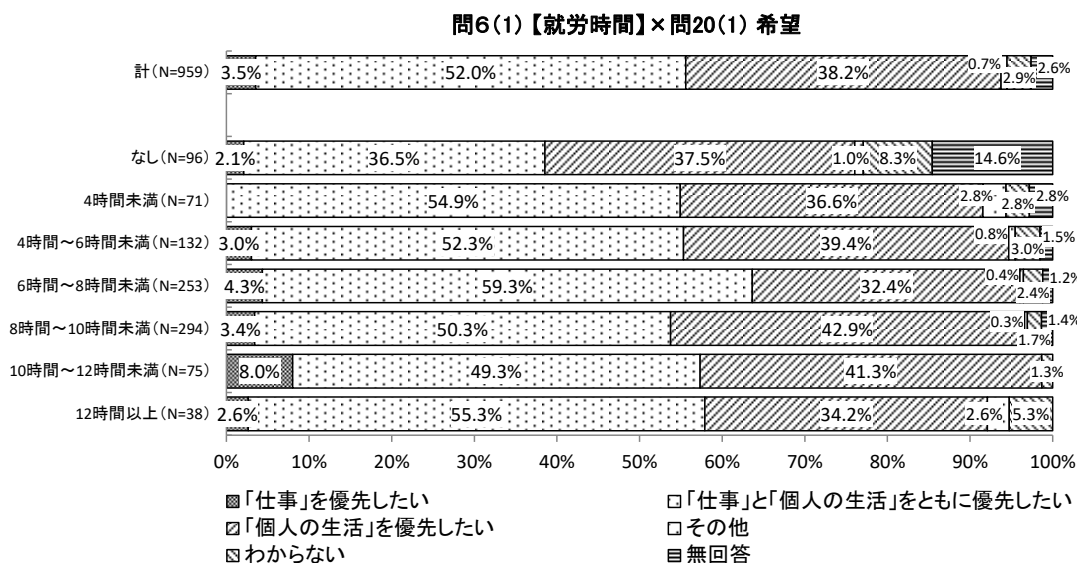
<勤務地>



<通勤時間>



<就労時間>



(2) 現実（現状）（○は1つ）

「仕事を優先している」が32.8%で最も高く、次いで「仕事と個人の生活をともに優先している」が25.7%となっています。

性別では、女性は「仕事と個人の生活をともに優先している」が27.6%、「個人の生活を優先している」が27.0%でほぼ同率であるのに対し、男性は「仕事を優先している」が最も高く43.5%となっています。

年代別では、特に40代は「仕事を優先している」が42.2%で最も高くなっています。

配偶関係では、いずれも「仕事を優先している」が最も高く、「個人の生活を優先している」は既婚の方の割合が高くなっています。

勤務地別では、大阪府内（八尾市・大阪市以外）の方は「仕事を優先している」が51.6%で最も高くなっています。一方、「仕事と個人の生活をともに優先している」は八尾市内の方が最も高く35.8%となっています。

通勤時間別では、通勤時間が1時間30分～2時間未満の方は「仕事を優先している」が66.7%で最も高くなっています。一方、通勤時間が2時間以上の方は、「仕事を優先している」と「仕事と個人の生活をともに優先している」がいずれも33.3%となっています。

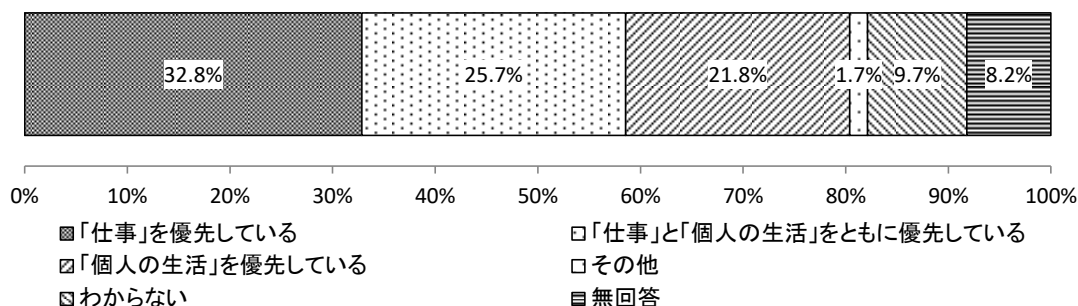
就労時間別では、就労時間が10時間～12時間未満の方は「仕事を優先している」が70.7%で最も高くなっています。

希望と現実（現状）の比較

希望では、「仕事を優先したい」は3.5%であるのに対して、現実（現状）では、32.8%と、希望と現実（現状）に大きなギャップが生じています。同じく、「仕事と個人の生活をともに優先したい」、「個人の生活を優先したい」についても、現実（現状）は希望よりも低い割合に留まっており、希望と現実（現状）にギャップが生じています。

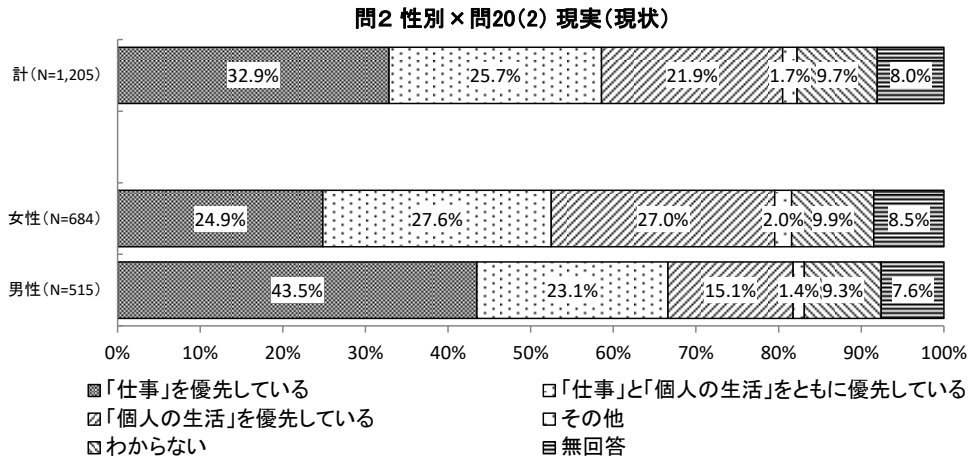
<全体>

問20(2) 現実(現状)

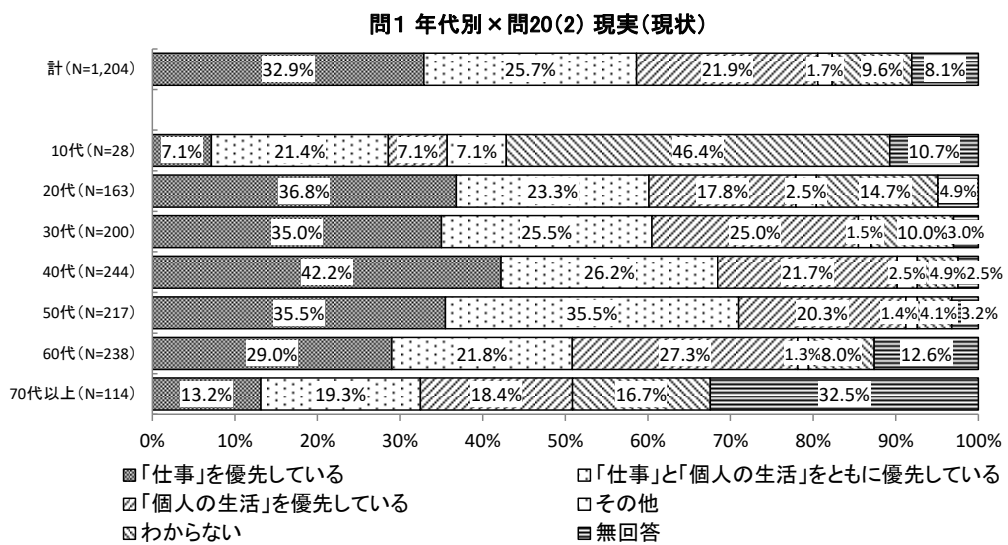


(N= 1,209)

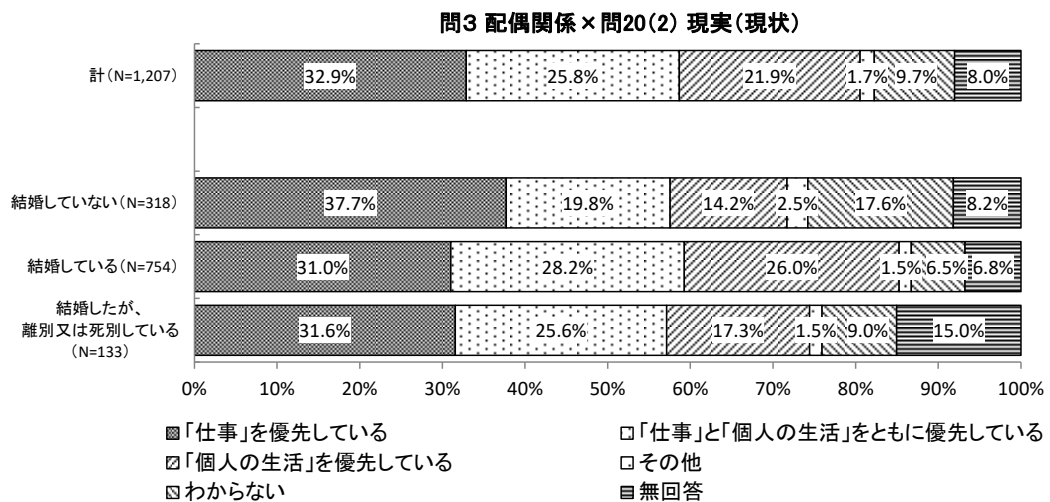
<性別>



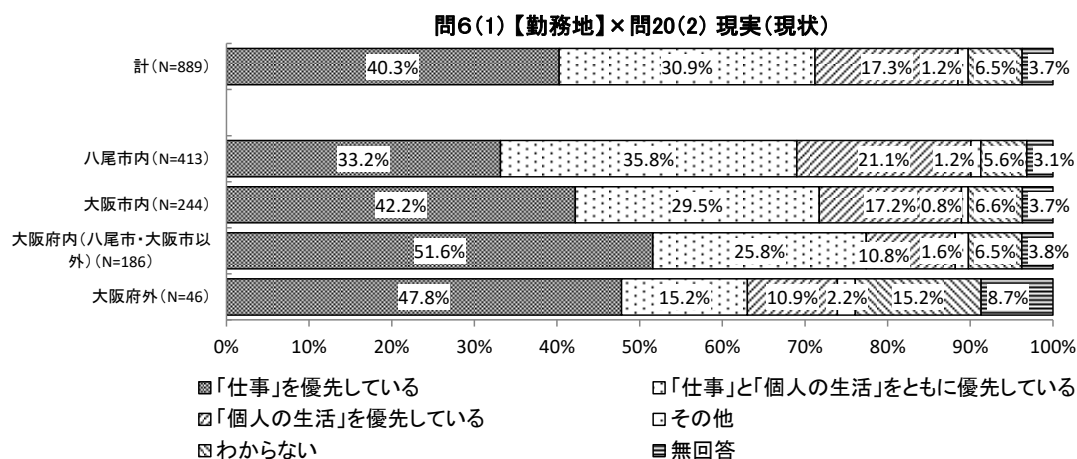
<年代別>



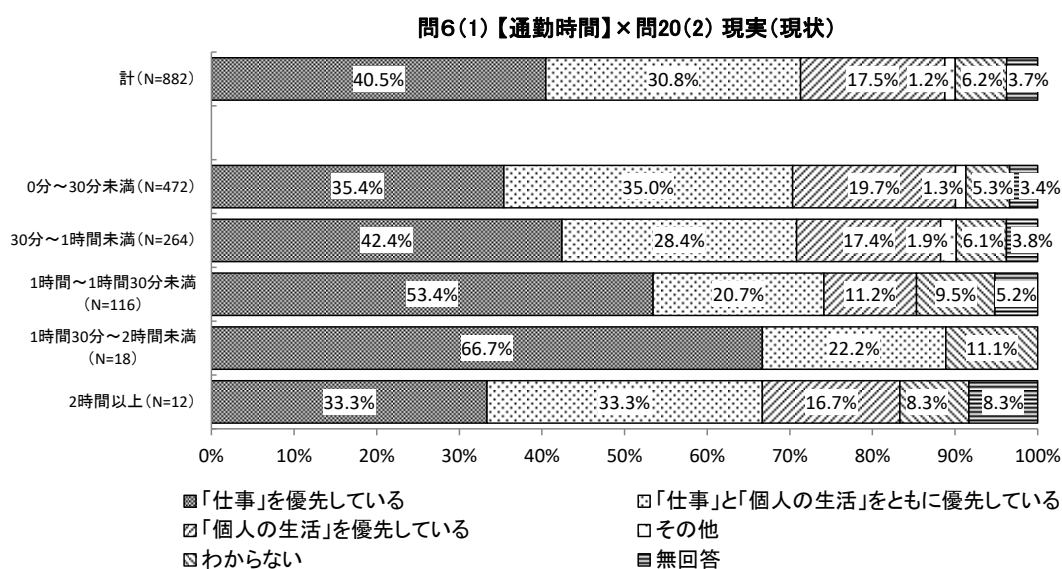
<配偶関係>



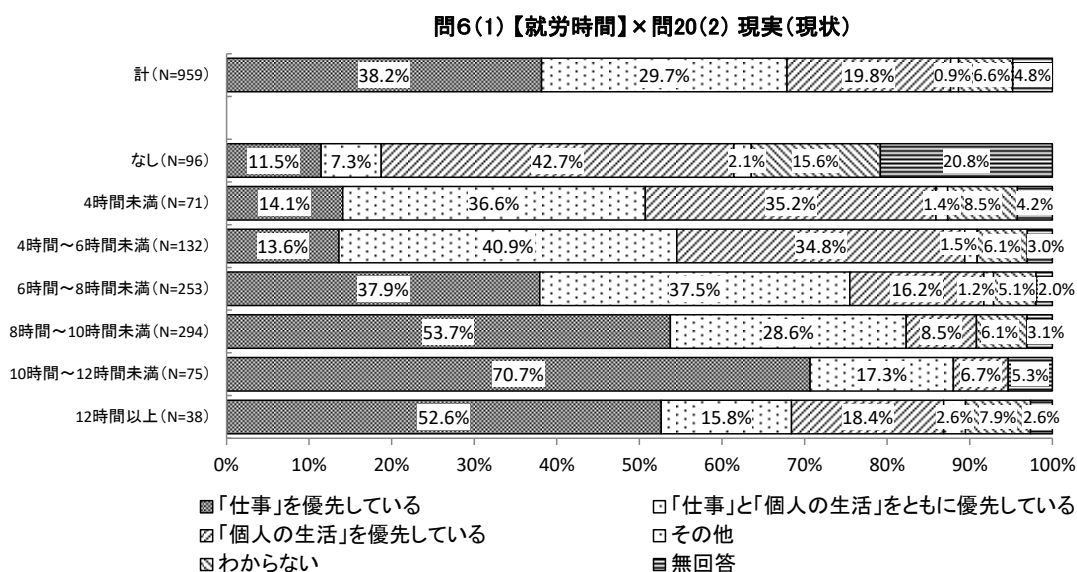
<勤務地>



<通勤時間>



<就労時間>



問 21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」が46.2%で最も高いものの、大きな差異はありません。

性別では、「小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること」は女性が48.2%であるのに対し男性は32.4%、また「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」は女性が50.7%であるのに対し男性は40.6%で、それぞれ女性が男性を上回っています。一方で、「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」は女性が35.7%であるのに対し、男性が38.6%、「特に必要ない」は女性が3.4%であるのに対し、男性が4.7%で、それぞれ男性が女性を上回っています。

年代別では、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」が、年代を問わず比較的高くなっていますが、20代は「家族の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」、30代は「小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること」が最も高くなっています。

配偶関係では、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」で既婚の方、離別又は死別している方がそれぞれ48.0%、46.6%、「小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること」では離婚又は死別している方が47.4%となっています。

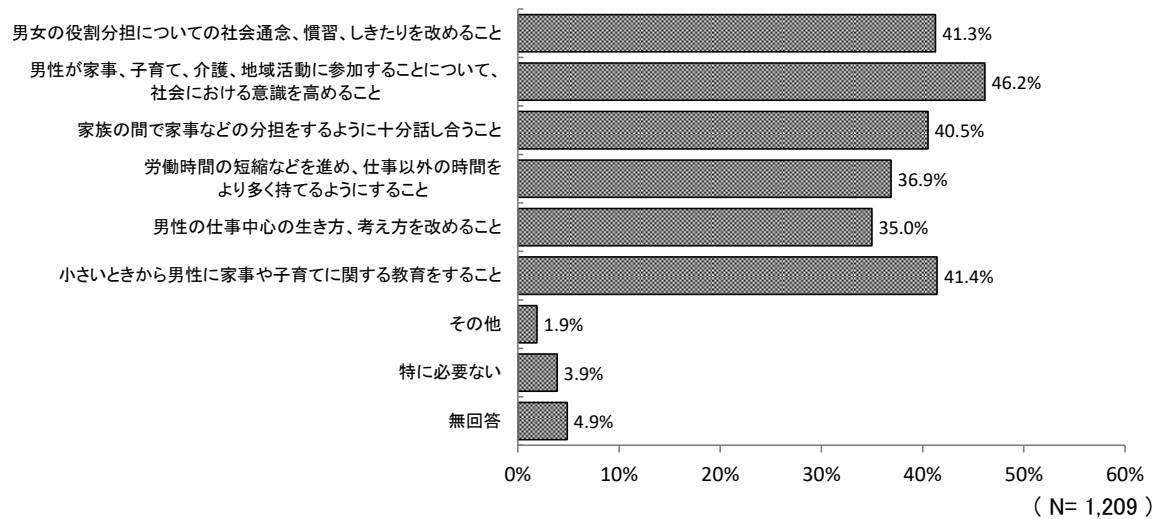
勤務地別では、「家族の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」で、勤務地が大阪府外の方が他に比べて10%以上高くなっています。

通勤時間別では、「家族の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」で、通勤時間が2時間以上の方が58.3%で最も高くなっています。

就労時間別では、「家族の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」で就労時間がない方、4時間未満の方はそれぞれ51.0%、50.7%で最も高いのに対し、就労時間が4時間～12時間の方は「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」が最も高く、就労時間が12時間以上の方は「小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること」が63.2%で最も高くなっています。なお、就労時間が6時間～8時間の方は「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」も同率で最も高くなっています。

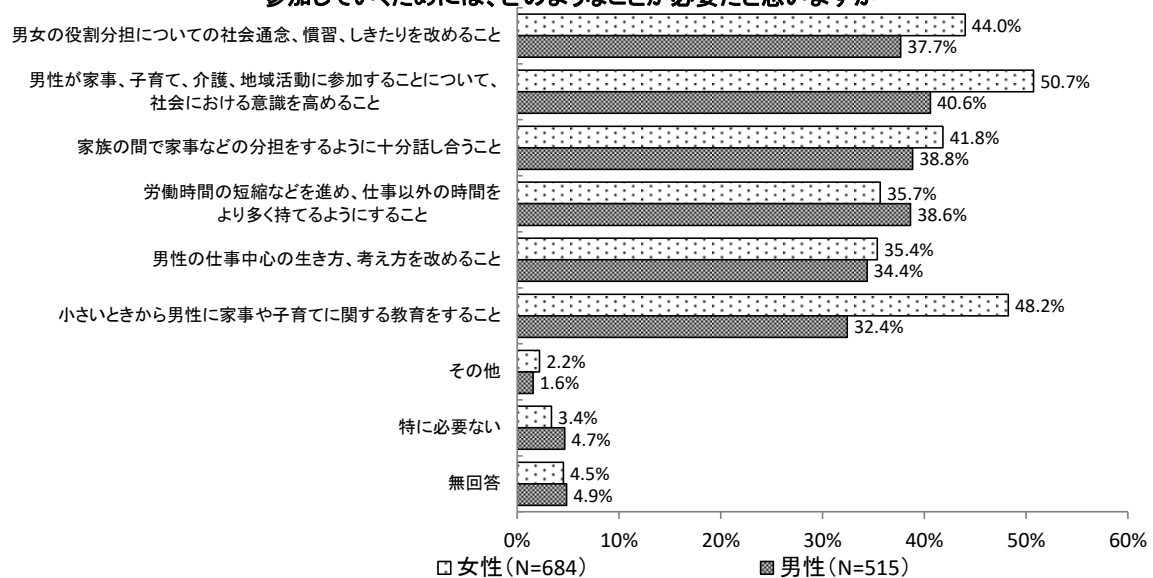
<全体>

問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、
どのようなことが必要だと思いますか



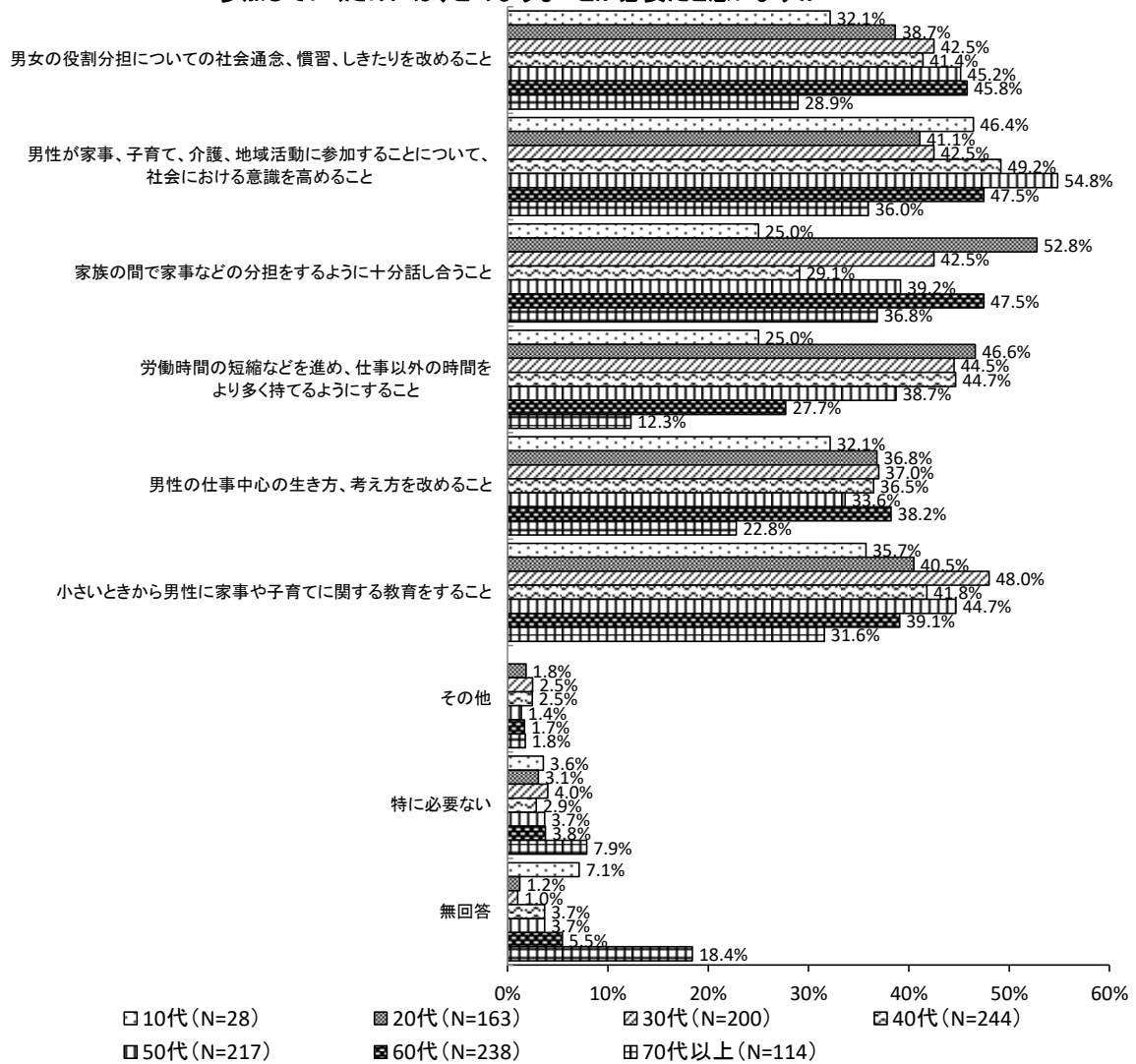
<性別>

問2 性別×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に
参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



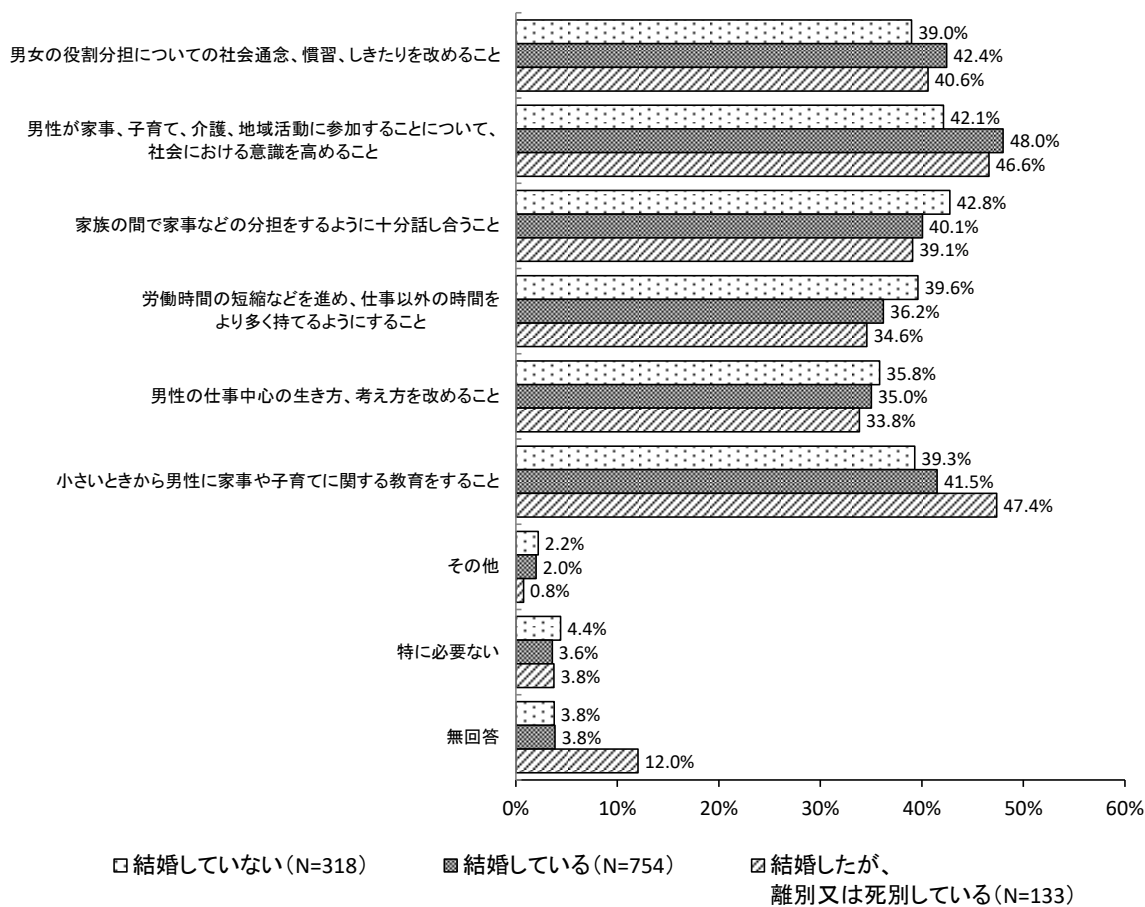
<年代別>

問1 年代別×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



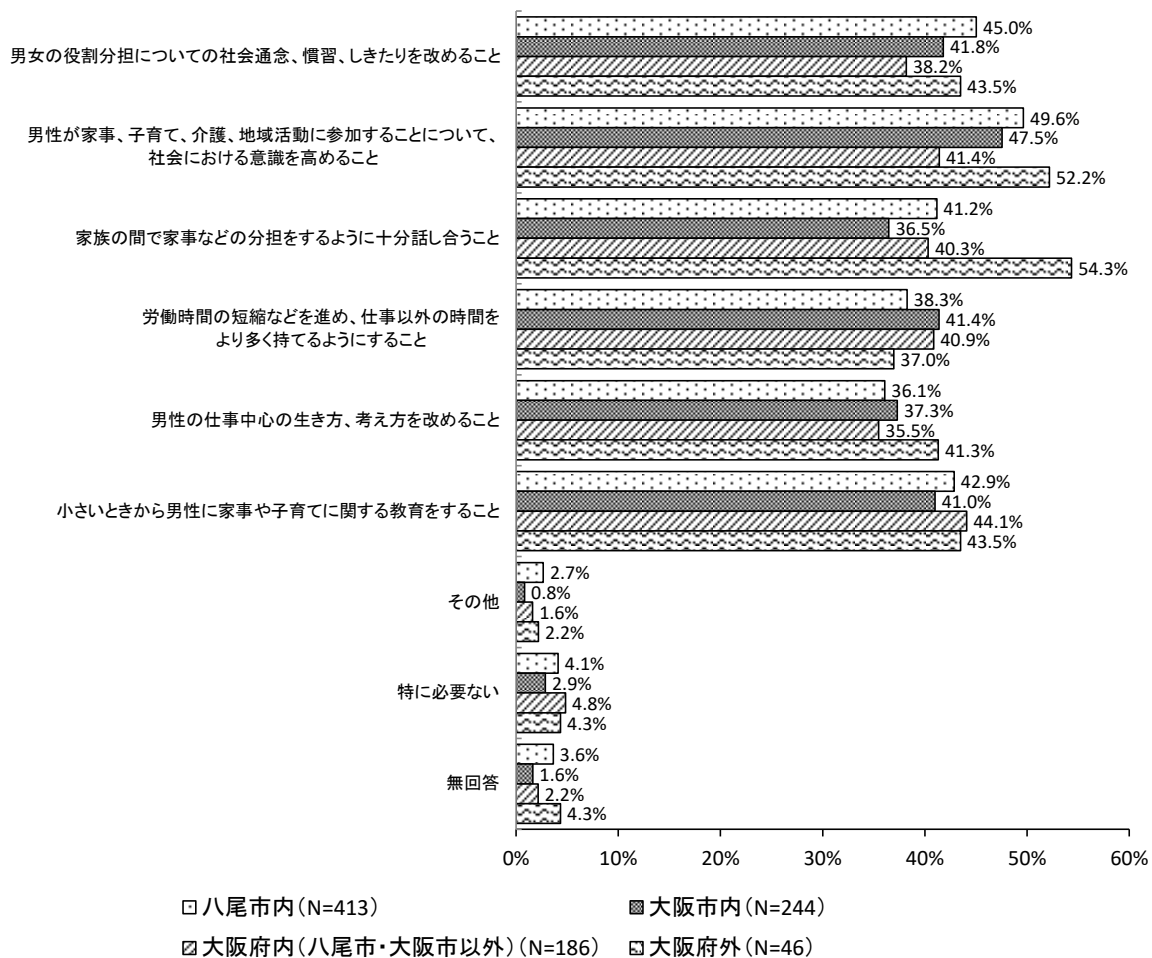
<配偶関係>

問3 配偶関係×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



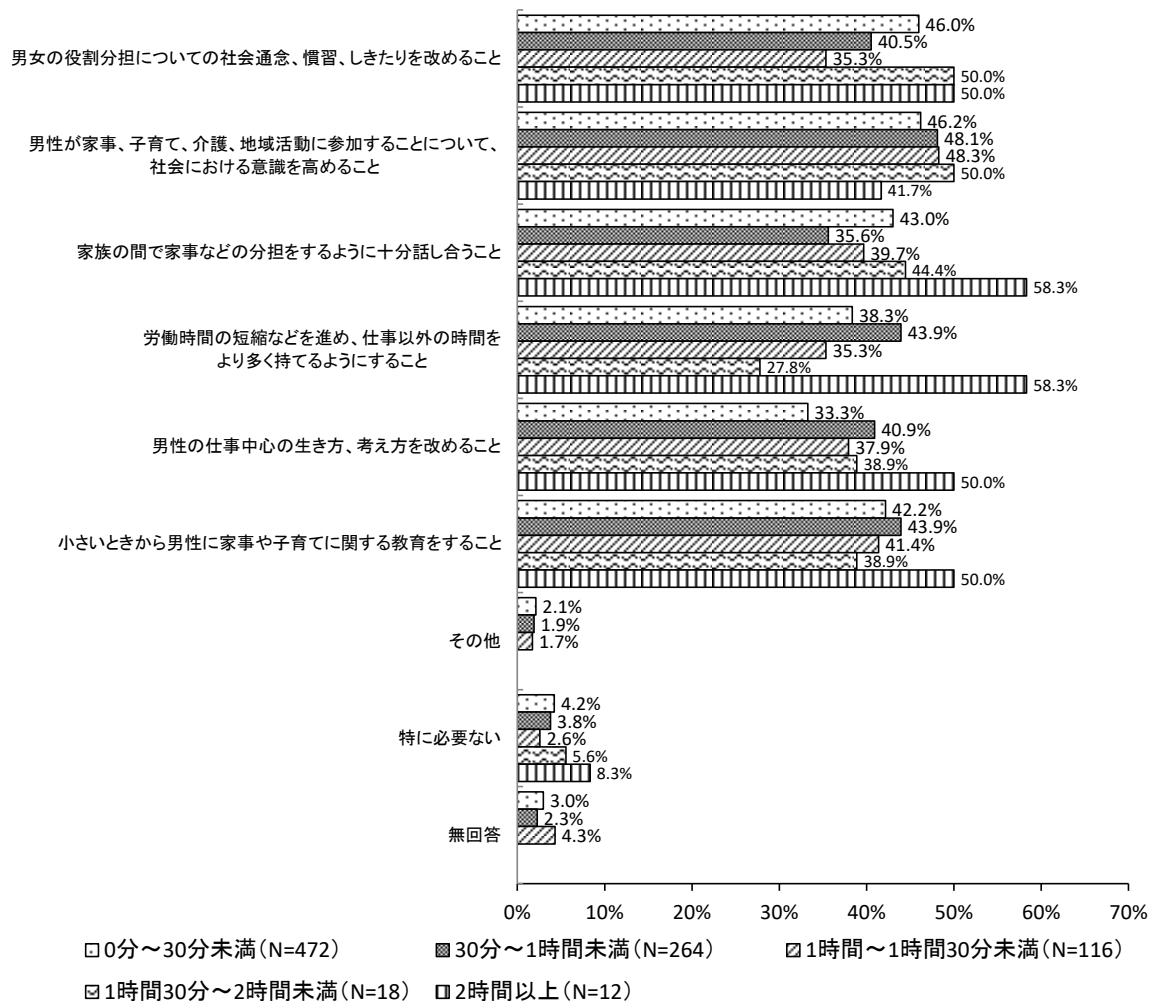
<勤務地>

問6(1)【勤務地】×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



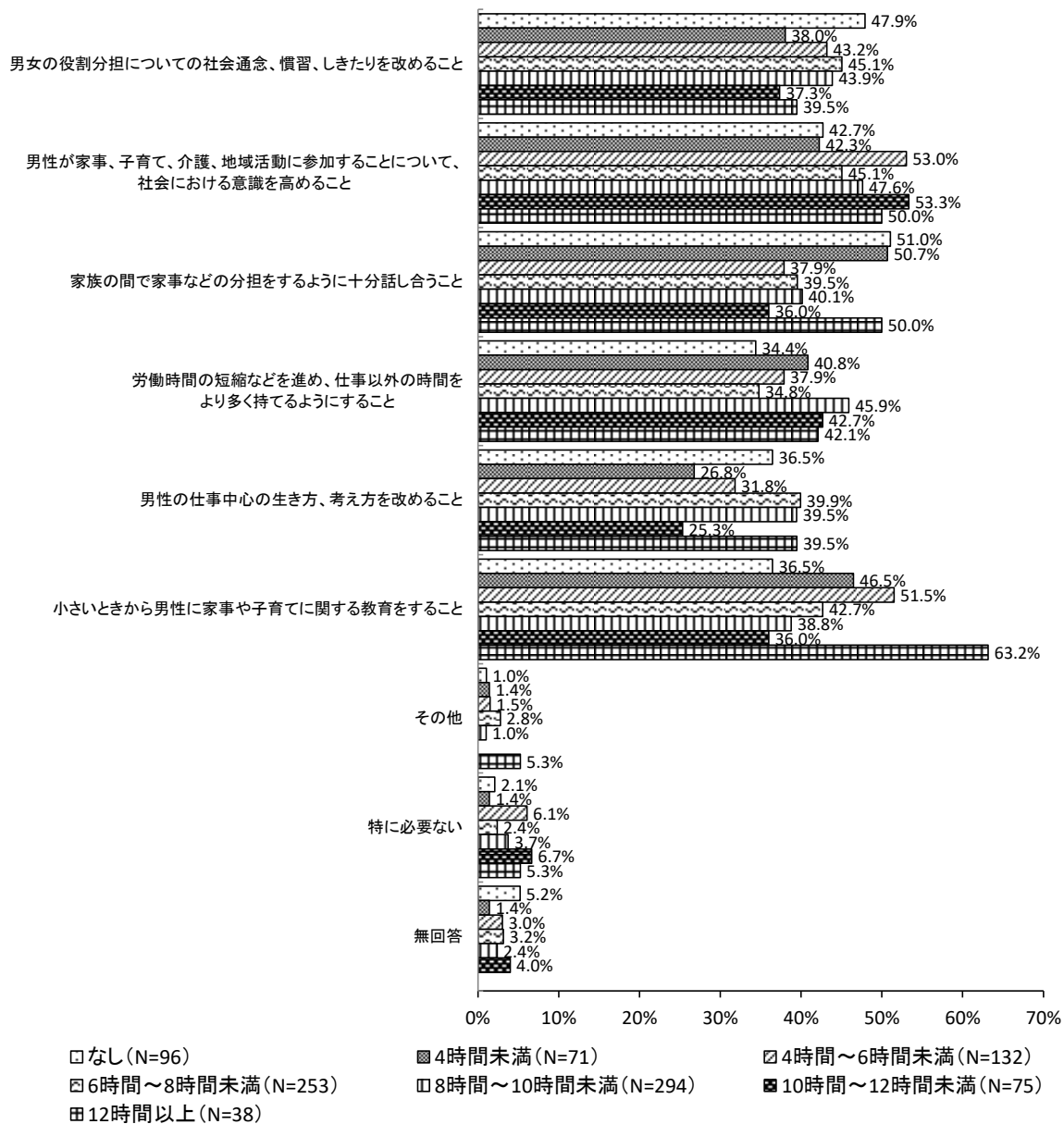
<通勤時間>

問6(1)【通勤時間】×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



<就労時間>

問6(1)【就労時間】×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



G あらゆる暴力について

問 22 あなたは、配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）から、次のようなことを「されたこと」「したこと」がありますか。以下の「されたこと」と「したこと」の両方にお答えください。（それぞれについて〇はいくつでも）

（1）あなたがされたこと

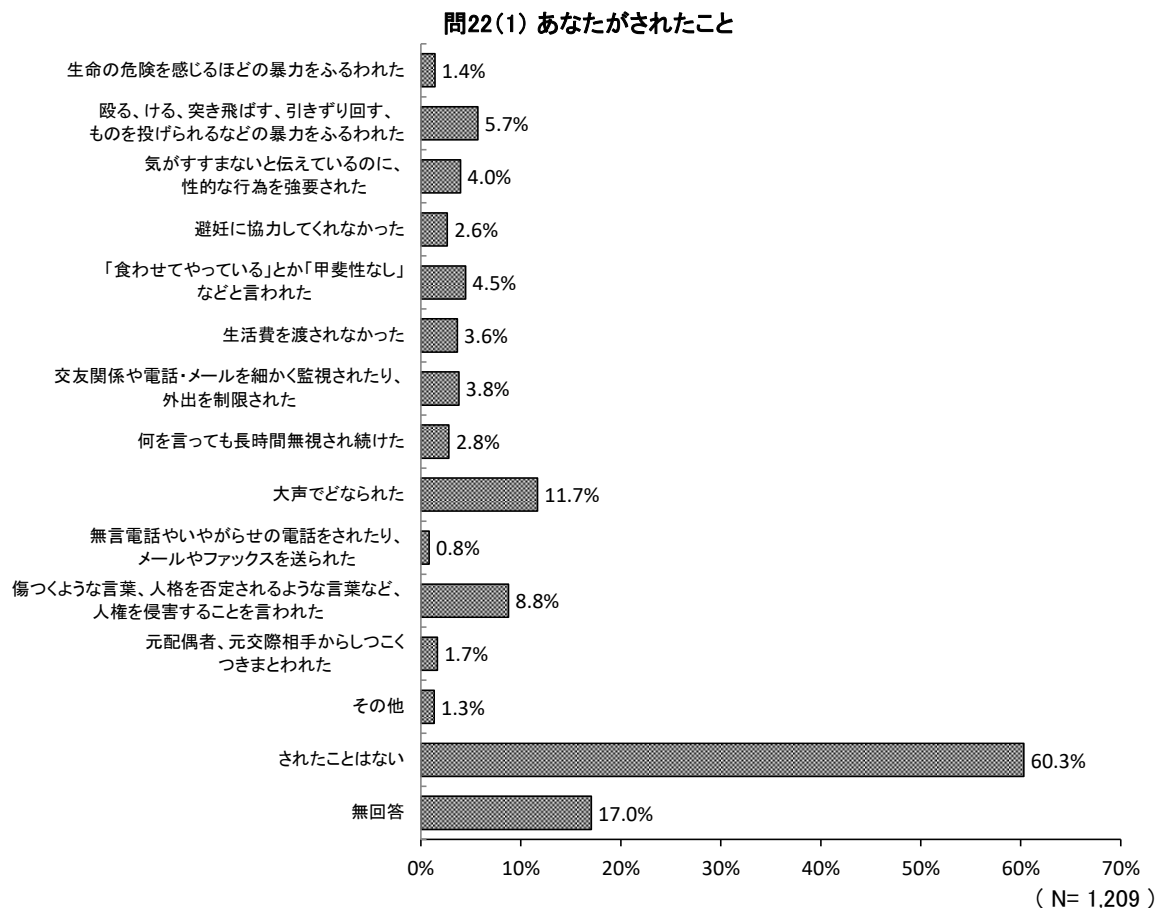
「されたことはない」が最も高く、60.3%となっています。

「されたこと」では、「大声でどなられた」が最も高く 11.7%、次いで「傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた」が 8.8%となっています。

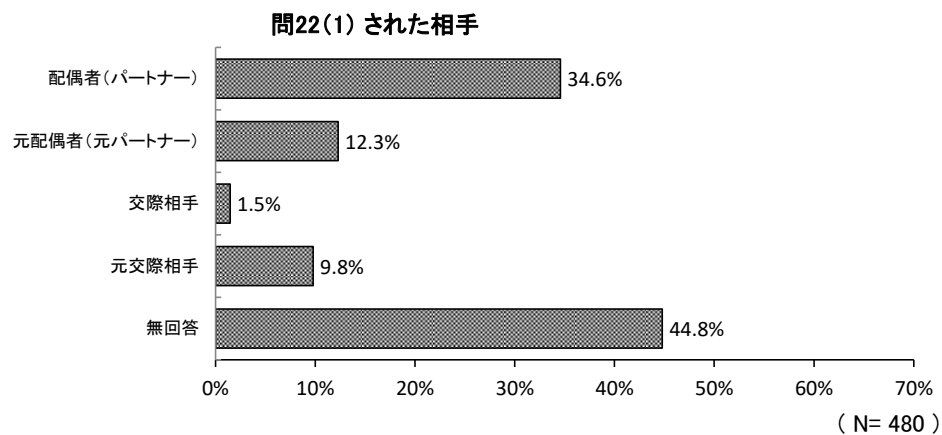
された相手では、「配偶者（パートナー）」が最も高く 34.6%、次いで「元配偶者（元パートナー）」が 12.3%、「元交際相手」が 9.8%となっています。

性別では、「されたこと」の全てで女性が男性を上回っています。

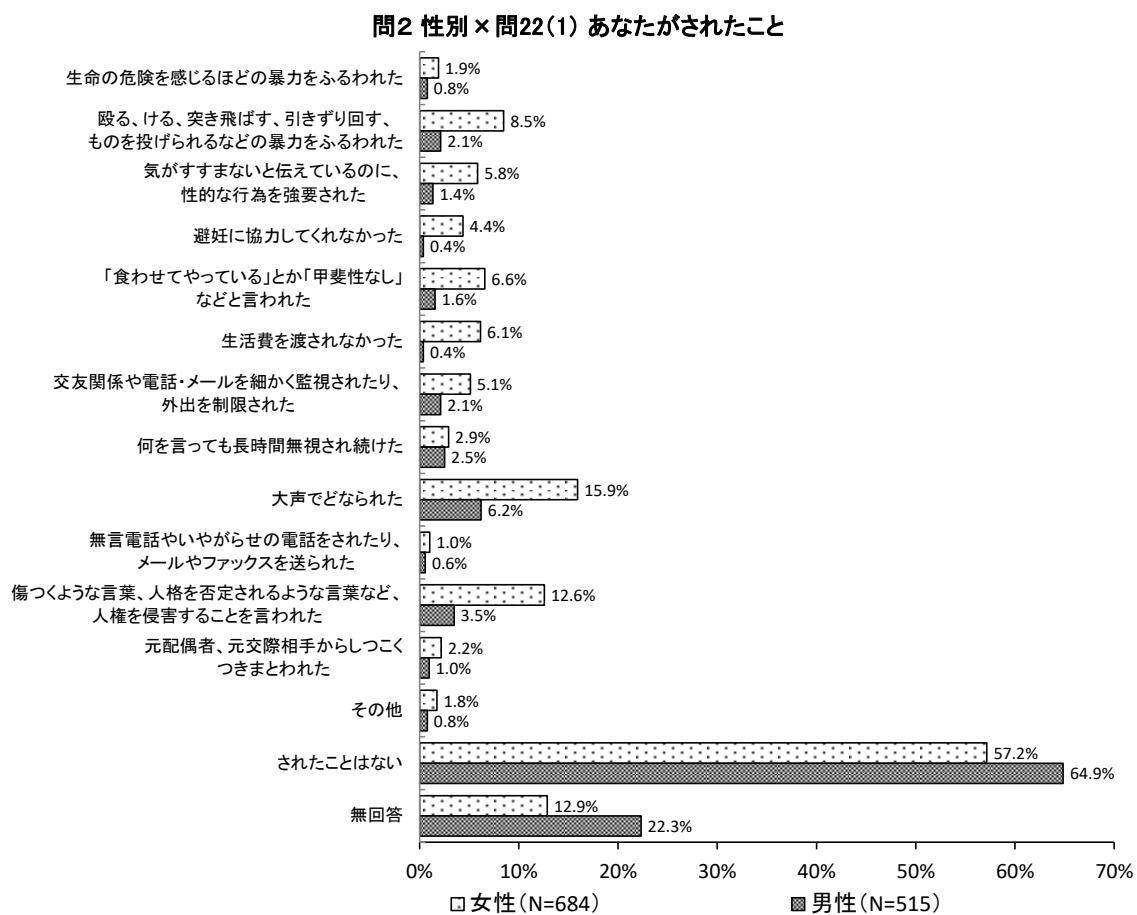
＜全体＞



(された相手)



<性別>



(2) あなたがしたこと

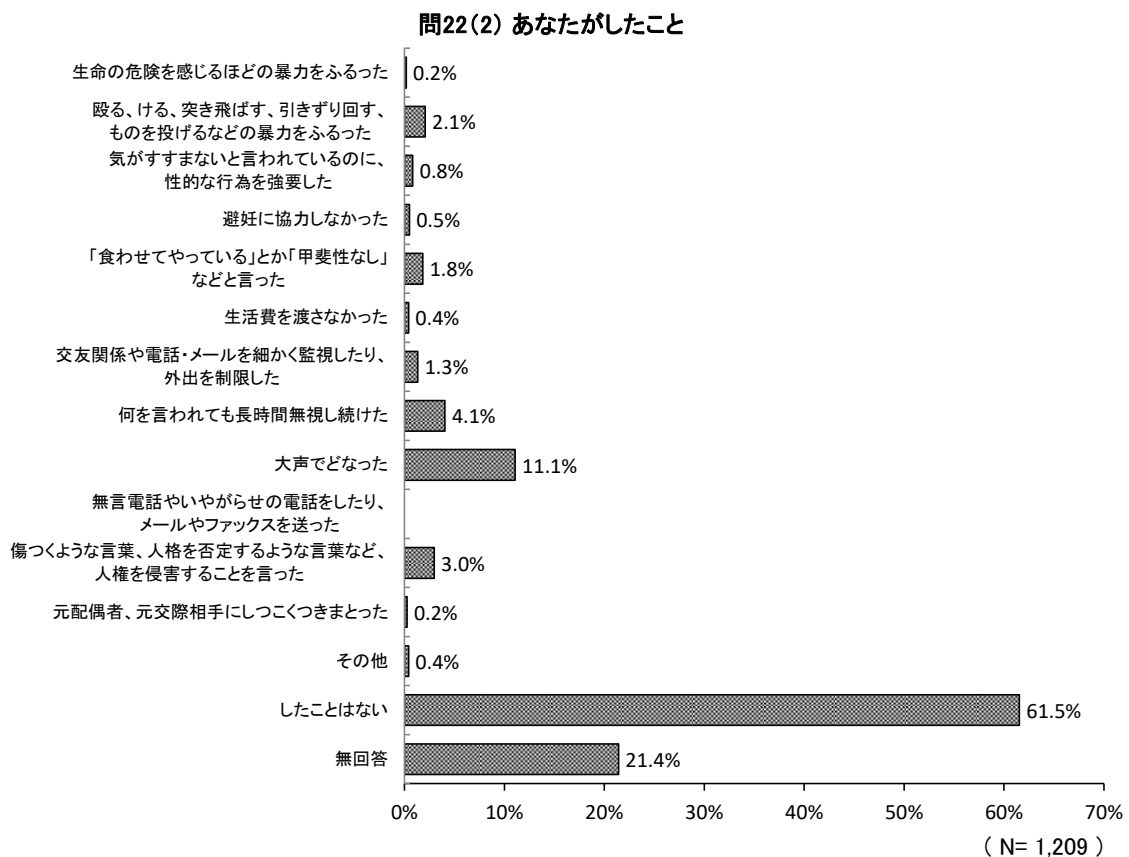
「したことはない」が最も高く、61.5%となっています。

「したこと」では、「大声でどなった」が最も高く 11.1%、次いで「何を言われても長時間無視し続けた」以下、いずれも 5%未満となっています。

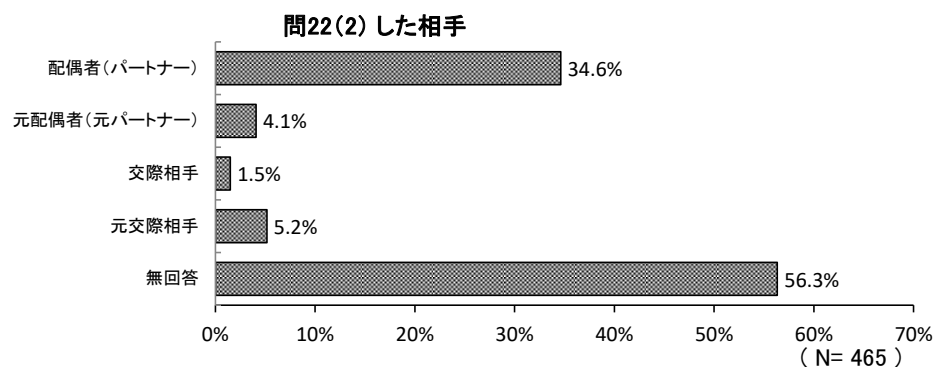
した相手では、「配偶者（パートナー）」が最も高く 34.6%、次いで「元交際相手」が 5.2%、「元配偶者（元パートナー）」が 4.1%となっています。

性別では、「大声でどなった」で男性 15.0%に対して女性 8.2%と、男性が女性を大きく上回っています。

<全体>

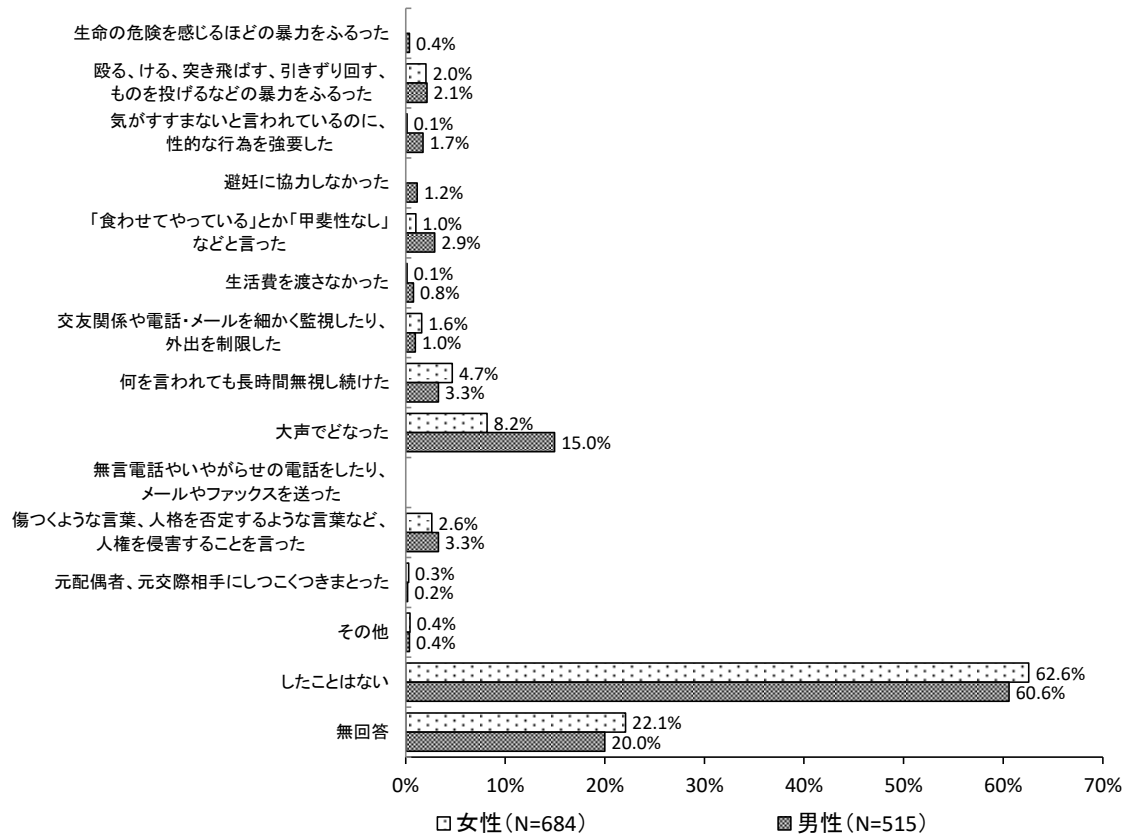


(した相手)



<性別>

問2 性別 × 問22(2) あなたがしたこと



問 23 問 22 の（１）の行為を受けられた方にお尋ねします。

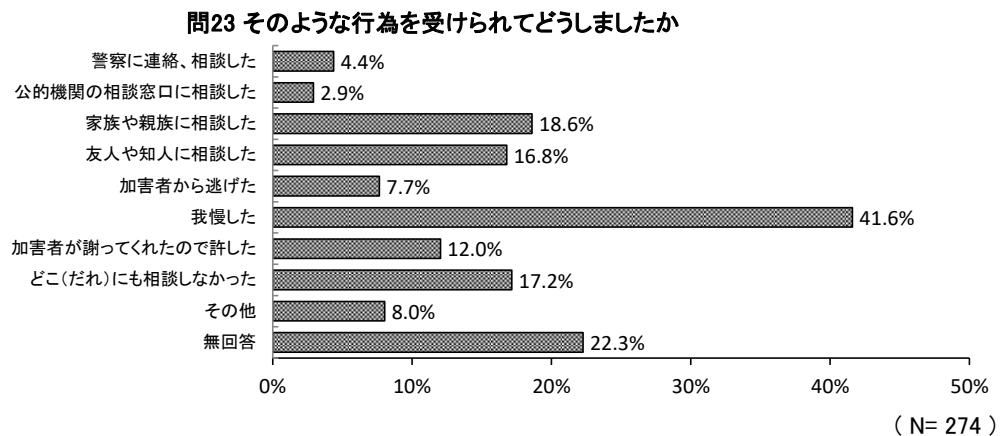
そのような行為を受けられてどうしましたか。（〇はいくつでも）

「我慢した」が 41.6%で最も高く、次いで「家族や親族に相談した」が 18.6%、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が 17.2%となっています。

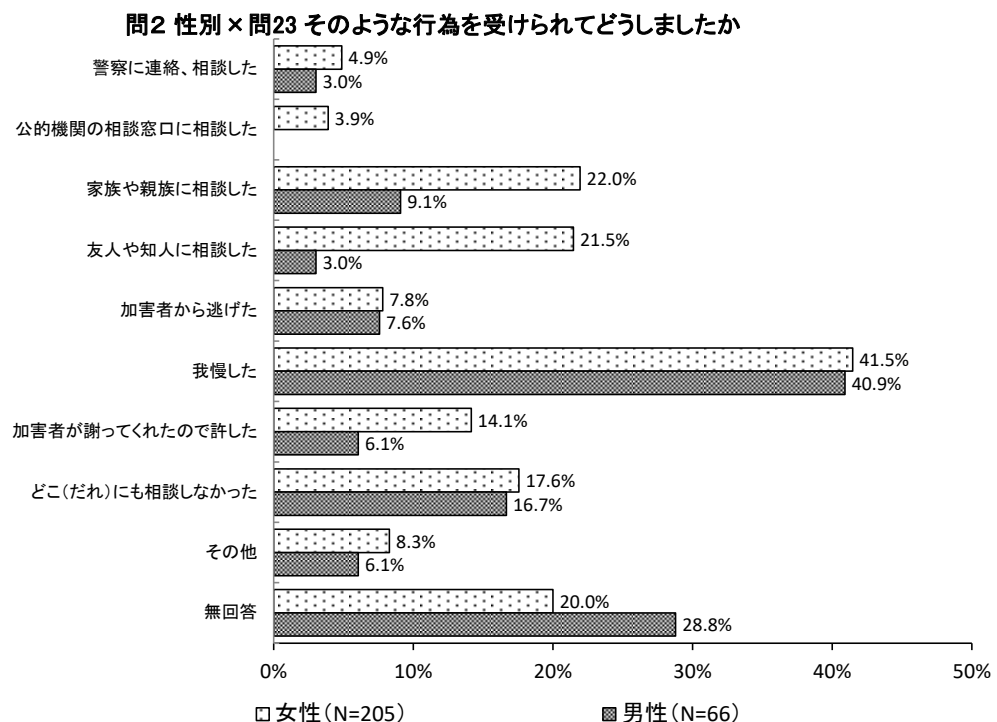
性別では、「我慢した」が女性 41.5%、男性 40.9%で最も高く、次いで女性は「家族や親族に相談した」が 22.0%、「友人や知人に相談した」が 21.5%となっており、男性は「どこ（だれ）にも相談しなかった」が 16.7%となっています。

「公的機関の相談窓口相談した」「家族や親族に相談した」「友人や知人に相談した」「加害者が謝ってくれたので許した」は女性が男性を大きく上回っています。

<全体>



<性別>



問 24 問 23 で「8 どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えられた方にお尋ねします。
 あなたがどこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）のは、なぜですか。
 （〇はいくつでも）

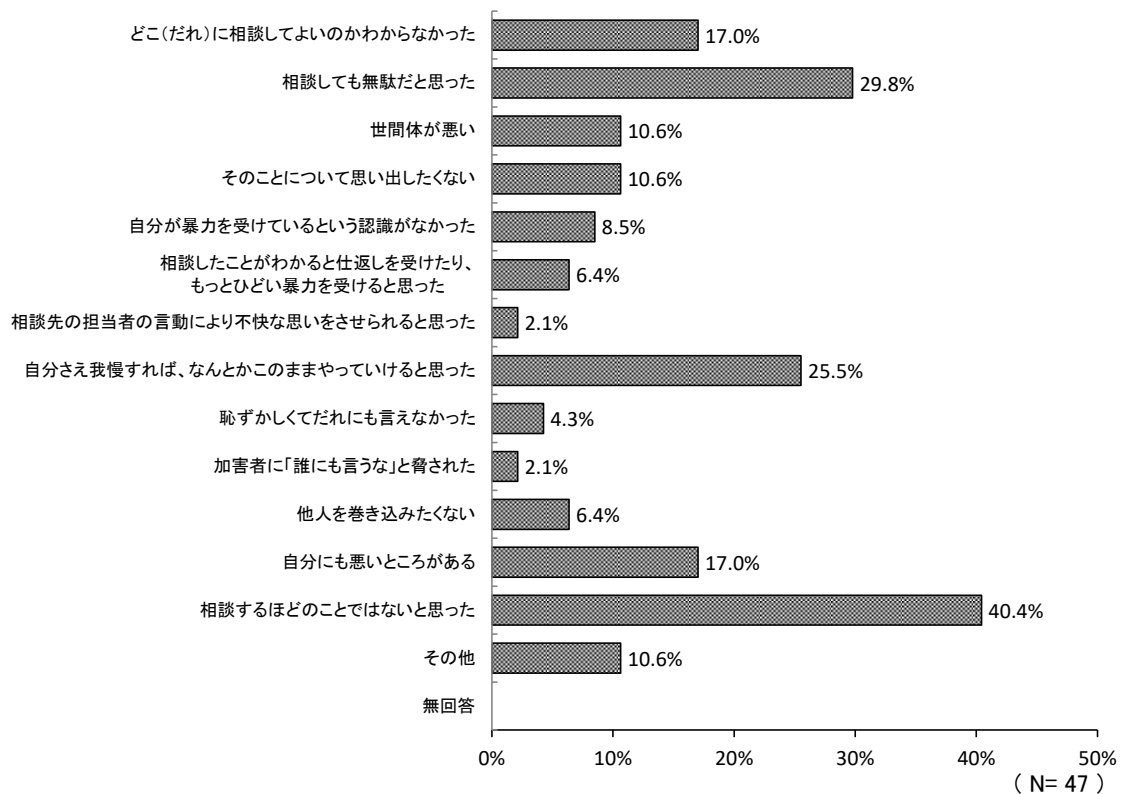
「相談するほどのことではないと思った」が 40.4%で最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」が 29.8%となっています。

性別では、女性は「相談するほどのことではないと思った」が 33.3%で最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」が同じ 27.8%となっています。男性は「相談するほどのことではないと思った」が 63.6%で最も高く、次いで「自分にも悪いところがある」が 45.5%となっています。

「自分にも悪いところがある」「相談するほどのことではないと思った」は、男性が女性を大きく上回っています。

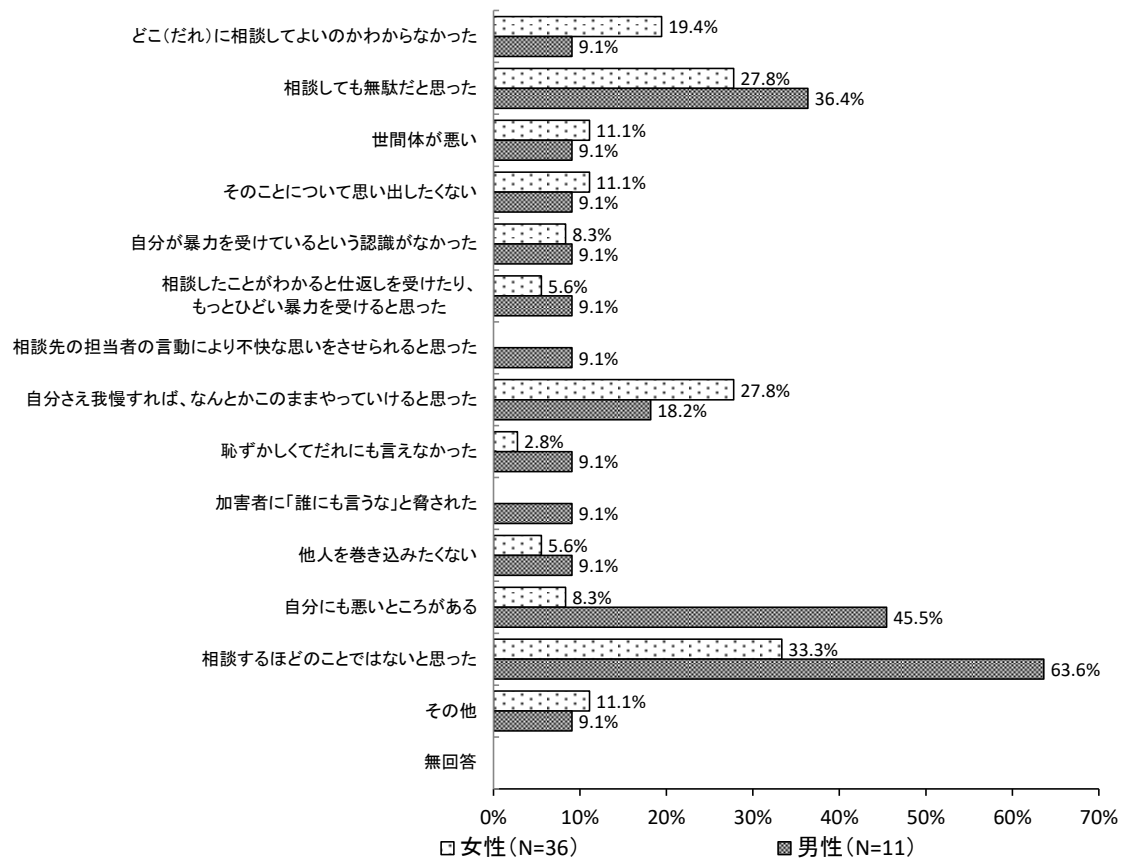
<全体>

問24 あなたがどこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）のは、なぜですか



<性別>

問2 性別×問24 あなたがどこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか

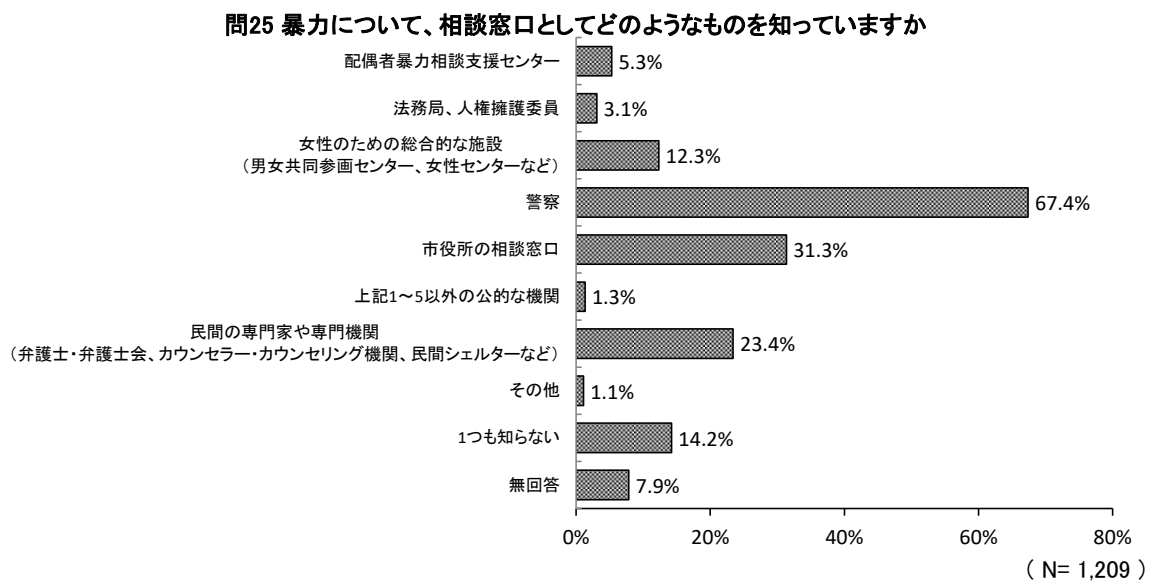


問 25 すべての方にお尋ねします。

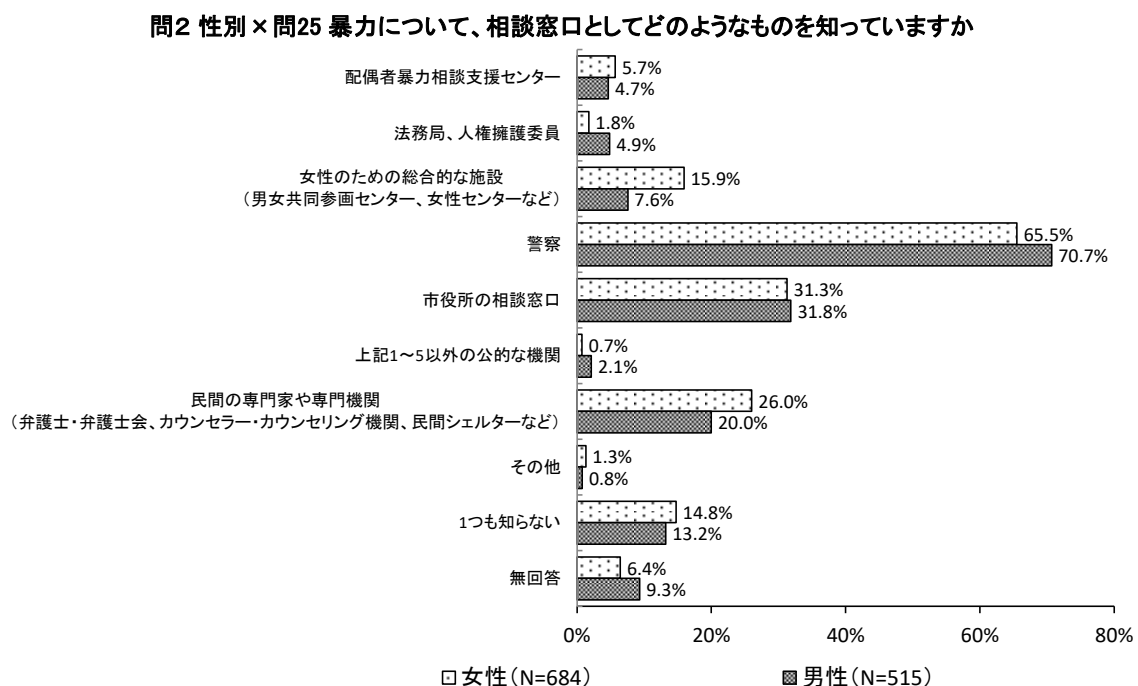
あなたは配偶者（パートナー）など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）からの暴力（殴る、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力）について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。（〇はいくつでも）

「警察」が67.4%で最も高く、次いで「市役所の相談窓口」が31.3%、「民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）」が23.4%となっています。

<全体>



<性別>



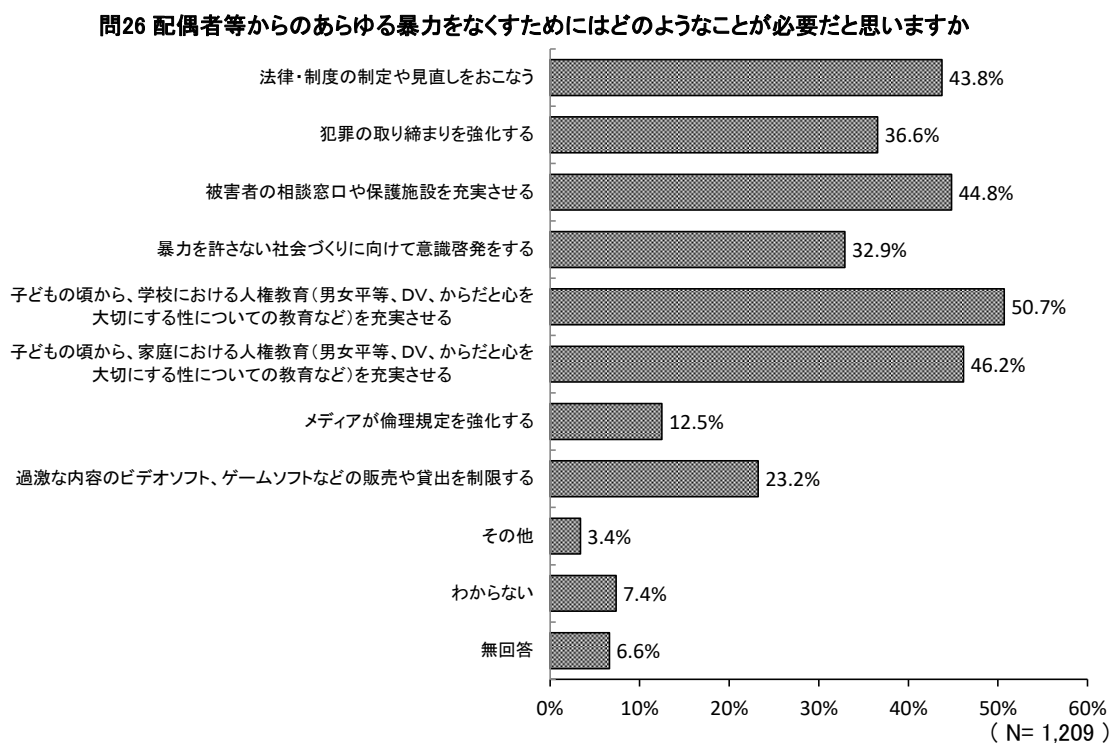
問 26 配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪など、暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「子どもの頃から、学校における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にする性についての教育など）を充実させる」が50.7%で最も高く、次いで「子どもの頃から、家庭における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にする性についての教育など）を充実させる」が46.2%、「被害者の相談窓口や保護施設を充実させる」が44.8%、「法律・制度の制定や見直しをおこなう」が43.8%となっています。

性別では、「過激な内容のビデオソフト、ゲームソフトなどの販売や貸出を制限する」は女性が27.6%であるのに対し男性が17.9%と性別により差異があります。

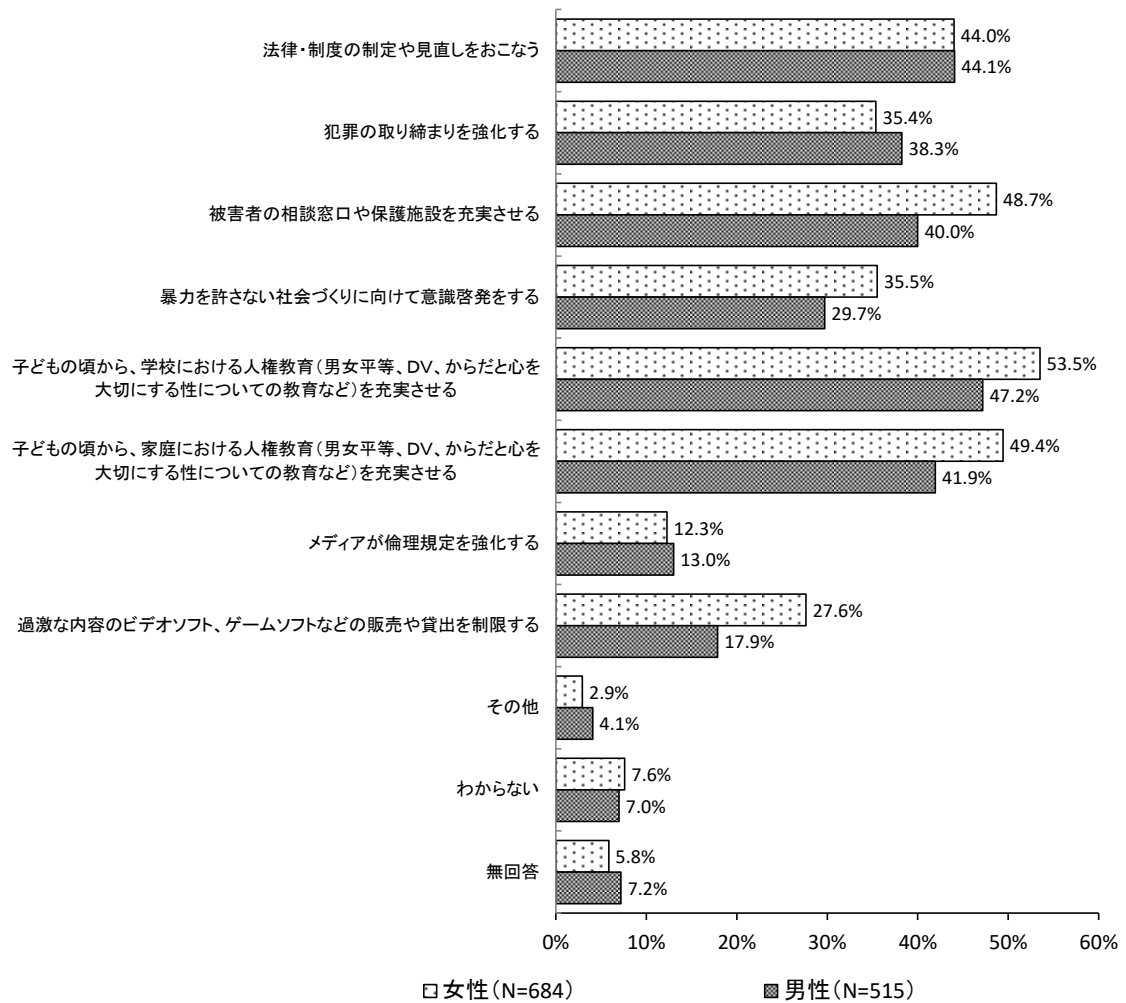
年代別では、「子どもの頃から、学校における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にする性についての教育など）を充実させる」がすべての年代において高い割合となっています。一方、「過激な内容のビデオソフト、ゲームソフトなどの販売や貸出を制限する」は、年代が高くなるほど割合が高くなっています。

<全体>



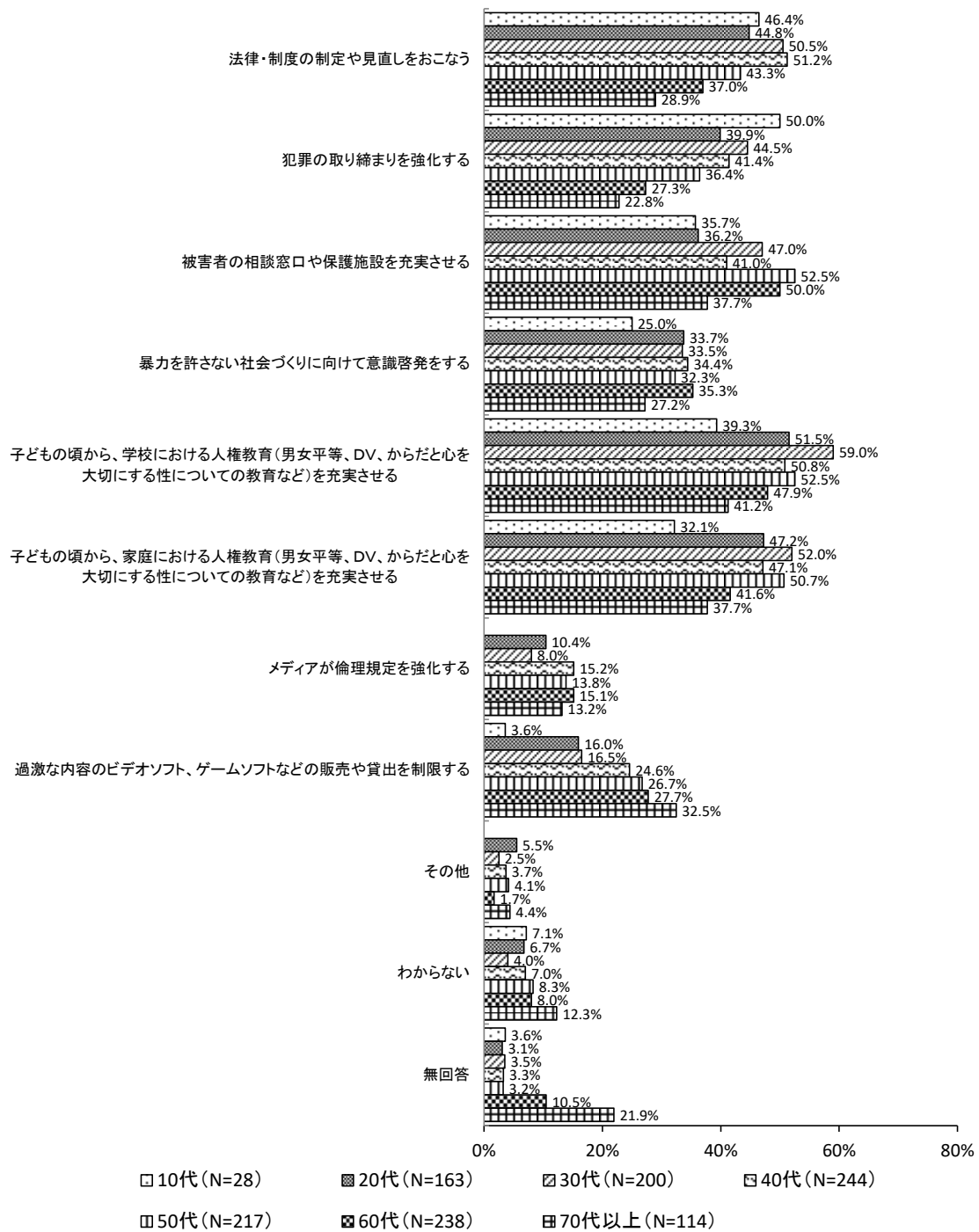
<性別>

問2 性別×問26 配偶者等からのあらゆる暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか



<年代別>

問1 年代別 × 問26 配偶者等からのあらゆる暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか



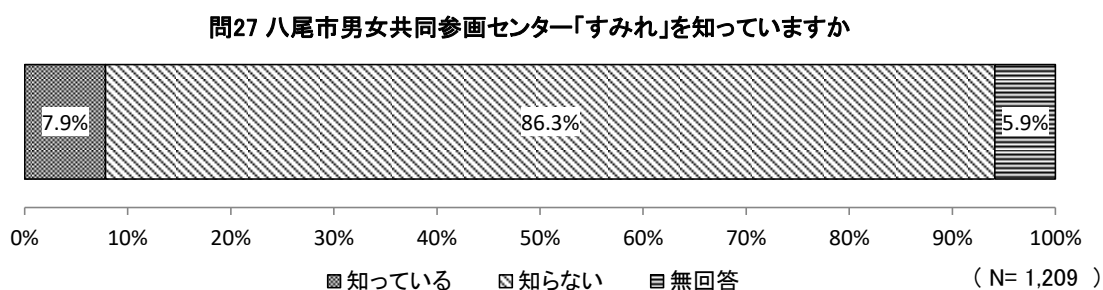
H 男女共同参画社会づくりについて

問 27 男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習及び相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」（生涯学習センター「かがやき」学習プラザ 4 階内）を設置しています。あなたは八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。（〇は 1 つ）

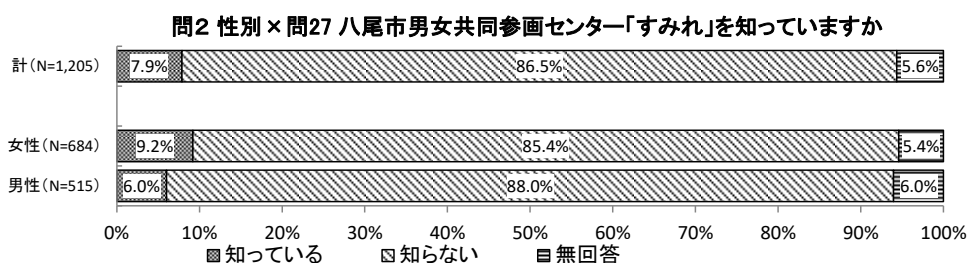
「知っている」が 7.9%で、女性は 9.2%、男性は 6.0%となっています。

年代別では、10 代の 14.3%が「知っている」となっているほかは、全ての年代で 1 割を下回っています。

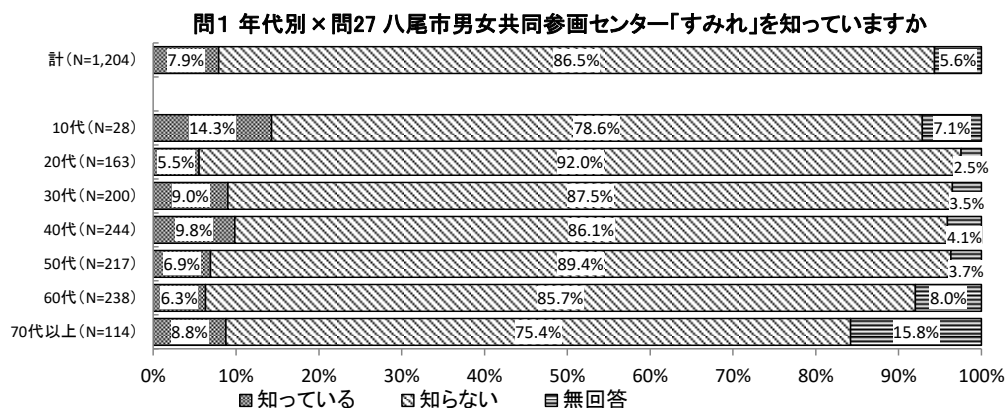
<全体>



<性別>



<年代別>



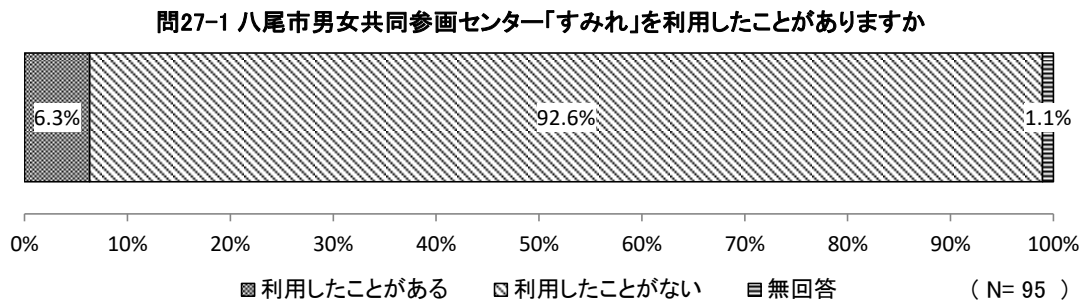
問 27-1 問 27 で「1 知っている」と答えられた方にお尋ねします。

八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。(○は 1 つ)

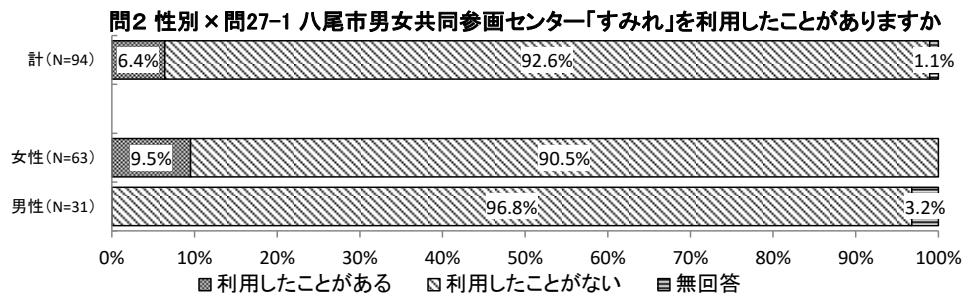
「利用したことがある」が 6.3%で、女性は 9.5%が「利用したことがある」となっているのに対して、男性では「利用したことがある」と回答した人はいませんでした。

年代別では、「利用したことがある」が 10 代と 20 代で 0.0%、60 代が最も高く 13.3%となっています。

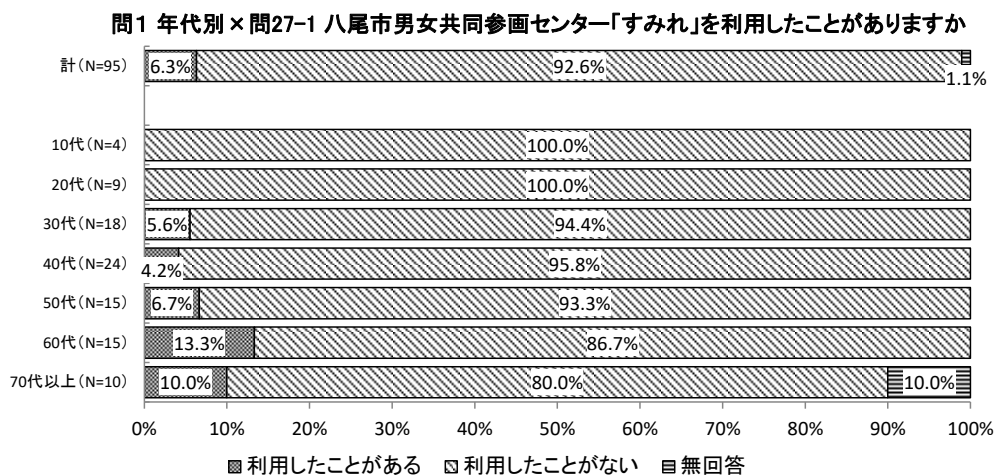
<全体>



<性別>



<年代別>



問 27-2 問 27-1 で「2 利用したことがない」と答えられた方にお尋ねします。

その主な理由はなぜですか。(○は 1 つ)

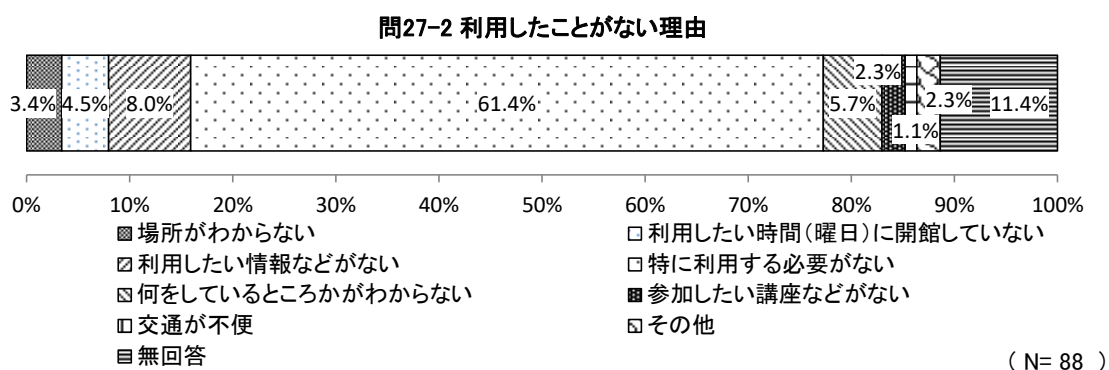
「特に利用する必要がない」が 61.4%で最も高く、次いで「利用したい情報などがない」が 8.0%となっています。

性別では、いずれも「特に利用する必要がない」が最も高く、それぞれ半数を上回っています。

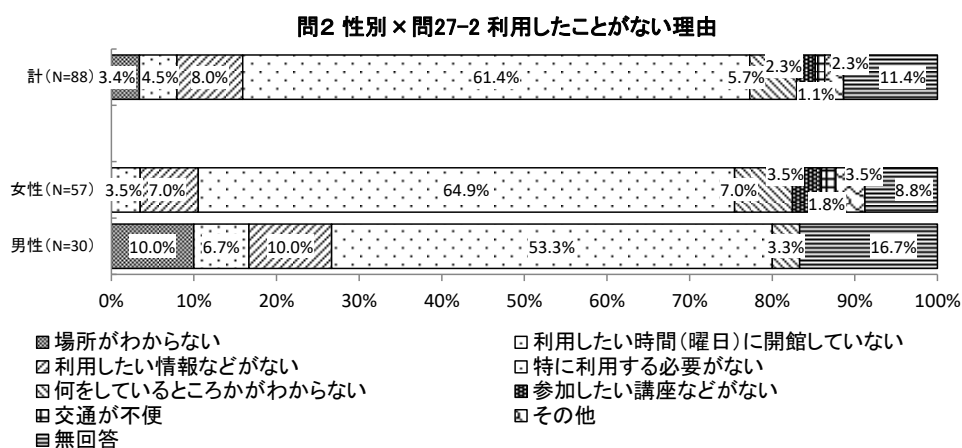
「参加したい講座などがない」、「交通が不便」は、女性が 3.5%、1.8%であるのに対し、男性はいずれも 0.0%、一方「場所がわからない」は女性が 0.0%であるのに対し、男性は 10.0%とそれぞれ性別により差異があります。

年代別では、「特に利用する必要がない」が全ての年代で最も高くなっています。「利用したい情報などがない」は 70 代以上が 25.0%で最も高くなっています。「参加したい講座などがない」は、40 代のみ、「交通が不便」は 70 代以上のみとなっています。

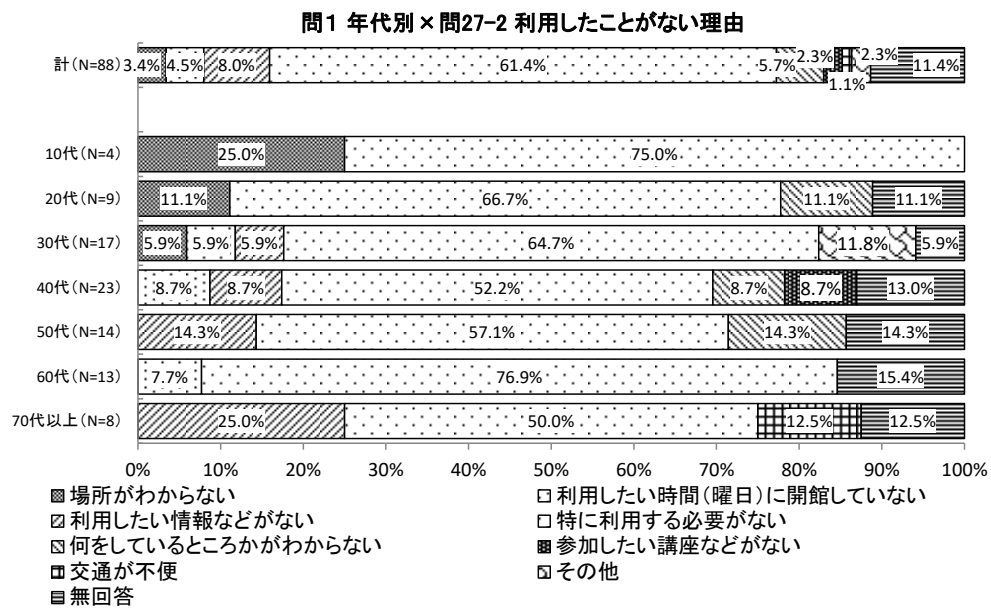
<全体>



<性別>



<年代別>



問 28 男女共同参画を進めていく上で、行政（国・府・市）は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。（〇はいくつでも）

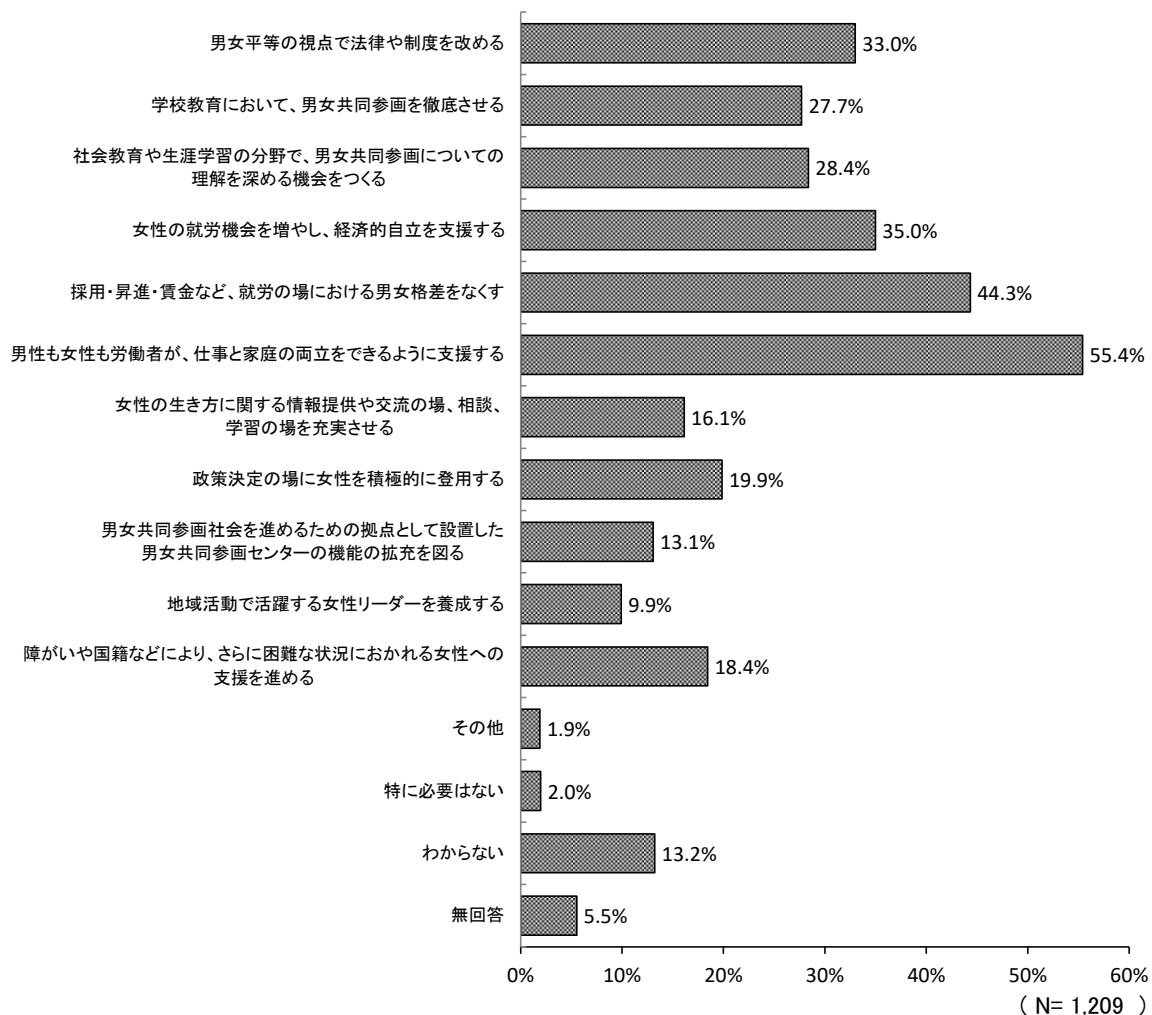
「男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する」が55.4%で最も高く、次いで「採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす」が44.3%となっています。

性別では、「男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する」で女性が59.1%であるのに対し男性が51.3%で、女性が男性をやや上回っています。

年代別では、「男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する」がいずれの年代も高くなっています。また「採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす」については、20代、30代が高くなっています。

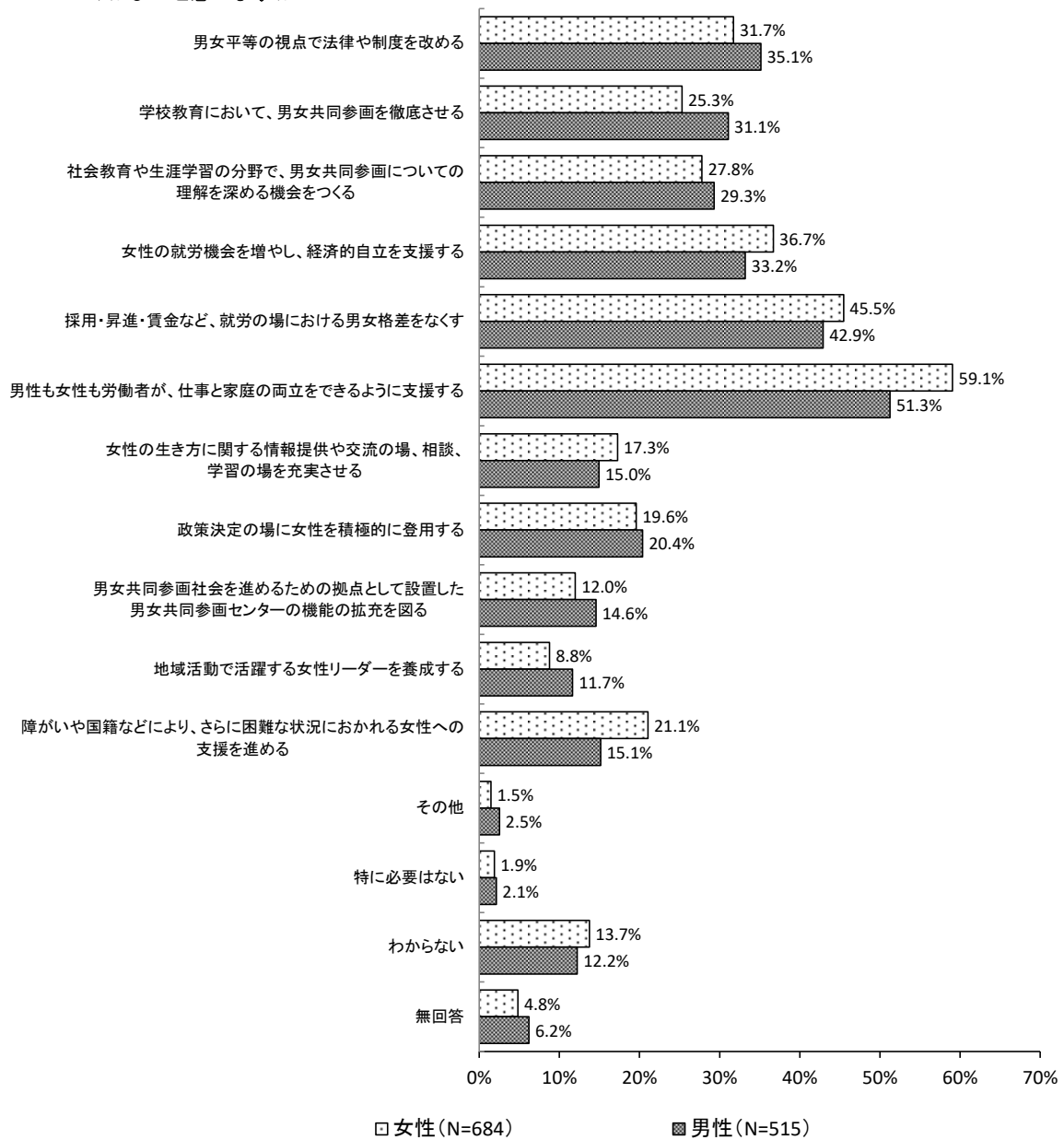
<全体>

問28 男女共同参画を進めていく上で、行政(国・府・市)は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか



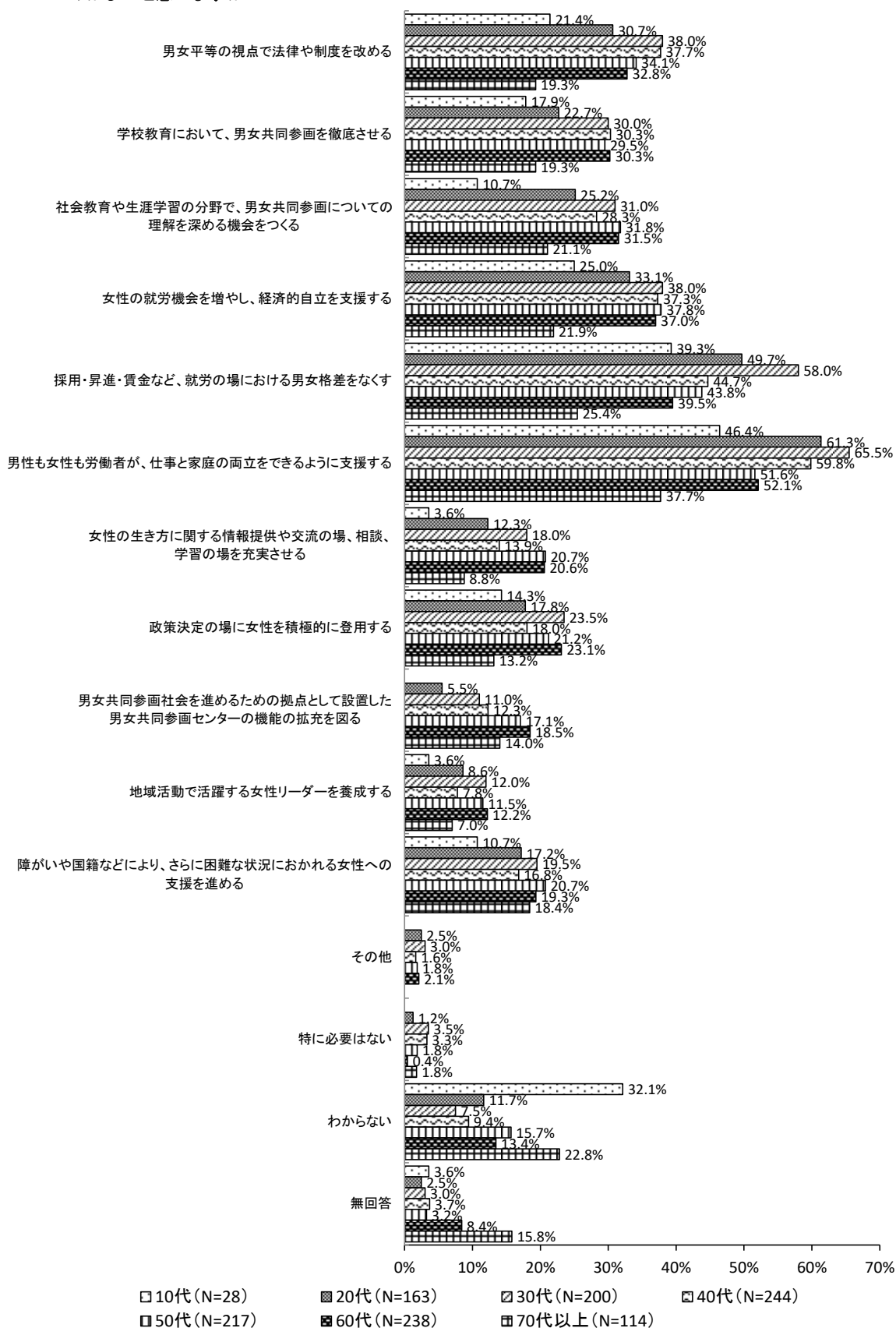
<性別>

問2 性別×問28 男女共同参画を進めていく上で、行政(国・府・市)は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか



<年代別>

問1 年代別×問28 男女共同参画を進めていく上で、行政(国・府・市)は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか



問 29 男女共同参画を推進するための八尾市の次の①～⑩の取り組みについて、現在の満足度をお答えください。(①～⑩のそれぞれについて〇は 1 つ)

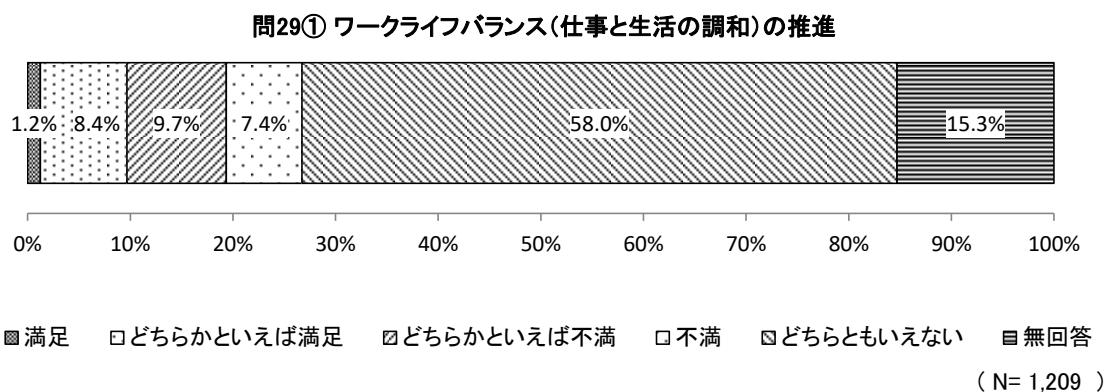
全ての項目で「どちらともいえない」が最も高くなっています。

『満足という意見』(「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた値)は、「④生涯を通じた健康への支援」が 22.9%で最も高く、次いで「⑥様々な困難を抱える人々への支援」、「③女性の職業生活における活躍支援」がそれぞれ約 10%となっています。

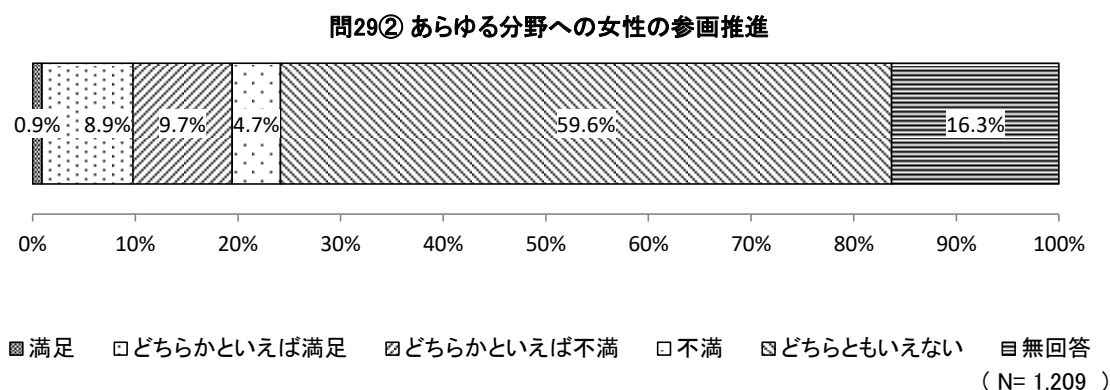
『不満足という意見』(「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた値)は、「⑥様々な困難を抱える人々への支援」が 21.4%で最も高く、次いで「③女性の職業生活における活躍支援」が 18.5%となっています。

<全体>

① ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進

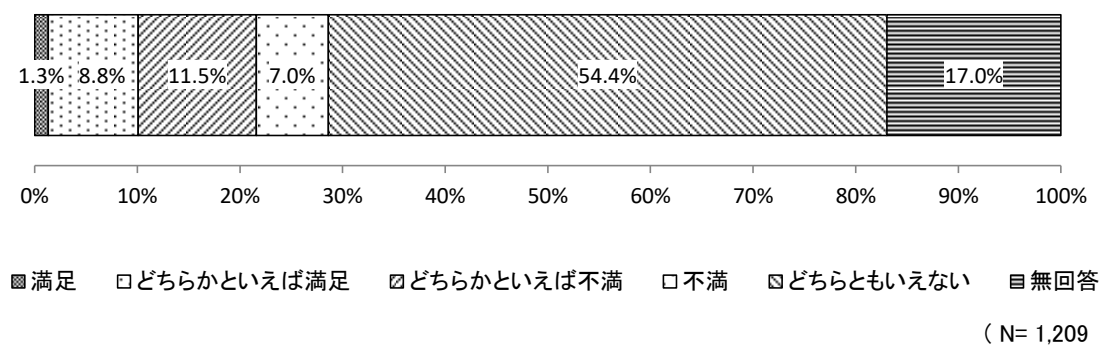


② あらゆる分野への女性の参画推進



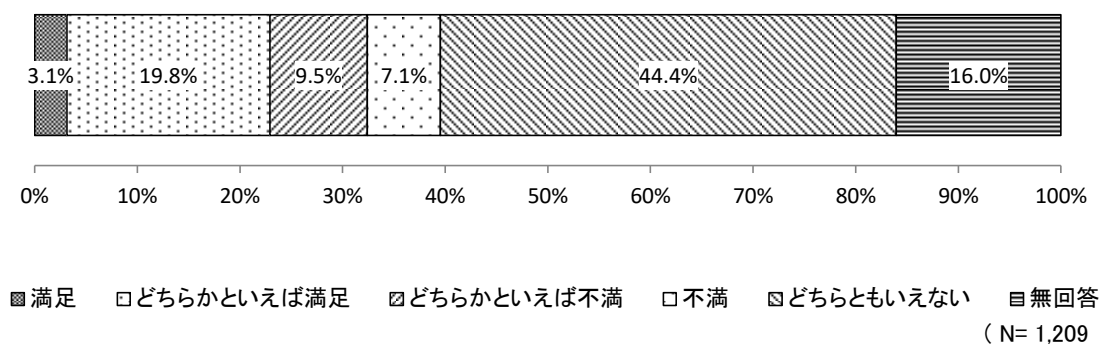
③ 女性の職業生活における活躍支援

問29③ 女性の職業生活における活躍支援



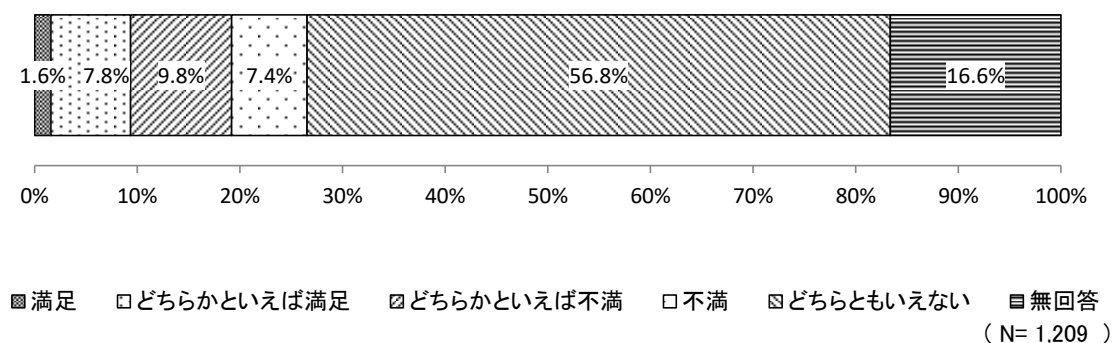
④ 生涯を通じた健康への支援

問29④ 生涯を通じた健康への支援

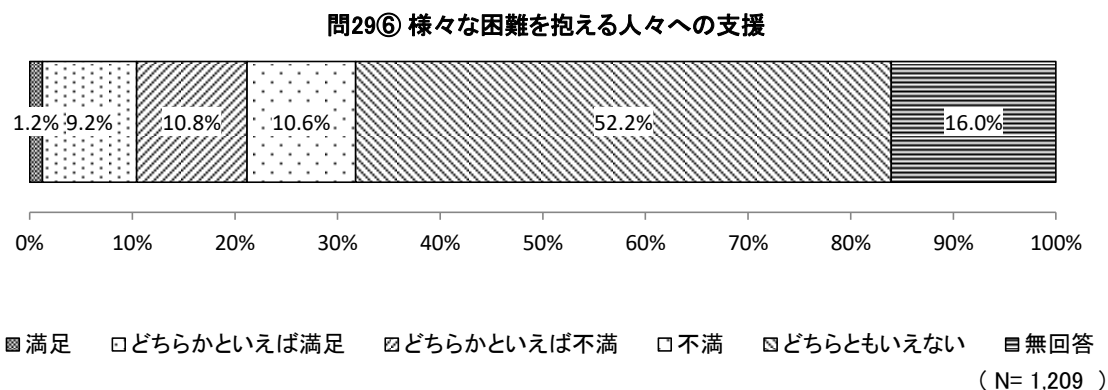


⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶

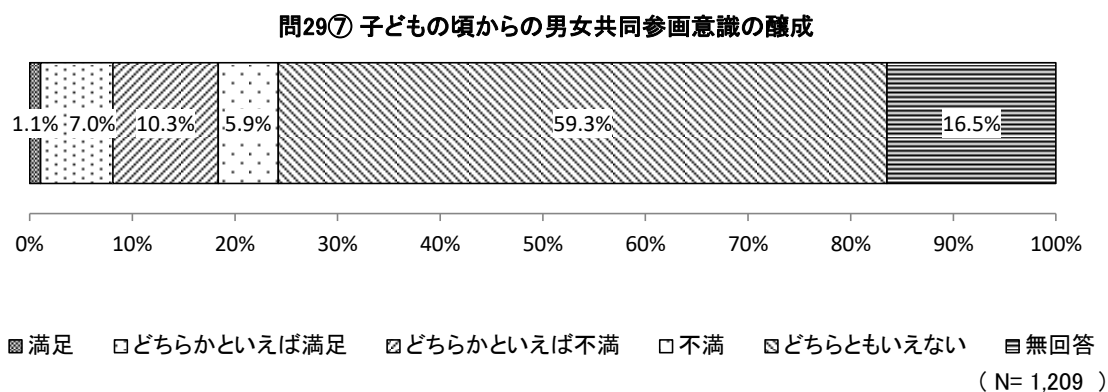
問29⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶



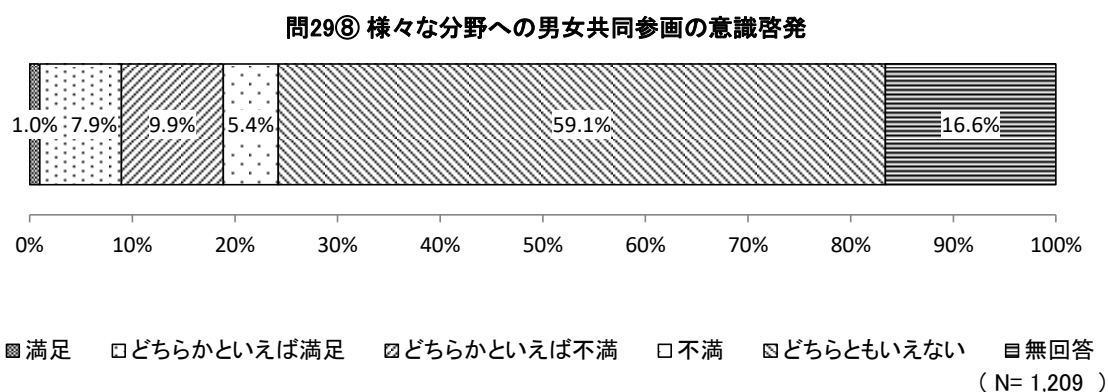
⑥ 様々な困難を抱える人々への支援



⑦ 子どもの頃からの男女共同参画意識の醸成

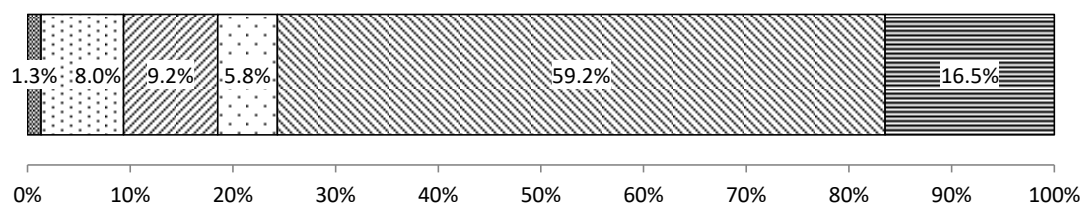


⑧ 様々な分野への男女共同参画の意識啓発



⑨ 地域における男女共同参画の推進

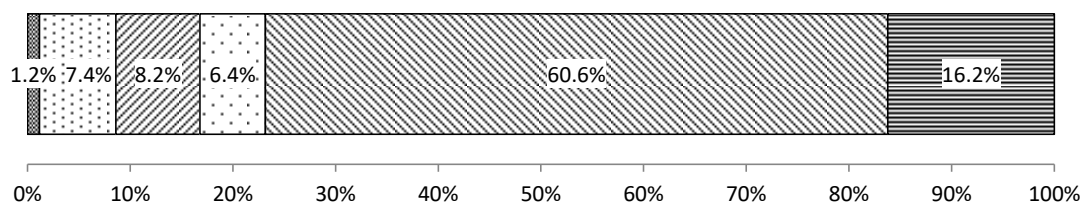
問29⑨ 地域における男女共同参画の推進



■ 満足 □ どちらかといえば満足 ▨ どちらかといえば不満 □ 不満 ▩ どちらともいえない ■ 無回答
(N= 1,209)

⑩ 男女共同参画推進の拠点施設の充実

問29⑩ 男女共同参画推進の拠点施設の充実

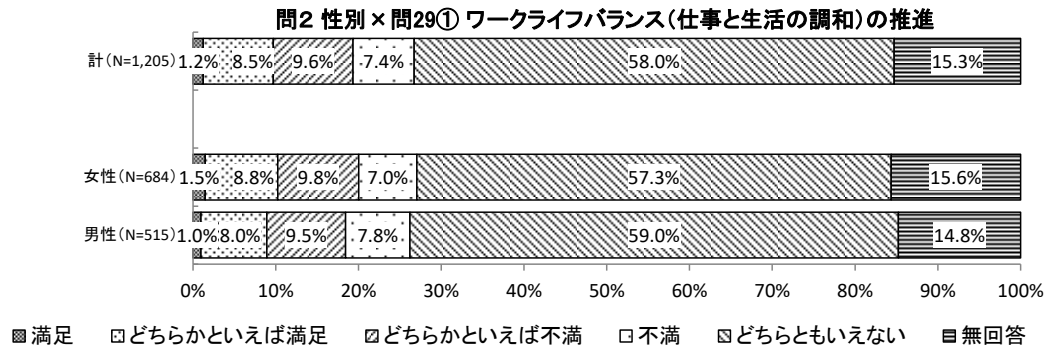


■ 満足 □ どちらかといえば満足 ▨ どちらかといえば不満 □ 不満 ▩ どちらともいえない ■ 無回答
(N= 1,209)

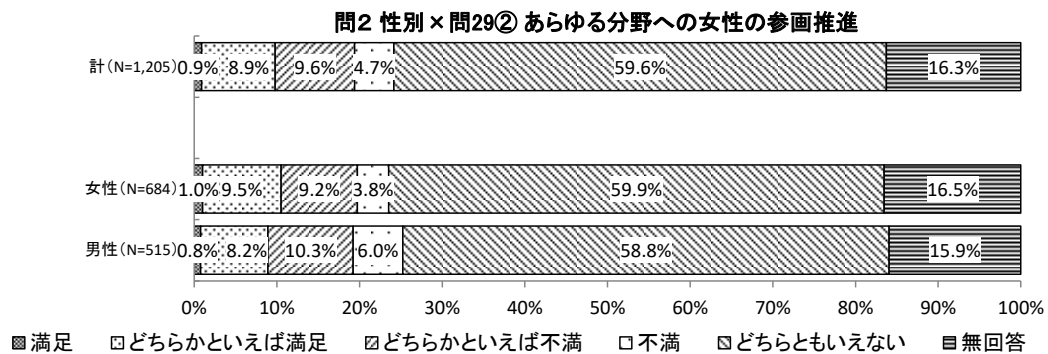
<性別>

全ての取り組みで、『満足という意見』は女性が男性を上回り、『不満という意見』は男性が女性を上回っています。

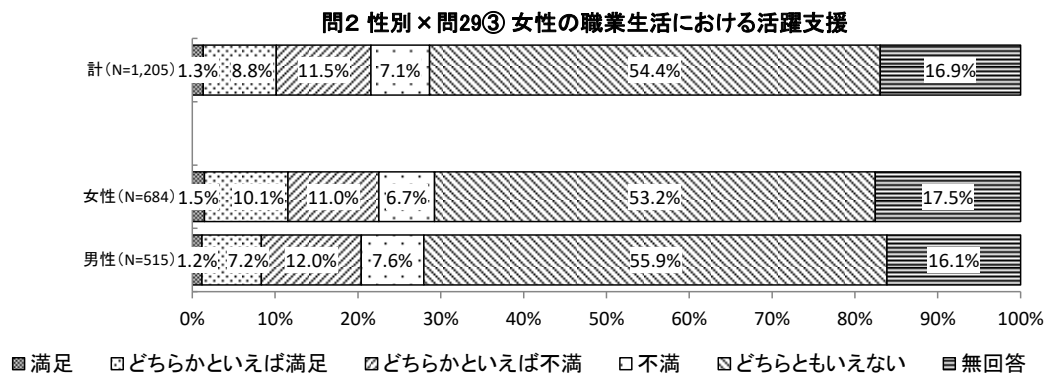
① ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進



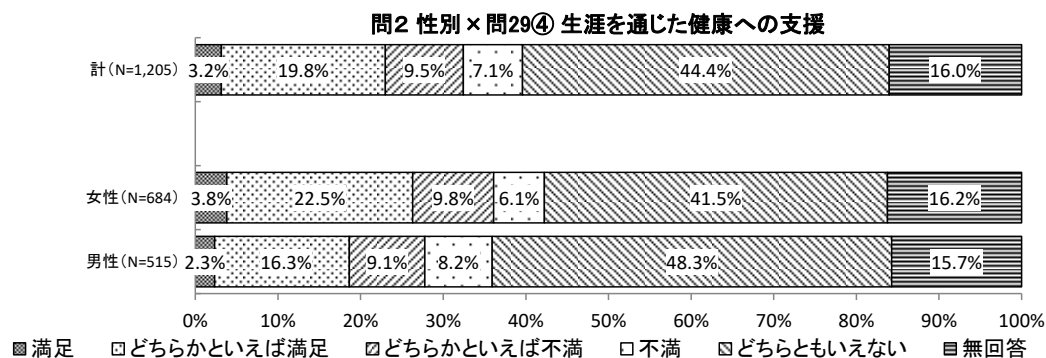
② あらゆる分野への女性の参画推進



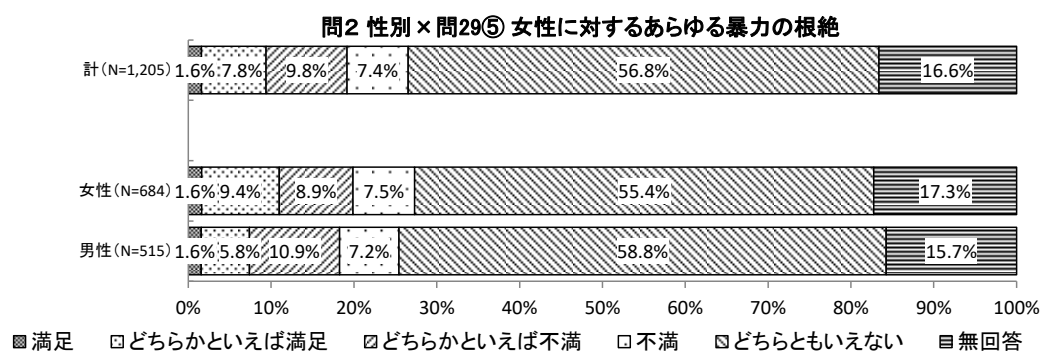
③ 女性の職業生活における活躍支援



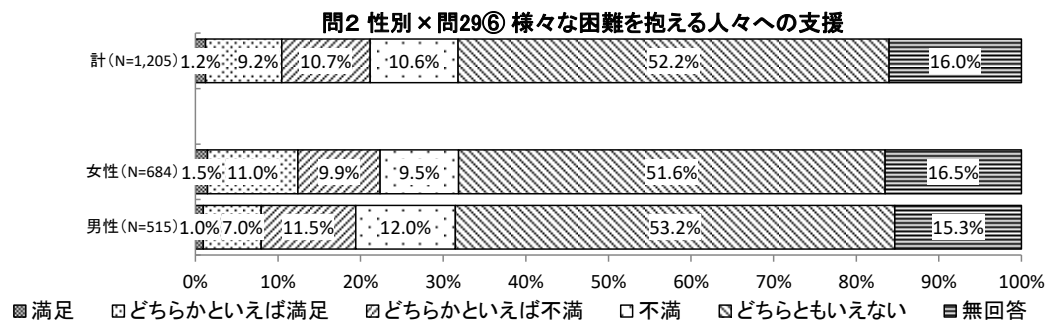
④ 生涯を通じた健康への支援



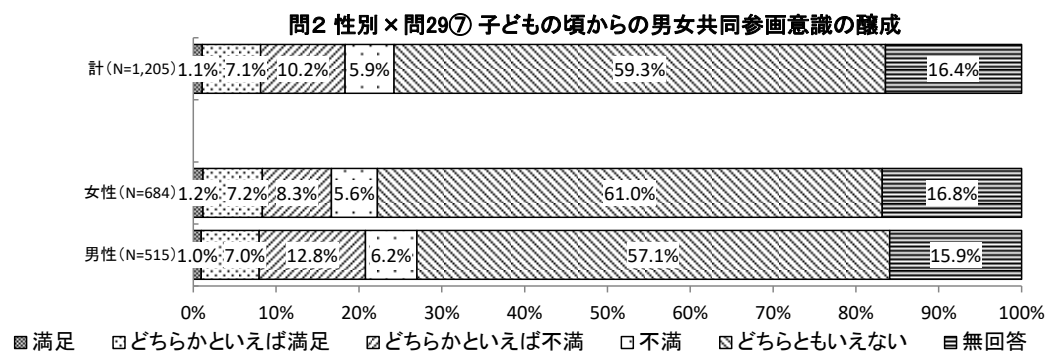
⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶



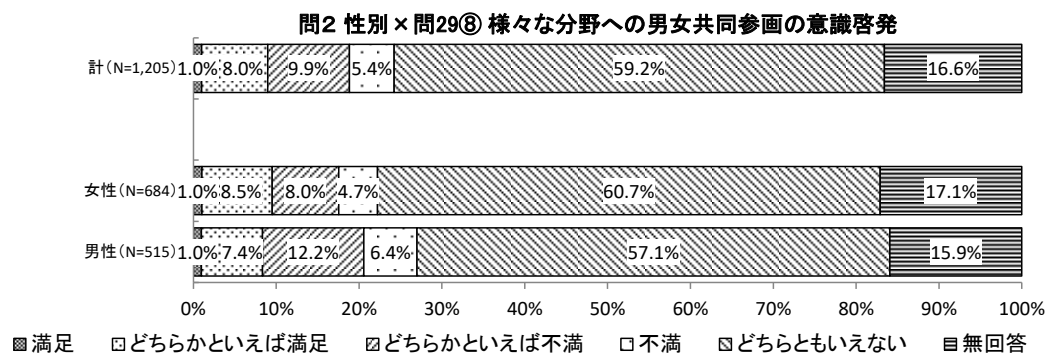
⑥ 様々な困難を抱える人々への支援



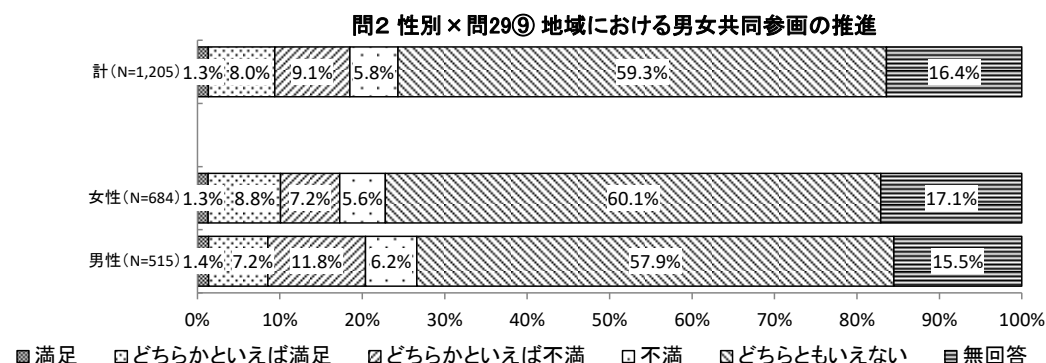
⑦ 子どもの頃からの男女共同参画意識の醸成



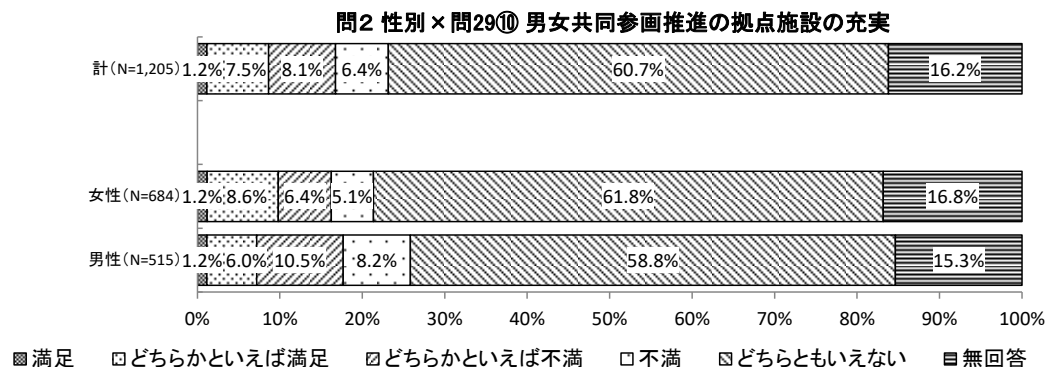
⑧ 様々な分野への男女共同参画の意識啓発



⑨ 地域における男女共同参画の推進



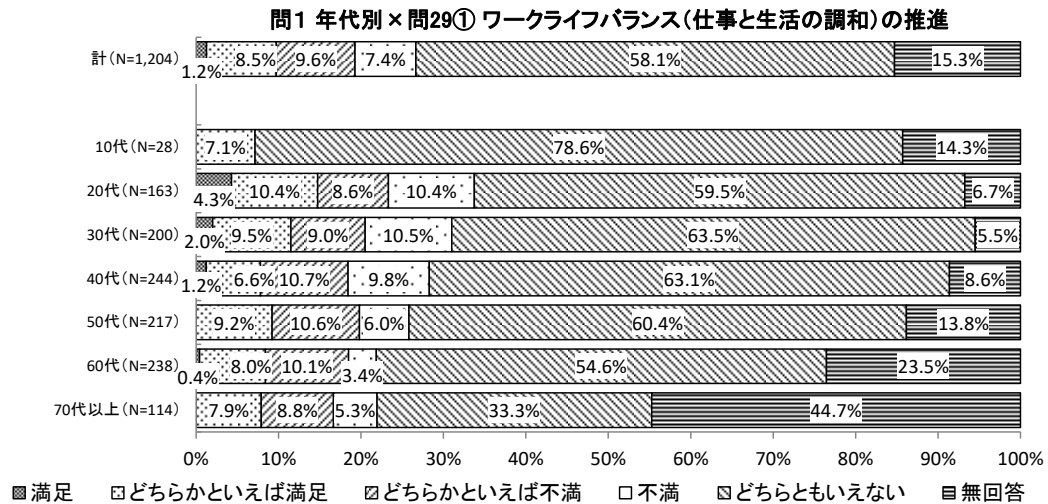
⑩ 男女共同参画推進の拠点施設の充実



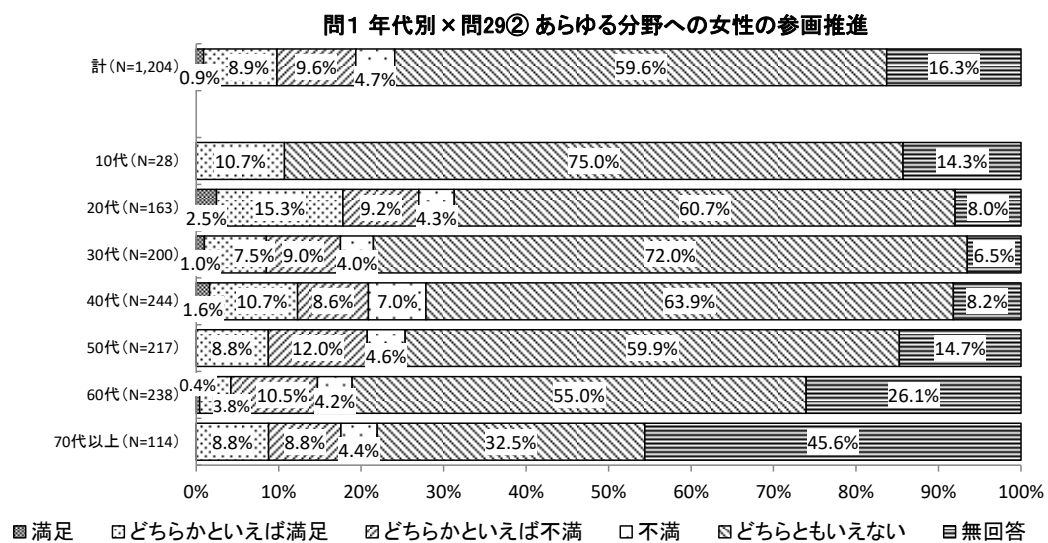
<年代別>

「④生涯を通じた健康への支援」は10代～60代で『満足という意見』が『不満足という意見』を上回っています。

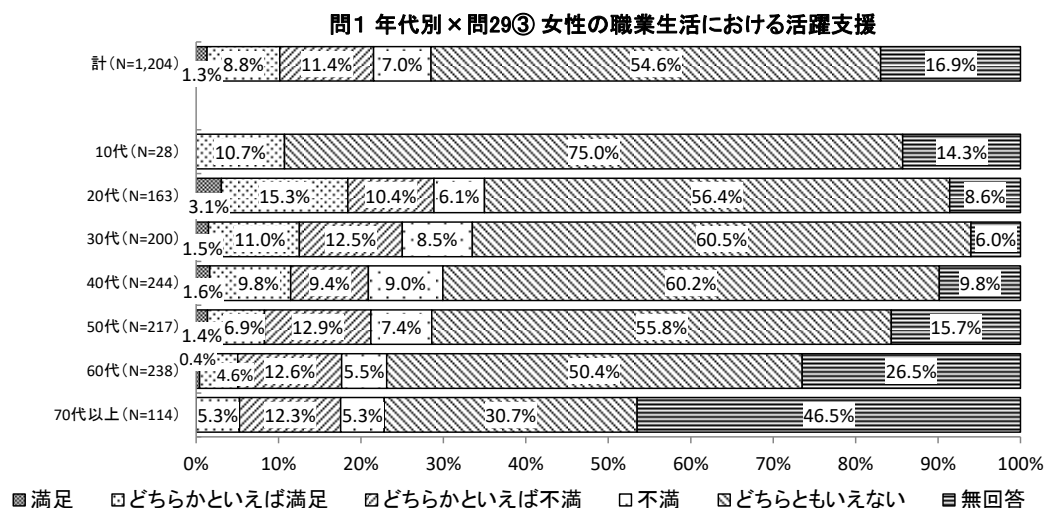
① ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進



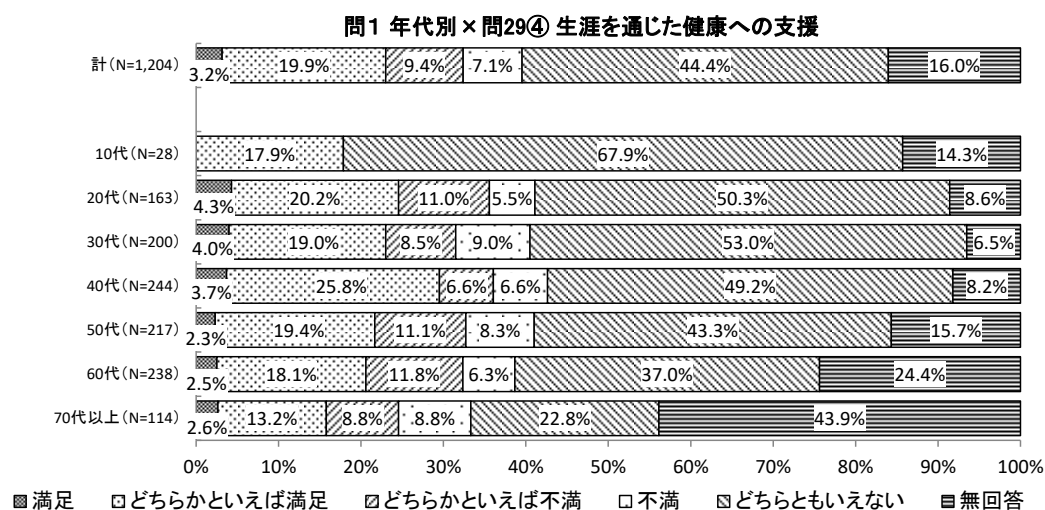
② あらゆる分野への女性の参画推進



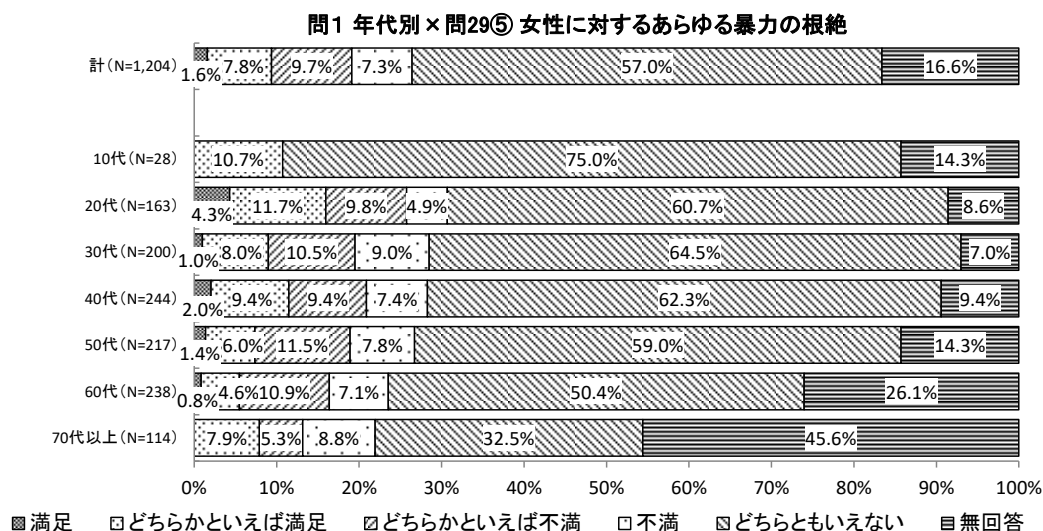
③ 女性の職業生活における活躍支援



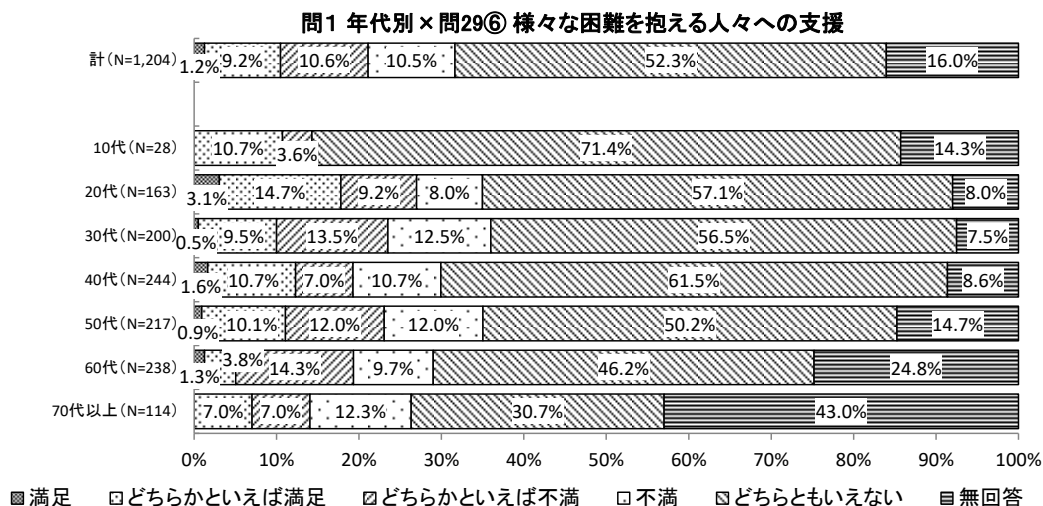
④ 生涯を通じた健康への支援



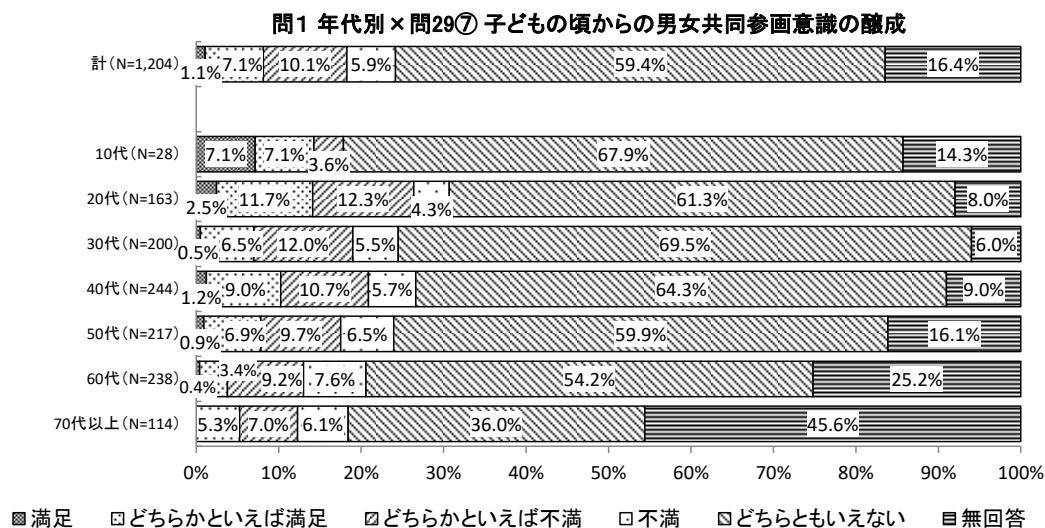
⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶



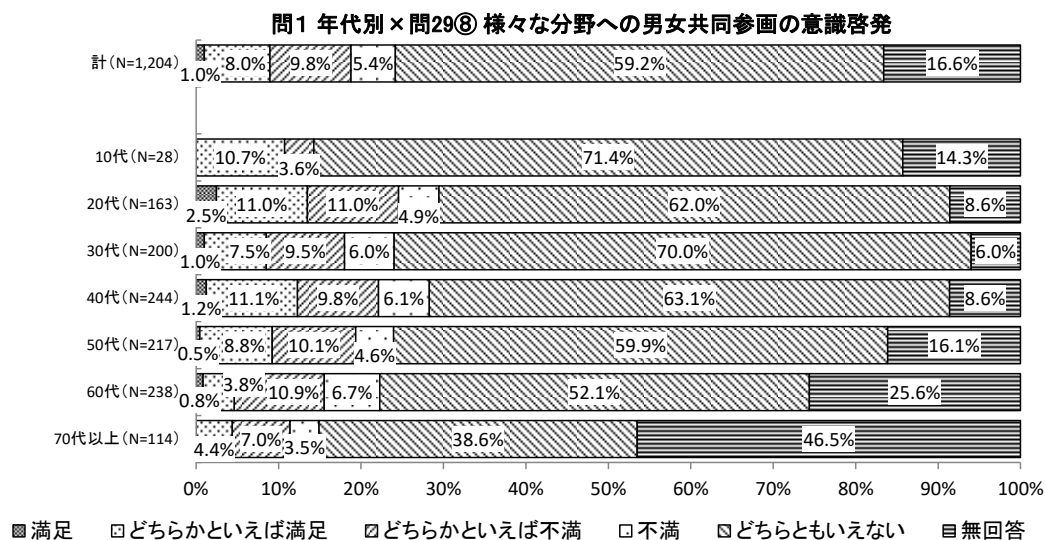
⑥ 様々な困難を抱える人々への支援



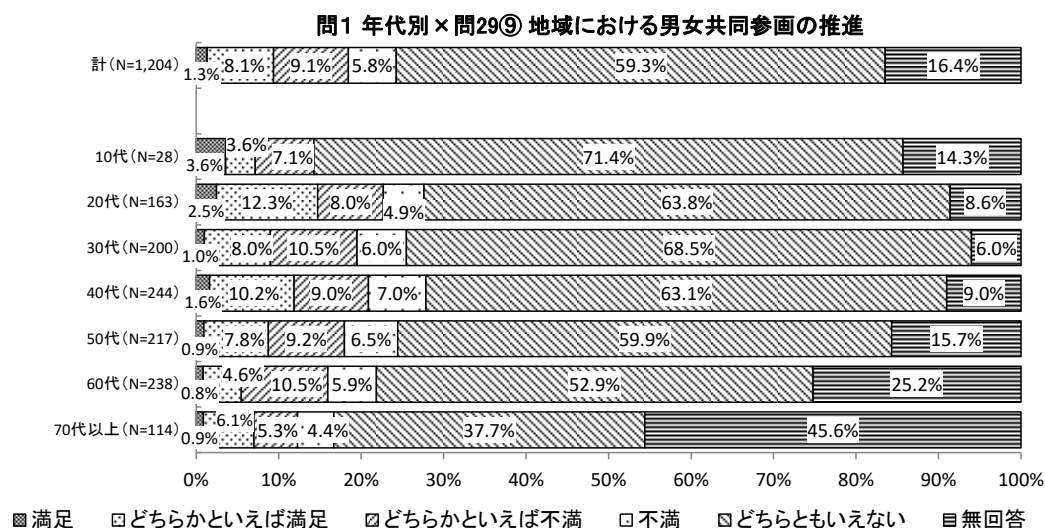
⑦ 子どもの頃からの男女共同参画意識の醸成



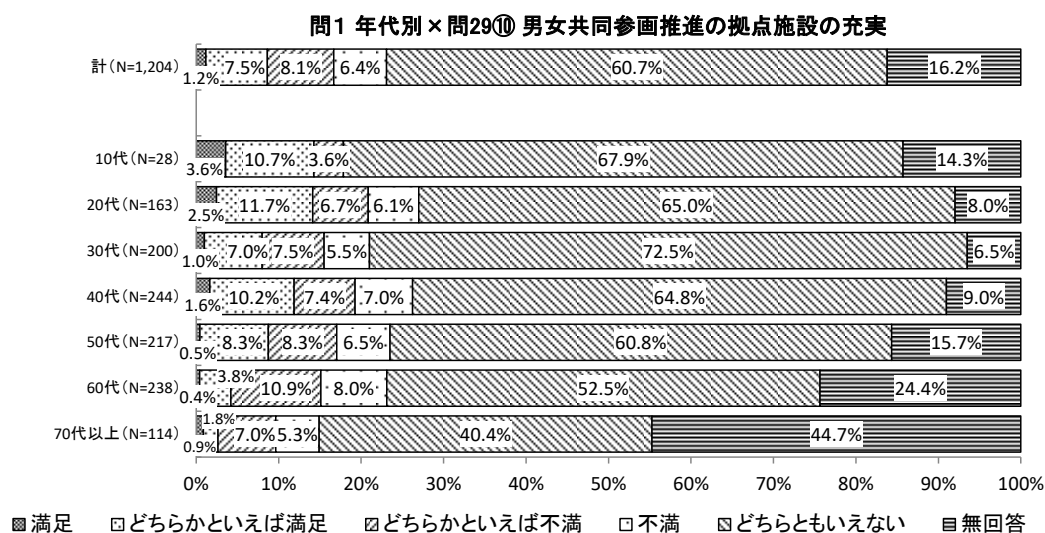
⑧ 様々な分野への男女共同参画の意識啓発



⑨ 地域における男女共同参画の推進



⑩ 男女共同参画推進の拠点施設の充実



Ⅲ. 自由意見のまとめ

Ⅲ. 自由意見のまとめ

男女共同参画に関する意見を自由記述の形で回答していただき、185件の回答を得られました。
以下に、整理・分類し、主な意見を記載します。

分類		件数
1	男女平等に関する意識について	21
2	家庭生活について	4
3	子育て・教育について	11
4	就労について	21
5	仕事と生活の調和について	11
6	あらゆる暴力について	4
7	男女共同参画社会づくりについて	50
8	アンケート方法について	9
9	その他	54
集計		185

1. 男女平等に関する意識について

意見	件数
男性と女性で違うのだから全てが平等である必要はないと思う。	6
性別による固定観念を無くすべきだ。	3
男性、女性にはそれぞれに適正があり、それを生かすことが平等であると思う。	3
若い世代の方が男女平等の意識が高いと感じる。	3
女性の立場の改善ばかりに注目することにも疑問を感じる。	2
特に職場での意識改革が必要である。	2
男女平等が当たり前という意識の醸成が必要である。	1
女性は家事に専念、男性は仕事をして男性の給与で生活できる世の中、社会にすべきである。	1
集計	21

2. 家庭生活について

意見	件数
市の施策よりも、相手の家庭の風土によるところが大きいのではないかと。	2
家事や子育てにおいては「協力」ではなく、ともに担うという認識が重要である。	1
男性は男性にしか、女性は女性にしかできないこともある。働き方や育児について、子どもが小さい頃はやはり母親が必要である。	1
集計	4

3. 子育て・教育について

意見	件数
思いやりの心・感じる力を育てることが大切である。	2
学校を卒業した後、社会や地域における取り組みも必要である。	2
子どもの頃からの男女共同参画に関する教育が重要である。	2
個人を尊重することの大切さを教育することが重要である。	1
自立することの大切さを教えることが重要である。	1
男性、女性の違いを認識させながらもそれぞれを尊重する教育が必要である。	1
保護者がロールモデルとなって示していくことも必要である。	1
保護者や教師への人権教育も必要である。	1
集計	11

4. 就労について

意見	件数
子育て政策の充実による女性の就労促進が重要である。	13
女性が働きやすい制度の充実が必要である。	3
女性の雇用促進が必要である。	2
女性の就労については、施策だけでなく、子どもの精神的ケアも必要である。	2
女性が就労することへの社会・男性の理解が必要である。	1
集計	21

5. 仕事と生活の調和について

意見	件数
働き方改革を推進する施策が必要である。	5
男性の育児参加を促進する施策が必要である。	3
子育て支援施策を充実してほしい。	2
働き方改革が進み、社会や地域と関わるのが促進されればよいと思う。	1
集計	11

6. あらゆる暴力について

意見	件数
DVと児童虐待の厳罰化が必要である。	2
DVや虐待被害者への情報提供の拡充が必要である。	1
女性の経済基盤の確立が重要である。	1
集計	4

7. 男女共同参画社会づくりについて

意見	件数
「男女共同参画」の広報に工夫が必要である。	15
八尾市の取り組み内容が見えてこない。	10
市の取り組み内容・手法を見直す必要がある。	9
政治の現場や公務員から、女性を積極的に登用すべきである。	3
女性の雇用を促進する制度の拡充が必要である。	3
女性の意識改革、女性自身が声をあげることが重要である。	2
若く優秀な人材を中心に男女共同参画社会づくりを進めるべきである。	1
女性を含む若い子育て世帯が住みよい街・社会にすることが重要である。	1
労働環境、待遇の改善が必要である。	1
男性や若い女性に対する子育てに関する教育が重要である。	1
ひとり親世帯への支援制度の充実が必要である。	1
税制面での女性に対する優遇が必要である。	1
女性のみを優遇するものではないということを周知すべきである。	1
就職やボランティアにつながる資格取得のための学びの場を充実してほしい。	1
集計	50

8. アンケート方法について

意見	件数
あらゆる世代に対応したアンケート内容になっていない。	3
アンケートに添付資料などを同封すべきだったのではないか。	2
質問項目、言葉の表記に違和感がある。	2
この意識調査の効果を知りたい。	1
回答に手間がかかる。	1
集計	9

9. その他

意見	件数
他施策に関すること	18
自分自身のこと	11
男女共同参画の意味や取り組みがわからない。	9
男女共同参画は既に達成されている。	2
その他	14
集計	54

参考資料

2019（令和元）年度 男女共同参画についての市民意識調査

ご協力のお願い

市民のみなさまには、日頃より市政の推進にご協力いただき、ありがとうございます。

本市では、「八尾市はつらつプラン」を2016（平成28）年3月に策定し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めているところです。

このたび、広く市民のみなさまの男女共同参画についての現状や意識、ご意見をお伺いし、プランの中間見直しの貴重な基礎資料として活用するため、男女共同参画についての市民意識調査を実施することになりました。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2019（令和元）年10月 八尾市

男女共同参画についての市民意識調査票

A あなた自身について

問1 あなたの年齢は（〇は1つ）

1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代 7 70代以上

問2 あなたの性別は（〇は1つ）

1 女性 2 男性 3 女性・男性と答えることに抵抗を感じる

問3 あなたは結婚していますか。（事実婚を含む）（〇は1つ）

1 結婚していない 3 結婚したが、離別又は死別している
2 結婚している 4 その他（具体的に）

問3-1 配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を
含む。複数おられた場合は、一番最近に親密な関係にあった人について）の性別は。（〇は1つ）

1 女性 3 女性・男性と答えることに抵抗を感じる
2 男性 4 親密な関係にある人はいない

問4 あなたが一緒に住んでいる人は。（あてはまるものすべてに〇）

1 単身（1人） 4 祖父母
2 配偶者（パートナー） 5 その他（具体的に）
3 子ども

問5 平成31年4月1日時点のあなたが同居している、一番下のお子さんの年齢は。（〇は1つ）

1 子どもはいない 3 3歳～6歳 5 13歳～15歳 7 20歳以上
2 3歳未満 4 7歳～12歳 6 16歳～19歳

問6 あなた、配偶者（パートナー）の働き方は。（それぞれについて〇は1つ）

(1) あなたについて	(2) 配偶者（パートナー）について
【主な仕事】 1 正社員・正職員（フルタイム） 2 契約社員や派遣社員（フルタイム） 3 パートタイマーやアルバイト 4 自営業又は家族従業員 5 家事専業 6 在学中 7 無職（家事専業を除く） 8 その他（具体的に）	【主な仕事】 1 正社員・正職員（フルタイム） 2 契約社員や派遣社員（フルタイム） 3 パートタイマーやアルバイト 4 自営業又は家族従業員 5 家事専業 6 在学中 7 無職（家事専業を除く） 8 その他（具体的に） 9 配偶者（パートナー）はいない → 問7へ
【勤務地】 1 八尾市内 3 大阪府内（八尾市・大阪市以外） 2 大阪市内 4 大阪府外	【勤務地】 1 八尾市内 3 大阪府内（八尾市・大阪市以外） 2 大阪市内 4 大阪府外
【通勤時間】 1 0分～30分未満 2 30分～1時間未満 3 1時間～1時間30分未満 4 1時間30分～2時間未満 5 2時間以上	【通勤時間】 1 0分～30分未満 2 30分～1時間未満 3 1時間～1時間30分未満 4 1時間30分～2時間未満 5 2時間以上

(1) あなたについて	(2) 配偶者（パートナー）について
【週におよそ何日働きますか】 1 1～3日 2 4～5日 3 それ以上	【週におよそ何日働きますか】 1 1～3日 2 4～5日 3 それ以上
【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】 1 なし 2 4時間未満 3 4時間～6時間未満 4 6時間～8時間未満 5 8時間～10時間未満 6 10時間～12時間未満 7 12時間以上	【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】 1 なし 2 4時間未満 3 4時間～6時間未満 4 6時間～8時間未満 5 8時間～10時間未満 6 10時間～12時間未満 7 12時間以上
【昨年（2018年）の年収（税込）】 1 103万円未満 2 103万円～130万円未満 3 130万円～200万円未満 4 200万円～300万円未満 5 300万円～400万円未満 6 400万円～500万円未満 7 500万円～1,000万円未満 8 1,000万円以上 9 収入はない	【昨年（2018年）の年収（税込）】 1 103万円未満 2 103万円～130万円未満 3 130万円～200万円未満 4 200万円～300万円未満 5 300万円～400万円未満 6 400万円～500万円未満 7 500万円～1,000万円未満 8 1,000万円以上 9 収入はない 10 知らない

B 男女平等に関する意識について

問7 次の①～⑧の各場面において、
今の社会は男女の地位が平等
になっていると思いますか。
（①～⑧のそれぞれについて
○は1つ）

	非常に 男性の方が 優遇されて いる	どちらか といえば男 性の方が 優遇されて いる	平等である	どちらか といえば女 性の方が 優遇されて いる	非常に 女性の方が 優遇されて いる	わからない
①家庭の場では	1	2	3	4	5	6
②職場では	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
④政治の場では	1	2	3	4	5	6
⑤法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
⑥社会通念・慣習・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
⑦地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
⑧社会全体では	1	2	3	4	5	6

問8 「男は仕事、女は家庭」というような性別で役割を固定した考え方についてどう思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 同感しない ➡問8-1へ | 3 同感する ➡問8-2へ |
| 2 どちらともいえない | 4 わからない |

問8-1 問8で「1 同感しない」と答えた方にお尋ねします。

その理由はなぜですか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1 性別によって役割を固定するのはおかしいから |
| 2 男女がともに働き、ともに家事・子育てをするのは当然だから |
| 3 その他(具体的に) |

問8-2 問8で「3 同感する」と答えた方にお尋ねします。

その理由はなぜですか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1 社会の風潮・慣習だから |
| 2 男性は仕事に、女性は家事・子育てに向いているから |
| 3 役割を分担するほうが効率がよいから |
| 4 その他(具体的に) |

C 家庭生活について

問9 あなた、配偶者(パートナー)が家事・育児・介護をする時間は、平日・休日を平均して1日どれくらいですか。(それぞれについて○は1つ)

(1) あなたについて	(2) 配偶者(パートナー)について
1 15分未満	1 15分未満
2 15分～30分未満	2 15分～30分未満
3 30分～1時間未満	3 30分～1時間未満
4 1時間～2時間未満	4 1時間～2時間未満
5 2時間～3時間未満	5 2時間～3時間未満
6 3時間以上	6 3時間以上
	7 配偶者(パートナー)はいない ➡問11へ

問10 次の①～⑩の各項目について、
あなたのご家庭では、誰が主に
担当していますか。
(①～⑩のそれぞれについて
○は1つ)

※該当しない場合は空欄にしてください。

	すべて自分が担当	主に自分が担当	配偶者(パートナー)と 自分が同じ程度に担当	すべて配偶者(パートナー) が担当	主に配偶者(パートナー)が 担当	その他の人が主に担当	わからない
①家計における主な収入を得ている	1	2	3	4	5	6	7
②掃除・洗濯をする	1	2	3	4	5	6	7
③食事の支度をする	1	2	3	4	5	6	7
④日々の家計を管理する	1	2	3	4	5	6	7
⑤子どもの教育としつけをする	1	2	3	4	5	6	7
⑥乳幼児の世話をする	1	2	3	4	5	6	7
⑦高齢の家族の介護をする	1	2	3	4	5	6	7
⑧子どもの進路を決定する	1	2	3	4	5	6	7
⑨高額な買い物(家)の決定をする	1	2	3	4	5	6	7
⑩地域活動へ参加する	1	2	3	4	5	6	7

D 子育て・教育について

問11 一般的に子どもには、どの程度の学歴が必要だと思いますか。女の子、男の子、どちらについても
お答えください。(それぞれについて○は1つ)

(1) 女の子の場合	(2) 男の子の場合
1 中学校・支援学校 中学部	1 中学校・支援学校 中学部
2 高等学校・支援学校 高等部	2 高等学校・支援学校 高等部
3 専門・専修学校	3 専門・専修学校
4 短期大学・高等専門学校	4 短期大学・高等専門学校
5 大学	5 大学
6 大学院	6 大学院
7 その他(具体的に)	7 その他(具体的に)

問12 子どもには、どのような生き方が望ましいと思いますか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。（それぞれについて〇は2つ）

(1) 女の子の場合	(2) 男の子の場合
1 社会的な地位を得る	1 社会的な地位を得る
2 経済的に自立した生活をする	2 経済的に自立した生活をする
3 結婚して家庭に入る	3 結婚して家庭に入る
4 社会に貢献する	4 社会に貢献する
5 本人の個性や才能を生かした生活をする	5 本人の個性や才能を生かした生活をする
6 本人の意欲に任せる	6 本人の意欲に任せる
7 その他（具体的に	7 その他（具体的に
8 わからない	8 わからない

問13 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要と思いますか。（〇はいくつでも）

1 学校生活の中で、性別による役割分担をなくす（児童・生徒会長などのリーダー的役割は男の子で、女の子は補佐役など）
2 性別による区別をなくす（男女混合名簿にするなど）
3 進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する
4 男女平等の意識を育てる授業をする
5 セクシュアルマイノリティ（性的少数者）についての理解を深めるような授業をする
6 男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う
7 校長や教頭に女性を増やしていく
8 保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す
9 学校教育の中でする必要はない
10 その他（具体的に
11 わからない

E 就労について

問14 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。（〇は1つ）

1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
2 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
3 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができた後家事や子育てに専念する方がよい
4 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい
5 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい
6 仕事には就かない方がよい
7 その他（具体的に
8 わからない

問15 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性はご自身について、男性は配偶者（パートナー）についてお答えください。（〇は1つ）

- 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている（続けていた／続けるつもり）
- 2 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念している（専念していた／専念するつもり）
- 3 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や子育てに専念している（専念していた／専念するつもり）
- 4 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている（続けていた／続けるつもり）
- 5 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている（続けていた／続けるつもり）
- 6 仕事に就いたことはない（就くつもりはない）
- 7 その他（具体的に
- 8 配偶者（パートナー）はいない

問16 働いていない方にお尋ねします。

→該当しない方は問17へお進みください。

あなたが、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 家事・子育てに忙しい | 7 保育環境が整っていない |
| 2 家族が反対している | 8 健康上に問題がある |
| 3 自分にあう条件の仕事がない
（時間・賃金・年齢など） | 9 定年退職をした |
| 4 仕事以外にやりたいことがある | 10 就学中である |
| 5 リストラ・倒産などにより解雇された | 11 働かなくても生活できる |
| 6 高齢者や病人を介護している | 12 その他（具体的に |
| | 13 特に理由はない |

問16-1 あなたは今後働きたいとお考えですか。（〇は1つ）

- | | | |
|------|-------|-------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 どちらともいえない |
|------|-------|-------------|

問17 配偶者（パートナー）が働いていない方にお尋ねします。

→該当しない方は問18へお進みください。

あなたの配偶者（パートナー）が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。

（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 家事・子育てに忙しい | 7 保育環境が整っていない |
| 2 家族が反対している | 8 健康上に問題がある |
| 3 自分にあう条件の仕事がない
（時間・賃金・年齢など） | 9 定年退職をした |
| 4 仕事以外にやりたいことがある | 10 就学中である |
| 5 リストラ・倒産などにより解雇された | 11 働かなくても生活できる |
| 6 高齢者や病人を介護している | 12 その他（具体的に |
| | 13 特に理由はない |

問17-1 あなたの配偶者（パートナー）は今後働きたいとお考えですか。（〇は1つ）

- | | | |
|------|-------|-------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 どちらともいえない |
|------|-------|-------------|

すべての方にお尋ねします。

問18 あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 セクハラを見たり受けたりしたことがある。
- 2 マタハラ・パタハラを見たり受けたりしたことがある。
- 3 パワハラを見たり受けたりしたことがある。

*****用語解説*****

- ・セクハラ：セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ。性的言動によって不利益を受ける、労働環境などが害されること）
- ・マタハラ：マタニティハラスメント（就業中の女性が妊娠・出産・子育てなどをきっかけに、職場において精神的又は肉体的な嫌がらせをされ、もしくは不当解雇・雇い止め・給料減などの不当な扱いを受けること）
- ・パタハラ：パタニティハラスメント（就業中の男性が育児休業制度等の利用に関して、上司・同僚から嫌がらせをされ、もしくは不当解雇・雇い止め・給料減などの不当な扱いを受けること）
- ・パワハラ：パワーハラスメント（社会的な地位の強い者による、自らの権力や立場を利用しての嫌がらせ）

問19 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活動したりするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 女性の雇用機会を拡大する
- 2 賃金、昇給の男女格差をなくす
- 3 男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める
- 4 男女ともに、能力を発揮できる配置を行う
- 5 能力主義・成果主義による昇進、昇格を行う
- 6 男女ともに、能力、チャレンジ意欲を向上させるための教育・研修機会を充実する
- 7 結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成
- 8 子育てや介護のための施設やサービスを充実させる
- 9 男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする
- 10 あらゆるハラスメントをなくす
- 11 パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善させる
- 12 職場において男女が対等であるという意識を普及させる
- 13 家庭（家事・子育て・介護など）において男女が対等であるという意識を普及させる
- 14 女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める
- 15 その他（具体的に）
- 16 わからない

F 仕事と生活の調和について

問20 あなたは、生活の中で仕事と個人の生活（家庭、地域活動など）でどちらを優先しますか。

- (1) あなたの希望と(2)現実（現状）に最も近いものをそれぞれお答えください。
(それぞれについて〇は1つ)

(1) 希望	(2) 現実（現状）
1 「仕事」を優先したい	1 「仕事」を優先している
2 「個人の生活」を優先したい	2 「個人の生活」を優先している
3 「仕事」と「個人の生活」をともに優先したい	3 「仕事」と「個人の生活」をともに優先している
4 その他（具体的に）	4 その他（具体的に）
5 わからない	5 わからない

問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 2 男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること
- 3 家族の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと
- 4 労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 5 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
- 6 小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること
- 7 その他（具体的に
- 8 特に必要ない

G あらゆる暴力について

問22 あなたは、配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）から、次のようなことを「されたこと」「したこと」がありますか。以下の「されたこと」と「したこと」の両方にお答えください。（それぞれについて〇はいくつでも）

(1) あなたがされたこと	(2) あなたがしたこと
1 生命の危険を感じるほどの暴力をふるわれた 2 殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回す、ものを投げられるなどの暴力をふるわれた 3 気がすまないと伝えているのに、性的な行為を強要された 4 避妊に協力してくれなかった 5 「食わせてやっている」とか「甲斐性なし」などと言われた 6 生活費を渡されなかった 7 交友関係や電話・メールを細かく監視されたり、外出を制限された 8 何を言っても長時間無視され続けた 9 大声でどなられた 10 無言電話やいやがらせの電話をされたり、メールやファックスを送られた 11 傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた 12 元配偶者、元交際相手からしつこくつきまとわれた 13 その他（具体的に 14 されたことはない	1 生命の危険を感じるほどの暴力をふるった 2 殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回す、ものを投げるなどの暴力をふるった 3 気がすまないとされているのに、性的な行為を強要した 4 避妊に協力しなかった 5 「食わせてやっている」とか「甲斐性なし」などと言った 6 生活費を渡さなかった 7 交友関係や電話・メールを細かく監視したり、外出を制限した 8 何を言われても長時間無視し続けた 9 大声でどなった 10 無言電話やいやがらせの電話をししたり、メールやファックスを送った 11 傷つくような言葉、人格を否定するような言葉など、人権を侵害することを言った 12 元配偶者、元交際相手にしつこくつきまとった 13 その他（具体的に 14 したことはない

【相手は誰ですか】（〇はいくつでも）	【相手は誰ですか】（〇はいくつでも）
1 配偶者（パートナー） 2 元配偶者（元パートナー） 3 交際相手 4 元交際相手	1 配偶者（パートナー） 2 元配偶者（元パートナー） 3 交際相手 4 元交際相手

問23 問22の(1)の行為を受けられた方にお尋ねします。

そのような行為を受けられてどうしましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 警察に連絡、相談した | 6 我慢した |
| 2 公的機関の相談窓口で相談した | 7 加害者が謝ってくれたので許した |
| 3 家族や親族に相談した | 8 どこ(だれ)にも相談しなかった →問24へ |
| 4 友人や知人に相談した | 9 その他(具体的に) |
| 5 加害者から逃げた | |

問24 問23で「8 どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えられた方にお尋ねします。

あなたがどこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかった |
| 2 相談しても無駄だと思った |
| 3 世間体が悪い |
| 4 そのことについて思い出したくない |
| 5 自分が暴力を受けているという認識がなかった |
| 6 相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思った |
| 7 相談先の担当者の言動により不快な思いをさせられると思った |
| 8 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った |
| 9 恥ずかしくてだれにも言えなかった |
| 10 加害者に「誰にも言うな」と脅された |
| 11 他人を巻き込みたくない |
| 12 自分にも悪いところがある |
| 13 相談するほどのことではないと思った |
| 14 その他(具体的に) |

すべての方にお尋ねします。

問25 あなたは配偶者(パートナー)など親密な関係にある人(事実婚や元配偶者、元交際相手を含む)からの暴力(殴る、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力)について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 配偶者暴力相談支援センター |
| 2 法務局、人権擁護委員 |
| 3 女性のための総合的な施設(男女共同参画センター、女性センターなど) |
| 4 警察 |
| 5 市役所の相談窓口 |
| 6 上記1～5以外の公的な機関 |
| 7 民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど) |
| 8 その他(具体的に) |
| 9 1つも知らない |

問26 はい偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪など、暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいいくつでも)

- 1 法律・制度の制定や見直しをおこなう
- 2 犯罪の取り締まりを強化する
- 3 被害者の相談窓口や保護施設を充実させる
- 4 暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする
- 5 子どもの頃から、学校における人権教育(男女平等、DV、からだと心を大切にすること)についての教育などを充実させる
- 6 子どもの頃から、家庭における人権教育(男女平等、DV、からだと心を大切にすること)についての教育などを充実させる
- 7 メディアが倫理規定を強化する
- 8 過激な内容のビデオソフト、ゲームソフトなどの販売や貸出を制限する
- 9 その他(具体的に
- 10 わからない

用語解説

- ・DV：ドメスティックバイオレンス(夫婦や生活の本拠を共にする交際相手といった親密な人間関係の中で起こる暴力のことで、身体的暴力だけでなく、精神的、性的、経済的な暴力なども含まれる)

H 男女共同参画社会づくりについて

問27 男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習及び相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」(生涯学習センター「かがやき」学習プラザ4階内)を設置しています。あなたは八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 知っている →問27-1へ
- 2 知らない →問28へ

問27-1 問27で「1 知っている」と答えられた方にお尋ねします。

八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。(〇は1つ)

- 1 利用したことがある →問28へ
- 2 利用したことがない →問27-2へ

問27-2 問27-1で「2 利用したことがない」と答えられた方にお尋ねします。

その主な理由はなぜですか。(〇は1つ)

- 1 場所がわからない
- 2 利用したい時間(曜日)に開館していない
- 3 利用したい情報などがない
- 4 特に利用する必要がない
- 5 何をしているところかがわからない
- 6 参加したい講座などがない
- 7 交通が不便
- 8 その他(具体的に

問28 男女共同参画を進めていく上で、行政（国・府・市）は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 男女平等の視点で法律や制度を改める
- 2 学校教育において、男女共同参画を徹底させる
- 3 社会教育や生涯学習の分野で、男女共同参画についての理解を深める機会をつくる
- 4 女性の就労機会を増やし、経済的自立を支援する
- 5 採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす
- 6 男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する
- 7 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、学習の場を充実させる
- 8 政策決定の場に女性を積極的に登用する
- 9 男女共同参画社会を進めるための拠点として設置した男女共同参画センターの機能の拡充を図る
- 10 地域活動で活躍する女性リーダーを養成する
- 11 障がいや国籍などにより、さらに困難な状況におかれる女性への支援を進める
- 12 その他（具体的に）
- 13 特に必要はない
- 14 わからない

問29 男女共同参画を推進するための八尾市の次の①～⑩の取り組みについて、現在の満足度をお答えください。
（①～⑩のそれぞれについて〇は1つ）

	現在の満足度				
	満足	満足 どちらか といえ ば	不満 どちらか といえ ば	不満	どちらとも いえない
①ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進	1	2	3	4	5
②あらゆる分野への女性の参画推進	1	2	3	4	5
③女性の職業生活における活躍支援	1	2	3	4	5
④生涯を通じた健康への支援	1	2	3	4	5
⑤女性に対するあらゆる暴力の根絶	1	2	3	4	5
⑥様々な困難を抱える人々への支援	1	2	3	4	5
⑦子どもの頃からの男女共同参画意識の醸成	1	2	3	4	5
⑧様々な分野への男女共同参画の意識啓発	1	2	3	4	5
⑨地域における男女共同参画の推進	1	2	3	4	5
⑩男女共同参画推進の拠点施設の充実	1	2	3	4	5

用語解説

- ・様々な困難を抱える人々（ひとり親家庭、介護・介助を必要とする人、生活困窮者、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）、外国人、同和問題（部落差別）等）に加え、女性であることで更に複合的に困難な状況に置かれている人々）
- ・男女共同参画推進の拠点施設（男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習及び相談の場として、生涯学習センター「かがやき」学習プラザ4階に設置されている八尾市男女共同参画センター「すみれ」）

Ⅰ あなた自身について

問30 八尾市の男女共同参画社会づくりの推進を考える上で、より力を入れるべき取り組みなどについて、ご意見があれば自由にご記入ください。

☆ ☆ ご協力いただきありがとうございました ☆ ☆

三つおりにし、同封の返信用封筒に入れて、10月29日（火曜日）までにお近くの郵便ポストに投函してください。（切手はいりません）

男女共同参画についての市民意識調査報告書

令和2（2020）年3月発行

発行者 八尾市 政策企画部 政策推進課

〒581-0003 八尾市本町一丁目1番1号

TEL 072-924-9309 FAX 072-924-3570

電子メール jyokatsu@city.yao.osaka.jp

刊行物番号 R1-205